

此出生率中四・五は私生兒なりき。

ドルトムントに亞ぎ、ウエストフアリア工業地方に於ける最重要の都市はボヒュームにして約六萬七千の人口を有す。此市はエッセンとドルトムントの中間に在りて兩市の交通線上に位し且同一階級の工業市なり。此市には獨逸有數の製鐵及製鋼會社若干竝に管及索の如き補助金屬製造會社あり。市の發展は極めて急速なりしが其の原因は全く是等の工業の發達に在り。人若し此市の外觀を一見せば此言の誣ならざるを知るべし、惟ふに此市の如く名實俱に石炭及鐵の都市たることを表示せる地は英國と雖も之れ有らざるべし。

ハーゲン市は人口に於て、工業的産額に於て、將又煙害に於てドルトムントと伯仲の間に在り。此市の人口は六萬四千人にしてドルトムントより少しく南方に位す、而かもルーア地方の所轄に屬するが故に市中の事物總てルーア氣質を帶ふ。予以爲らく是等の地方を旅行する人は工業的煙害豫防の點に於ては獨逸を以て迥に英國よりも優

れるものなりと爲さるべし、否予自身の感想に據れば多少の除外例はありとするも英國却て獨逸に優れりと。但し予と雖も獨逸の諸都市の英國のものに比し迥に淨潔清麗にして且又黯黒色に染み居らざることを認む、然るに是れ獨逸工場に於ける煤煙少きが故に非ずして人家より生ずる煤煙少きが故なり、而して人家より生ずる煤煙少きは人家に於ける暖房裝置異なる所あるが故なり。

然るに工業の性質上煤煙を生ずるものに在りては、獨逸の工場は其の數竝に大きな割合に比し英國の工場よりも迥に多く煤煙を發生す。ハーゲンに於ける工場は其の數多く種類も亦多し、然るに其の主要の製造品は小型の鐵竝に鋼鐵製品即ち道具、器械工具、金物類、犁、「シヤブル」、鋸、鋸前、螺旋等なりとす。此市は工業の性質に於ては英國南部スタフォードシヤイヤ諸都市に近似すと謂ふことを得べし。此市には土木學校の設あるが故に、此地方に於ける市の位置は之が爲め一層重要のものとなれり。ボヒュームには鑛山及冶金學校あり。

予はルーヤ地方に於ける主要の工業都市に關する顯著の動態統計表を掲げ以て此項の記事を終了することゝすべし。

動態統計

都 市	人 口	一、〇〇〇人に對する出生率	一、〇〇〇人に對する死亡率	出生率の超過	一、〇〇〇人の出生に對する一歳未満者の死亡數
アールテン、エッセン	三四、五九九	五四・一	二四・八	二九・三	二三九
ボヒューム	六六、九一七	四二・四	二五・一	一七・三	一八四
ドルトムント	一四六、四〇八	四三・〇	一九・九	二三・一	一九〇
デニイアルグ	九五、三五〇	四六・一	二二・二	二四・九	一八二
エッセン	一八七、三八五	四六・一	二〇・七	二五・四	一六五
ゲルセンキルヘン	三七、五六〇	四九・〇	二五・〇	二四・〇	一九〇
ハーゲン	六四、〇四二	三九・二	一八・五	二〇・七	一九七

ハーム	三二、六九五	三九・四	一七・二	二二・二	一六二
ハールデ	二五、八三三	四七・一	二〇・五	二六・六	一八五
ミウールハイム	三九、〇七九	三九・〇	一九・二	一九・八	二〇八
オーベルハウゼン	四三、五四七	五〇・二	二〇・七	二九・五	二三二
平 均		四三・〇	二二・一	二二・九	一九〇

是等の數字に關し顯著なる事實と謂ふべきは敍上人民の出生率極めて多大なること
是なり。上記の諸都市は此點に於ては英國の南部スタフォードシャー諸都市に類似
するものと謂ふべし。後者は英國都市中出生率極めて高く、而して其の市民は前記獨
逸諸都市の市民と略ぼ同種の職業に従事す、但し異なる所は獨逸に於て坑夫の員數稍
稍多き一事とす。左掲の比較表を覽ば思半ばに過ぐるものあるべし。

動態平均統計

歐米工業能率

三八二

	一、〇〇〇人に對する出生率	一、〇〇〇人に對する死亡率	出生率の過	一、〇〇〇人の出生に對し一歳未満者の死亡數
獨逸諸都市	四五・〇	二一・一	二二・九	一九〇
英國諸都市	三四・八	一七・五	一七・三	一七八

ザキソニー

若しライン及ウエストフアリヤ地方を以て、假りに獨逸のヨークシャイヤとせば、ザキソニー王國はランカシャイヤと稱することを得べし。王國の人口は四、二〇二、二一六人にして略ぼランカシャイヤと相等しく、其の人民は主として後者と同一種類の製造業に従事す、此外若干の鑛業を營むものあり。但し兩者の相異なる點を云はむにランカシャイヤに於ては專ら綿業及石炭業を營み、然るにザキソニーに於て營まらる、鑛業及製造業はランカシャイヤに於けるものに比し種類尙に多し。ランカシャイヤに於ては紡績、機織、染色並に形附業を營み、以て各種の製品を世界の市場に出だ

し、又是等の製造用の器械をも作製す。若しランカシャイヤより是等のものを除き去るときは剩す所殆んど之れ有らざるべし。此故他なし、ランカシャイヤに於ては一時紙、硝子、時計及帽子製造業等隆盛なりしも今は全く衰滅し、或は萎靡不振となりたるものあり、ザキソニーは之に反して單一の製造業に依頼せず。是を以て其の鑛山は石炭以外に於て銀、鉛、銅、砒素、蒼鉛、白銅、錫、鐵及其他のものを産し、又其の製造業も種類極めて多し、五五〇、〇〇〇人の職工中一八五、〇〇〇人は機織業に八、一、五〇〇人は機械製作業に三五、五〇〇人は金屬工業に三〇、〇〇〇人は製紙業に、三六、〇〇〇人は被服業に、五一、〇〇〇人は鑛山及石切業に七、〇〇〇人は鑛物生産及鎔解業に、六、〇〇〇人は皮革業に、五、〇〇〇人は化學工業に従事す。是等の工業中獨り機織業のみは其の種類最も多し。綿、羊毛、毛絲、黃麻及亞麻の紡績及機織業即ち是なり、而して其の製品は各種の衣服、婦人用被服材料、下衣、男子用襟飾、家具用布地、絨氈、窓掛、縫絲及び綿製並に絹製『レース』靴下及手袋等とす。是等の製品並

に是等の製造用器械は、ザキソニーに於ける最重要部の製造業を構成するものとす。ザキソニー王國は五個の地方に區劃せられ各地方皆絛上の製造業を營み居れり。此王國は眞に工業の蜂窩と稱すべきものにして、獨逸は勿論歐洲諸國の何れの地方よりも人口稠密せり。一吉米突平方に對する人口二百八十人とす。ロイスの小侯國之に次ぎ人口二百十六人とす、此侯國はザキソニーに隣接し同種の工業を營むものとす、其の次ぎはラインランドの二百十三人なりとす。(但し爰に注意し置くはライン、ウエスフアリヤの特殊工業區域の人口は其の密度迥に多大にして最高點に於ては一千六百三十九人に達すること是なり)英吉利及威爾斯は二百十五人にして、前二者の中間に在り、而て白耳義は二百二十九人にして前三者に比し稍多く、ザキソニーに次ぎ歐洲諸國中人口最も稠密せる所とす。ザキソニーに於ては製造業は概ね大都市に叢生するも決して大都市にのみに限れるものに非ず。製造業はランカシャイヤ及ヨークシャイヤに於けるが如く小都市及村落までに蔓延し、甚しきは或る地方に於ては殊に河川に沿

ひ連續的工場村を組成するに至れり。又此地の工銀が普魯西に於ける者よりも著しく低廉なるは職工の競争過度なるに基因する所多きや疑を容れず、ザキソニーの州民は蕃殖力に富める民族にして、一千八百十六年以降一千九百年まで彼等は獨逸國民の他の部分に比し平均増加率一層高かりき。是を以て彼等は自己の位置を維持する爲全力を竭くして勞役するの止むなきに至れり、而して其の工業史を覽るに彼等が頼りて以て生活する所の或る種類の重要工業が競争激甚の爲得失相償ふこと能はざるまでに沈淪し、終に絶滅に歸せしこと一再に止まらざりき、之を要するにザキソニー人は不斷の勞役と不撓の淬勵とに由りて最終の捷利を博し漸次に工業を發達せしめたるものにして、決して一朝一夕一擧手一投足の勞に依りて今日の盛況を致せるものに非ず。ザキソニー人は勇敢にして堅實、勤勉にして親しみ易き人民なり。是れ彼等が中外に愛好推重せらるゝ所以なり。

ケムニッツ

ライプチヒ(人口四五六、一二四)、ドレスデン(三九六、一四六)及ケムニッツ(二〇六、九一二)はザキソニー王國の三大市なり、ケムニッツの現在人口は約二三〇、〇〇〇なりと稱せらる。ドレスデン及ライプチヒは隆盛なる製造業地たりと雖も本來主として工業のみを營むものに非ず。前者は王國の首府にして政廳の所在地たり。後者は貿易の主要中心たり。然るにケムニッツは純然たる工業市の典型を有し全獨逸中此典型を有する唯一至大の都市なり。但しバーメン及エルバーフェルドの兩市は合體して一市を構成せるが故にケムニッツよりも大なるものと知るべし。ケムニッツは世にザキソニーのマンチェスターと稱せらる、市民も亦之を以て多少誇りと爲せり。然るに予の見る所に據れば此綽名は自負すべきほどの美名にもあらず、此名は寧ろライプチヒに適合するものなり。予は前にマンチェスターの如何なるものなるやを敘述せりと雖

も茲に反覆して言はむと欲す、同市人民の活動は稱讚すべきものあるも何人も此市を以て快適の地なりと謂はざるべし。マンチェスターは大都市に於ける一切の弱點即ち人民過度の群住、喧囂たる音響、罪惡、汚穢及煤塵を極度まで含有し清淑なる郊外地の此弱點を償ふものなし。之に反してセフィールド、リーツ或はエルバーフェルドは煤塵と不快の點に於ては前者と異ならざるも、之を緩和するに足るだけの風景を有するは不幸中の幸福と謂ふべしと。ケムニッツは工業界の活動振りに至てはマンチェスターと類似する所ありと雖も外觀に於ては毫も相似たる所なし。此市は修潔閑靜にして風致の愛すべきものなきにしもあらず。其の中心は圓狀地にして往昔此處は壘を周らし塔を築きたり、今や此地には昔時の城址を看ずと雖も人をして自から懐古の念を生ぜしむ。ケムニッツは舊市にして前に敘述せし諸都市と略ぼ同様の市史を有す。此市は初め中世紀に於て宗教的基礎に由り創設せられ、尋で市場を有する都市並に貿易の中樞地たるの故を以て一時獨立權及自治權を享有せしも、兵馬恠惚、群雄割據の爲

此市も亦一盛一衰あるを免れざりき。夫の三十年戦役は獨逸の諸大都市の進運を阻碍するの傾向ありしがケムニッツの如きはブレーグ及ネルンベルグよりライプチヒ及北方に至る通路に在る城市なるが故に其の餘波を免るゝこと能はざりき。然るにケムニッツは年々歳々災殃頻に到りしに拘はらず。第十四世紀の頃獲得せし工業的位置を依然として維持増伸することを得たり、是れ此市がエルバーフェルドと同じく諸鄰村に於て産出せし亞麻を漂泊するの獨占權を取得せしが故なり、此市のエルバーフェルドと異なる所は市の繁榮と勢力の淵源と云ふべき河川を瀆さるるに在り。ケムニッツてふ小川は今も猶ほ昔の如く市中を貫流し、河水亦清澄にして景趣を添ゆる所鮮少なからず。

機械製法獨立と工業能率増進

前世紀間諸工業及人口の増進するに伴ひ中央の圓狀地より新市街四方に射出し、其の長さ日に月に伸延す、市街は修潔質實にして良舗多く、市中の風氣何となく和樂して

温味あり。諸工場は市の背後に潜在することなく、寧ろ市の前面附近に位置するも人をして不快の念を生ぜしめざるは一奇と謂ふべし。空氣は明澄にして建築物暗黒色を帯びず。地勢起伏しケムニッツ河の西岸にあるカスベルグに至り絶壁となりて聳立せり。此河は市の中央を貫流して正北に趨けり。市中には廣場、市場、公園等頗る多く且觀るに足るべきものあり。其の中の一は城廓と联接す、此城廓は實際舊「ベネデクト」教派の寺院にして目下市の所轄となれり。工業地たると否とに拘はらず諸都市中此市の如く幽邃の遊園地を附近に有するは莫し。城廓の前面には一大池を湛え池心に島あり、池畔には花苑と遊歩場とあり。背後の高地には樹林蒼蒼たる大公園あり。市の中央に閑雅なる廣庭あり、「シルレル」公園是なり、公園の附近には一大市場あり。公園と市場との間には宏壯偉麗なる教會あり、其の結構舊教歸依のラインランドのものに劣らず。ザキソニーは新教信奉の地にして幾多の近世的寺院を建立せり此教會は實に其の一なり。此の教會は一千八百八十八年の建立に係かり一基の高塔を有す、塔

上には時計を装置し夜間之を照耀し、以て土地不案内なる外人のために道標とならしめたり。予は此教會に對し負ふ所少小ならず。又「シルレル」公園にある他の建築物も亦此地の工業的性質ある特徴として注意し置くべきものなり。其の一隅にザキソニー第一の紡績工場あり抑々ケムニッツは綿紡の本據にして一千七百八十二年既に粗雑なる紡績器械を装置せり、當時此地の紡績業者は英佛より優良の器械を輸入すること能はざりしが故に百方苦心の結果之が改良を圖れり。當時器械に關する祕密の嚴に隠掩せられたるは今日の比にみならず。甲國は自國の發明品の乙國に移入せらるゝことを許さず、又此等を製造する工場には外國の職工若は研究生の出入するを嚴禁せり、第十九世紀に至るまでは綿糸紡績器械は英佛兩國よりザキソニーに輸入せられざりき。梳毛及毛紡績に就ても之と同様の困難ありたり、而して之に關する英國製器械の祕密を始めて獨逸に輸入せし者はチューリンヂャの一製造業者なりき。彼れは旅大工に變裝し此機密を偵知せんが爲英國に赴けり。彼れは大工として工場に出入し以て該器械の

構造を研究することを得、歸國後自から一機を作製せしも彼れも亦深く之を祕して人に示さざりき。是を以てザキソニーの製造業者は一千八百二十年前後まで此祕法を學ぶことを得ざりしが此頃佛國より一器械を獲たり。今日と雖も紡績業者及梳毛業者は化學者を除き一切の製造業者に對しては深く祕密を隠掩し、彼等は概ね平素斷金の友と雖も容易に己れの工場に入るを許さず。此の如き排外主義は獨り獨逸に於て行はるのみならず復た英國に於ても同然行はるゝものなり。然るに器械の賣買は今日公然行はれ。ランカシャイヤ及ヨークシャイヤの繁榮は多年間織機の輸出に職由する所多きに居れり、而して獨逸の織機獨立が歲月と與に愈々獨立せらるゝに至りしは同國工業能率の愈々増進する最顯著の一兆候と謂ふべきものなり。

織機獨立に貢獻せしこと獨逸諸都市中ケムニッツに如くものなし。此市の誇りは機械業よりも寧ろ器械及工具の製作業に在りて存す。殊に此市には若干の大製造會社あるが爲市をして或る種の工業に於ては獨逸に於ける唯一無二の器械製造地たらしめたる

り。ザキソニー器械製造會社(Sachsische Maschinen Fabrik)及ケムニッツ器械工具製造會社 (Chemnitzer Werkzeug Maschinen Fabrik) の如きは其の名既に世に著はる而して予の見る所にして謬らすんば、此の二會社は將來其の令名天下に轟くに至るべく、マンチエスター、オールドハム、キーレー其の他器械製造地の諸會社にとり宇内の市場に於て兩會社以上の強敵は他に之れ有らざるべし。ザキソニー器械製造會社の沿革は「クルップ」會社のものと好一對にして研究の價值あり。抑、ケムニッツに於ける器械製造業は一千八百二十六年に始まり其の先覺者はハウボルドと稱する者なりき。彼れは一千八百二十九年初めて汽機を製造せり、一日リチャード、ハルトマンと稱する年少技工其の工場に來りて職を求めたり。ハルトマンは一千八百九年エルザスに生れ、極めて善良なる職工たるのみならず復た一種の天才を有せり。彼れは即時ハウボルドの工場に備はれたりしが、數年の後心竊に期する所ありたるが爲自費を以て小工場を設け三人の旅職工を使備せり。是れ一千八百三十七年のことなりき。一千八百四

十一年社運漸く良好となりしを以て従前より一層大なる建物に移轉し七十六人の職工を使役し此の歲始めて汽機を作製せり。是に於て自から工場を新築し従前の製造業の外、機關車製造業をも開始せり、一千八百四十八年第一の機關車を作製せり。尋で彼れは地方工業の爲に織機を製造するの業を營み尙ほ一千八百五十四年自から鎔鑛爐をも設置せり。當時アルフレッド、クルップの事業は漸く順潮に向ひ前途洋々春海の如きものありたり。ハルトマンも亦決して小成に安んずる者に非ず、一の器械製作業に成功するや直ちに他の製作業をも企て、終に器械工具の外採鑛「ミリング」並各種の機械業及他の製造業用の器械をも兼營するに至れり。一千八百七十年ハルトマンは約五十萬「スターリング」を以て己れの工場を一會社に賣却せしも依然該會社と關係を持續せり、此會社は其の後愈々隆盛に趣きしが會社の社名よりも寧ろハルトマンの名に依り世に周知せらる。今日全部の作業を行ふときは約五千人の職工を要すべく其の製作に係る者は各種の機械、機關車、自動車、罐、「タービン」、起重機、鏈、軌鐵、「タイヤ」、

「ローリングミル」、鑛山用、鋸及麥粉工場用、紙、砲煩、水雷及び各種織機製造用器械なりとす。此會社は主として海外に對する輸出品を製造し全世界に之を輸出す。此輸出品製造業は多年間確實に營まる、のにして全く過剩製品を『投資』するためのみ營まる、ものに非ず。一千八百八十年より一千八百九十年に至る十年間に於て外國注文は全數量の殆んど三分の一に達せり。『投資』てふ語は嘉みすべきものに非ず、而かも英國人たる者は獨り清きものと自負すべきものに非ず。我等英國人と雖も現代に於て自國の製品を投資せしことなきにしもあざりき、而して當時之を以て正當の貿易と稱せり、獨り既往に於て行ひしのみならず、吾人は又今日ケムニッツに於て不思議にも少しく之を行ひ居れり。ザキソニー器械製造會社所屬諸工場には我プロウイデンスの『ブラウン及シャープ』會社の製造に係る優秀なる自動齒輪削成機及螺旋製作機の使用せらる、もの多し、然るに其中時代後れの舊式英國製器械一個あり。是れ吾人の記憶すべき事なりとす。此工場の敷地は廣濶にして工場は設備完全、採光佳良、

秩序能く整頓して場内亦極めて清潔なり。近年此會社は又他の模範となるべき一大鑛鑪を新設せしが、從來予の目撃せしもの、中之と頗頗し得るものは『ブラウン及シャープ』會社の鑛鑪ある而已、而かも後者は前者に比し規模猶逾に小なるを免れざるべし。

綿工業及窯業製造の特色地

其の他此市の主要工業は主として綿糸を以てする靴下及手袋製造業なりとす。ケムニッツは此二種工業の本據なり、該工業を營む所の諸會社中に英國人の所有に屬する一會社あり『ノッチンガム』製造會社はなり、予の信ずる所に據れば此會社はリースター及ラフポローにも工場を有す、編物器械の製造は今猶主として英國人之に膺り、而して其の製品に對する主要の一市場は英國そのものなり。米國は一大華客たりと稱せらる、も尙其の一に過ぎず。此工業は今を距る約二十年前長足の進歩を爲せしが不幸にして夫の『デングレー』關稅の爲幾多の工業と同じく非常の打撃を蒙れり。綿糸紡

績は主としてケムニッツ及其の附近に於て營まる。編物工場に使備せらるゝ職工は十中八九までは少女及婦女にして、其の工銀は一週十志内外とす。作業は過激のものに非ずして寧ろ健康に適するものゝ如し、作業室は快適にして換氣採光俱に良好なり、冬季間は暖房の設備あり女工等は強壯にして業を樂むの風あり。

ケムニッツに於ける機織工業は從來一消一長ありたりと雖も今日は往時の如く隆盛ならず。更紗は一時此市の一重要生産品なりしが、一千八百四十年以降衰頽し色染綿布類殊に縞綿布之に代れり。然るに是等の工業は過度の競争に依り生活程度以下に工銀を低降するため遂次市場より驅逐せられ、延ひて職工をして他の職業に轉ぜざるを得ざるに至らしめたり。是に於て職工等は被服材料殊に襟飾となるべき羊毛、毛綿混用若は絹製品の製造業を營めり。此外家具用織布即ち卓子掛及窓掛製造業あり。是等は一千八百二十七年ザキソニーに輸入せられたる『ジャカード』式織機を以て織成せらるるものなり。後者は絹綿交織業の如く隆盛に赴きしも襟飾製造業は萎微として振はざ

るに至れり、加之毛綿交織業に於てはケムニッツは附近のグラウハウ及ミラーネ兩市の壓倒する所となれり。此兩市は現に襟飾製造業の中心たり。此他ケムニッツ織物業者の經營に屬し創業以來今日まで成功せしものは『バラソール』及洋傘布地なり。

予は爰にグラウハウ及ミラーネを擧げしを以て、之を機としてケムニッツ以外に於てザキソニーの重要な工業諸都市に就き一言する所あるべし。予の前に述べたる如く是等の都市は極めて多く、其の生産物は概して同じきも、其の發達の逕路は各異なれり。

グラウハウはケムニッツ地方の一都市にして約二萬六千の人口を有し獨逸に於ける最古の織物工業の一中心たり。此市の織物に關する紀事は一千四百二十二年「リンネル」に關するものは第十六世紀の頃既に世に顯はれたり、又綿業の開始せられたるは一千七百十三年の事なりき。現時主要の工業は婦人用極上被服類なりとす。又現今此地に於て梳毛、紡績、機織、染色及型附等の諸工業を營み居れり。籃製造業も亦此地

方の一工業なりとす。

ミラーネも亦羊毛市にしてグラウハウを距ること遠からず人口は二萬四千にして略之と相等し。此市は被服地の外、下衣及絨氈を製造す。一千九百二年——三年の冬織工等は三箇月間同盟罷業を行ひしが終に工銀を増額することを得たり。

ツヴィツカウは一郡の中心にして、五萬六千の人口を有し稍繁華の地たり。此の市は毛織及毛綿交織業の外、許多の金屬及化學工業即ち鉛、銅、水銀、錫、白銅の合金、釘、ワイヤロープ及「ラカー」竝に硝子、陶磁器業を有す。又此地方には炭坑多し。

ブラウエン（人口七四、〇〇〇）はツヴィツカウ郡に在り、人口の點に於てはケムニッツに次ぎザキソニー州中最大純粹の工業市なり。此市は重要なる機業殊に毛絲業地方の中心なり。又ザキソニー州に於ける毛絲業の本據はライエンバッハ（人口二五、〇〇〇）にして此地はブラウエンとツヴィツカウの中間に在り。ブラウエンに於ても亦撚絲、刺繡、絨氈、綿織及交織被服地を製造す。オルズニッツ市（人口一四、〇

〇〇〇）はブラウエンの附近に在り「アックスミンスター」式絨氈製造を以て名あり。

フライベルグ（人口三〇、〇〇〇）はケムニッツとドレスデンの中間に在りて教育の一中心たり。此地には獨逸全國に於ける二個の特殊高等鑛山學校中の一校あり他の一校はクラウスタルに在り。フライベルグに於て行はる、主要の工業は土木、金屬及化學工業とす。

パウツェン（二六、〇〇〇）はザキソニーの北東隅に在りてシレシヤ境界に近接す此地は綿織、毛織、靴下及器械業の外、樂器製造業てふ特技を有す。

マイセン（二〇、〇〇〇）はドレスデンに近く窯業を以て名あり、此地には皇立窯業所（ドレスデン陶器を製造す）を始めとし其他の窯業所あり。

小市邑分散主義と人口問題

是等少數の工業都市に徴するも、猶且ザキソニーの製造業の小都市間に分散せる事を知るに足るべし。加之前掲の諸都市は何れも比較的重要の中心點にして其の數の如

き固より全體の一小部分に過ぎず。各中心點は復た是よりも微小なる幾多の市邑の圍繞點綴する所と爲り居れり。是に由て之を觀れば夫の製造業を少數の大都市に集中せんよりも寧ろ多數の小市邑に分散せんとするの理想はザキソニーに於て十中八九までは實現せられたるものと謂ふべく、此方策はラインランドに於て今猶顯著なる都市住民の過度群住の弊を多少匡濟するの效あり。然りと雖も此州に於ては住宅の缺乏極めて甚しく、住宅に對する住民過多の風は村落までにも波及せり。現にザキソニーの諸村落に於ける住宅一戸に對する家族の數は平均二組にして其平均人數は八・八五なり。ツヴィツカウ及ケムニッツの郡部工業地に於ては一戸に對する家族の數は前者にありては二・二七、後者にありては二・四五にして、又其の人數は前者にありては一〇・〇一、後者にありては一〇・六七なり。是れ獨り村落に於てのみ見る所の現象なり、其の主因は他なし、使役せらるゝ職工の多數が大都市に於て全く住所を獲ること能はず、若は縦令有りとするも家賃を支拂ふこと能はざるに由るものにして彼等が都市附近の

村落に住居する所以なり。殊にケムニッツに於ける場合を然りとす、況んや電車の利便あるに於てをや。是を以て勞働者は日々一時間若は二時間程の距離を往復し以て各自の住所より工場に通勤す。其の結果ケムニッツの周圍にある村落に於て家族の平均數二・九四、一戸の平均人數一二・七七と爲れり。ドレスデン及ライプヂヒ附近に於ては此數字は更に昂上し、都市中ケムニッツの如きは住民の過住其の極に達し、職工は到處共同住居を行ひ、一戸に於ける家族の平均數六・八七にして住民の平均數二九・一六とす。人口の密度最も濃厚なる方面に於ては一戸に對する人口百三十人以上百七十三人に及べり。

是に由て之を觀れば是等の方面に於て高度の死亡率、殊に高度の幼兒死亡率を生ずるは固より理の當然にして深く怪むに足らず。就中ケムニッツに於ては後者の死亡率極めて大なり、吾人は之に關し其の理由を説述し置くの必要あり。抑々ケムニッツはエルバーフェルドと略ぼ同様の都市にして後者も亦住民過多の餘弊を被れり。然るに一

千九百一一年度に於けるエルバーフェルドに於ける一般死亡率は一、〇〇〇人に對し一七・〇にして、幼兒（一歳未満）の死亡率は一、〇〇〇の出生數に對し一六五なりき。之に對するケムニッツの數字は二三・八及三三・一なりき。乃ち一歳未満の幼兒にありては其出生數の二分の一は死亡し、又全市の人口中五、〇〇〇人の死亡者に付一歳未満者の死亡者は二、七四人即ち死亡者の二分の一以上に達す。事實上若し幼兒の死亡數を控除するとせば一般の死亡率はさまで多からず。此問題に關して同市の醫務官の提出せる年報中に詳述しあり。其の報告に據れば死亡率の多大なるは決して流行性熱病の故にあらざ、死亡數の十分の九までは『腸胃加答兒及衰弱』^{アトロフィー}にあらざれば消化器の炎症及營養不良に基因するものなりと云ふ。同醫務官は其の原因を以て醫師の治療を受けざりしこと（幼兒の疾患發生の際醫師の診察を受けしものは患者一〇〇人に付八・一に過ぎず）、住宅の不良、人民過度の群住、食物の不良及哺乳壘の不潔に在りと爲せり勿論是等は總て有力なる諸原因なりと雖も、是等はケムニッツ若はザキソニー特有の

ものに非ざるが故に、是等を以て直ちに根本的眞因なりと斷定することを得ず。吾人は廣汎なる地域に於ける幼兒の死亡問題を研究し種々の事實あることを發見せり。（第一）全體より之を観るにザキソニーには幼兒の死亡極めて多し、（第二）然るに機業地に於ては他の地方に比し幼兒の死亡迥に多大なり。ツヴィカウに於けるものはケムニッツと伯仲の間に在り一千九百年ツヴィツカウに於ける幼兒の死亡率は幼兒出生數の百分の三十三、ケムニッツに於ては百分の四十なりき。然るにライプデヒに於ては百分の二十四、フライベルグに於ては二十三、ドレスデンに於ては二十、其他の方面に於ては之よりも尙少數なりき。吾人は更に進で普魯西に於ける機業諸地方の狀況を較覈し二個の事實を發見せり、幼兒死亡率の寡少並に出生率の寡少即ち是なり。吾人復た一步を進めて英國機業諸都市を採て之を研究するに兩者俱に一層低少なり、出生率の如き殊に然りとす。是等の事實は吾人をして人文に關する至深至大の一問題に逢遭せしむるものなり。ザキソニー王國は夙に補修教育を普及し且之を以て強制的のものと爲

し教育の點に於ては諸州に冠絶せり。是を以て之を觀ればザキソニーに於ける幼兒死亡率の多大なるは教育設備の不完全なるが故と稱すべからず。予の信ずる所に據れば其の眞因は蓋し下の如くなるべし。ザキソニーに於ては職工の賃銀低廉なり、而して彼等は未だ嘗て高等の生活標準なるものを知らず、復た之を竟めんとするの志を有せず。彼等は自然のまゝに生活し其の結果家貧にして子女多く、其中若干は羸弱にして雙親も亦拱手傍觀以て彼等の夭折するまゝに委せり。殊に奇とすべきは雙親が子女の重患あるに際して一たびも醫師を迎えざることに在り。加之雙親自身と雖も亦然り是れ實にザキソニーに於ける職工生活の常態なり。又機業地方に於ては母も亦工場に通勤するが故に幼兒の死亡するもの他の工業地方に比し一層多し。人生の悲惨何物か之に過ぐるものあらんや。然るに假りに他の方法を以て之に換ふるも其の害毒は更に之よりも甚しきものあるを奈何せむ。予は是以上論歩を進むること能はず、而かも予が特にザキソニーと俱に此問題を併論せし所以のものは同州が自然的生活法（此法は

漸次減滅するの風あり）の一適例を吾人に提供するが故に外ならず。自然的生活法は始め多大の人口過剰を生じ、其の幼時に於て弱者を抽除して強者を存留し、以て人類を剛健ならしむるの作用あり。然るに世人は自から自然法をも凌駕すべき妙法を知れりと爲せり、是れ思はざるの甚しきものにして吾人の敢て採らざる所なり。

傑出せる教育機關の設備

ザキソニーは教育設備に於て卓越せるが、就中ケムニッツは同州の諸都市中特に傑出せるものあるが故に予は茲に一言する所あらんと欲す。

一千九百一年此地には二十六個の小學校 (Volks-Schulen) あり、而して各小學校は三級に區分せらる (一) 初等 (Einfache) (二) 中等、(三) 高等是なり。(一) 及(二)を Bezirks-schulen (三)を Bürger-schulen と稱す。學校及生徒の分配は左の如くなりき。

小學校

學校の種類	校數	生徒員數	男生徒	女生徒
初等	一六	二三、一二〇	一〇、五六五	一二、五五五
中等	七	六、一二八	三、五七一	二、五五七
高等	三	二、二四〇	一、二〇九	一、一三一
計	二六	三一、四八八	一五、二四五	一六、二四三

各種類の學校に於ける生徒の比例は左の如くなりき。

	男生徒	女生徒	合計
初等	百分の六九・三	百分の七七・三	百分の七三・四
中等	同上三・四	同上五・七	同上九・四
高等	同上七・二	同上六・九	同上七・一

前記廿六校に於ける學級の總數は七百六十四にして、其の内六百九十二は *Reisitzschulen* 殘餘の七十二は高等の *Bürger-schulen* とす。學級の生徒平均數は初等にありては四十三人、中等にありては三十九人、而して高等にありては三十一人なりき。職員及教員は總數五百六十五人にして其の内校長二十七人、正教員(男)四百五十五人、正

教員(女)九人、准教員(男)六十八人、准教員(女)六人とす。即ち男教師五百五十人に對し女教師十五人の割合なりき。此外裁縫及家政科を擔任する女教師二十四人を加算せば教員は總數五百八十九人となるべし。

ザキソニーに於ては小學校は授業料を徴收するの組織にしてケムニッツに於ける制規の授業料は下の如し、初等小學校にありては年額四志九片半、中等小學校にありては學級に隨ひ十九志二片半、二十一志七片、二十五志五片、高等小學校にありては四十八志及六十志とす。然るに極貧にして授業料を納付すること能はざる父兄に對しては之を強要せず。

前記の諸學校は悉くケムニッツに於て隆盛を極むる所の新教派に屬す。然るに此外舊教派に屬する小學校一個あり、此學校は初等小學校同等のものにして七百四十七人の生徒を有し、教員十三人、一學級に付平均三十九名の生徒あり、授業料は年額四志九片半なりとす。

ザキソニーには又補習學校ありて年齢十四歳以上十七歳の少年を強制的に就學せしむる事とせり。ケムニッツには小學校附屬補習學校八個(舊教所屬の一枝をも含む)ありて生徒總數三千四百二十九人あり授業料は一個年二志なりとす。

少女の爲めには家政學殊に割烹法を教授する特科の設ありて四百八十一人の生徒を有せり。然るに是等の學校は補習教育設備の一部と謂ふべきものにして此外一層専門の性質を帯べる諸學校あり、其の生徒たるものは普通の補習學校就學を免除せらるゝ規定なり。此専門補習學校中には徒弟の入學し得べき職人學校 (Handwerker)、少女の入學し得べき同様の學校及同業諸組合トレイド、ギルドの經營に係る特種職工學校あり。是等の特種職工學校は裁縫師、藥劑師、旅館營業者及理髮師を養成するを以て目的とす、而して是等の専門補習學校に於ける授業は英國に於ける工業學校の大學級にて授くるものに酷似す。職人學校に於ける生徒の員數は一千六百三十人ありて、其の中一千五百七十五人は必修生徒なりき。女子學校に於ては八十五人なりき。職工學校に於ては入學料三

志、二科に對する一年間の授業料は八志にして此外別に一科を加ふる毎に授業料を増徴す。女子學校に於ては一年間の授業料十八志とす。『中等』教育は Real-gymnasium Realschule (半古典的) 及 Nöhre Web-schule (近世的) に於て之を施すの規定なり。

吾人は是より高等の工業及工藝教育の状況を説述する所あるべし。此教育中には高等の機業術主として機織意匠及色染の研究生を容るべき機業學校 (Nöhre Web-schule) を含む。此學校は前に記述せしクレフェルド、パーメン、アーヘン、及ミュンヘン、グラッドバハにある諸學校と同一程度のものにして極めて完全なる實習設備を有す。晝間通學する生徒の員數は約六十名にして授業料は自國人にありては年額十三磅十志外國人にありては三十磅なり。此學校には又夜學の設備ありて職工長に對する技術的製圖術を授業し、一週二時間の教授に付授業料は一年間十志とす。此の外此地には稍々特種の性質を有する宏大の工藝學校あり。之れを皇立工科大学校及國立工業學校 (Königliche Gewerbe Akademie und technische Startlehranstalten) と稱す。二校は同一

の校舎中に在りと雖も各自獨立し其の目的も亦異れり。前者は高等工業學校若は科學大學の性質を有し、充分の教育ある青年に對し高度の土木學、建築學及化學を教授し卒業生には學位を授與す。修業期間は三個年半にして授業料は一個年自國人にありては六磅、外國人にありては十六磅とす。後者は數個の工業學校 (Technical Schools) を以て構成せられ建築、土木、「ミリング」、色染及其他の職業に關し稍低度の學理的教授を施す處とす、入學資格は普通の職業學校の卒業證書を有し且一職業に就き若干年間之が徒弟たりし者とす、學級は晝間並に夜間教授の二種あり。授業料は半個年十志以上三十志までなり。

之を要するにケムニッツは前記三州の工業諸都市中最も完全なる教育設備を有す、是れ予が特に其の狀況を細敘せし所以なり。

ザキソニーの人民は殆んど全部を擧げて新教に歸依し舊教徒は僅に百分の四・七に過ぎず。但し後者は近年著しく増加し一千八百八十年以降約三倍となれりと云ふ。猶

太人の員數は極めて寡し。又獨逸に於ては私生兒及自殺者の數他の舊教を信奉する地方に比し殊に多大なり。左掲の數字を覽ば一目瞭然たるべし。

	一、〇〇〇人の出生に對する私生兒	一〇〇、〇〇〇人の住民に對する自殺者
ザキソニー	一二・六	三〇
ラインランド	四・〇	一一
ウエストフアリヤ	二・七	一〇
日耳曼帝國	八・七	二〇

吾人は讀者をして労働及賃銀の私生兒及自殺者發生に及ぼす影響に付認れる結論に陥らざらしめんが爲め爰に一言し置くべきとあり、ケムニッツ及ツヴィツカウの如き純然たる工業都市に於てはドレスデン及ライプチヒに比し私生兒及自殺者寡きこと是なり。

ザキソニーは帝國議會に對し二十三名の議員を選出せり。一千八百九十八年に於ては十一名丈は社會民主黨員なりしが其後増加して二十二名と爲れり。伯林と雖も之よ

り鞏固なる地盤を有せず。

ザキソニー諸都市の動態統計

人	口	一、〇〇〇人に對する出生率	一、〇〇〇人に對する死亡率	出生率の超過	一、〇〇〇人の出生に對し二歳未満者の死亡數
ライプチヒ	四六二、六七五	三三・〇	一八・六	一四・四	二三六
ドレスデン	四〇四、七七三	三二・二	一七・八	一四・四	一九〇
ケムニッツ	二一〇、〇〇四	三九・五	二三・八	一五・七	三三一
ブラウエン	七五、六〇五	三九・六	一七・五	二二・一	一九八
ツヴィツカウ	五六、四六五	三四・四	二二・五	一一・九	二七一
レープタウ	三五、五二二	四四・八	一九・六	二五・二	二八〇
マイセン	三一、九七六	三一・九	一九・三	一二・六	二二五
チッタウ	三一、二四七	二五・五	一七・四	八・一	一九六
フライベルグ	三〇、二七九	二六・六	一九・三	七・三	二二〇
パウツエン	二六、二九七	二六・九	一六・二	一〇・七	一五八
グラウハウ	二五、七六六	三〇・一	二二・九	七・二	三三三
ライヘンバハ	二四、五〇九	三七・七	二三・三	一四・四	三三三
ミラーネ	二三、九四一	三九・一	二三・九	一五・二	三〇六

此統計中最も顯著なる點は諸都市中、殊に機業都市に於ける幼兒死亡率の絶大なるに在り。但し三箇の都市に於て出生率の寡少なるは労働者收容所若は養育院の如き若干の大館舎の設ありて未婚の男女若くは老人を收容するが故なるべし。若し小都市に於て是等の設備あるときは之が爲め出生率及死亡率に對し容易ならざる影響を及ぼすべしと雖も、出生率に對する幼兒死亡率には何等の關係をも有せざるは固より論を俟たざる所なり。

米國工業地の状態

米國工業發展の五大原因

米國の諸製造業は分布極めて廣く、而して其分布は將來愈擴大せむとするの勢あり一八五〇年に於ては新英蘭州（即ちマサチューセツツ、ロードアイランド、カネチカツト、ニューハンプシャー、及ウァアモント）は總産額の百分の二七・八、又中部諸州（即ち主として紐育、ニュージャージー及ペンシルヴァニア）は百分の四六・四を代表せり。語を換へて之を謂へば是等二個の東部集團若は方面にて此共和國の工業力の四分の三を占有せり。然るに一九〇〇年に至り新英諸州のものは百分の一四・四に、又中部諸州のものは百分の三八・九に減退せり。是等諸州は總額の半餘を代表するに過ぎず、此變化は是等諸州に於ける工業の衰頽に基けるものに非ずして、他の諸方面即ち中央諸州（主としてオハヨー、インヂャナ、イリノイス及ミズウリ）が百分の一四・三より

三〇・七に、又西部諸州（落機山系集團）が百分の〇・一より四・三に増進せしに基くものなり。又南部諸州及太平洋沿岸諸州に於ては最近三十年間較著なる工業的發展を遂げしも兩者俱に南北戦争以前一八六〇年に支持せし相對的位置を完全に恢復することを得ず。國內の人口は漸次西方に移動し夫の中央諸州の如きは人口激増の中樞にして又往々『眞正の米國』とも稱せられしが、一八九〇年より一九〇〇年に至る間に於て俄然として勢力を失墜せり。中央諸州の産額は全體に對し百分の三一・四より二〇・七に減退せり。人口稠密の中心點は一七九〇年にはボルチモアに在りしが一九〇〇年にはインヂャナの中部に在り、而して製造業の中心點も亦人口の中心點と與に徐に東方より西方に移動せり、乃ち製造業の中心點は一八五〇年にはペンシルヴァニアの中部附近に在りしが、一九〇〇年にはピッツバーグの西方よりオハヨーに移動せり。是を以て苟も合衆國に於ける工業發達の方嚮を知らむと欲せば須らく人口の移動の問題をも參稽せざるべからず。然りと雖も現下の工業状態を研究せむとする者より觀れば東

部諸州は今猶最も講究翫味すべき土地とす、相對的に謂ふも、將亦絶對的に謂ふも最大最盛の諸單位は此方面に在りて存す。一方に於て紐育及ペンシルヴァニアは依然として今猶絶對的に最大の生産者たると同時に、他方に於てはロードアイランド、カネチカット、マサチユセツツ及ニュージャーシーは人口に對する一人割より謂へば生産者として第一位に居るものなり。是を以て觀れば是等諸州は米國諸州中最も純粹の工業州と謂はざるを得ず。イリノイス州は絶對的に謂へば第三位の工業州なれども人口の割合より相對的に謂へば第八位に在るに過ぎず、故に吾人は北東方面に於ける比較的狭小の面積に於て歐洲の工業地に於けるものと酷似せる状態を發見する事を得、而して此地方に工業を集中するに至りしは畢竟早く機先を制せしが故に外ならず。北東方面は大西洋沿岸若は其附近に在るが故に工業は内地は勿論西部よりも一層早く此方面に興り歲月と俱に發展せり。此方面復同一理由に依り内地の開放せらるゝ迄歐洲移民の大半を吸收せり、其後地の利以外の自然的便宜漸く認知せらるゝに至れり。イリノ

イスに於ける異常の發展の如き其一例なり。同州は一八四〇年には第十六位に居りしが一八六〇年一躍第八位となり、尋で一八九〇年には第三位に陞れり。

吾人は英獨兩國に於ける重要な工業地を考察するに當り工業地の概ね數百年に亘る工業史を有すること、天與の地利に依り其位置を定めること、且又此位置保續に就ては地利に加ふるに土着人民の世襲的技術（一時其位置を定められたる工業地と雖も新發明、新材料又は新風潮に伴ひ其位置に大變化を生ずることなきにしもあらず、然るに住民の世襲的技術あるときは猶克く傳來の工業を舊位置に保持することを得べし）を以てすべきことを論述せり。然るに此推論は其儘米國に適用すること能はず。一七九一年ハミルトンの起草に係る有名なる『製造工業報告書』を閲するに當時許多の工業既に其緒に就き、降て第十九世紀の劈頭に方り大に伸興せし證迹ありと雖も、人民は依然として農業を主とし、而して其需要物品は十中の八九迄は歐洲より輸入せられ、之に對し自國の農産物に依て償却せられたり。是を以て昔時歐洲に於ける諸舊邦が自

國の需要に應ずる爲め勢ひ學習せざるを得ざりし所の世襲的技術は米國に於ては殆んど存在せざりしものと謂て可なり。米國に於て闕如せる物品は歐洲より供給せらるゝを常とせり。然るに人口の増殖に伴ひ工業的技術の缺乏より生ずる不便を感ずるに至りしが、此不便は極めて簡單の方法に依り漸次救治せられたり。方法とは他なし、技術をも輸出せしこと是なり、此技術は既往に於て輸入せられたるのみならず。現時に於ても猶輸入せられ居るなり。此方法は完全なる救治策には非ざりしも効果ありしは疑を容れず。加之方今工業の製作法は國中到處多大の變化を生じ其結果各種の工業に於ては熟練の必要漸次減少するに至れり。近時は等の變化を醸成せしは主として米國人發明工夫の才なり、米國人をして發明工夫の才を發揮せざるを得ざるに至らしめしは時勢の必要に外ならざりき。當時米國に於て最も缺乏せしものは労働なりき、されば新發明の器械は其目的が總て器械力を以て人力に換ふるに在りたり。工業界に於て明かに米國式若は米國風と認むべき一機軸を出せしは其一結果と稱すべきなり。予は此

點に就ては茲に詳論せざるべし。又世襲的熟練なるものは多少特殊地方に固着するものなり。然るに米國には熟練なきが故に工業的企業上歐洲諸國に比し一層自由自在に移動し、而して其發展上有利の事情ある地方に趨くことを得、是れ敍上の如き西漸的移動を誘致せし所以にして、又工業をして製作方法に關し保守主義てふ桎梏を脱れしめたる所以なり。

米國々勢調査報告書を閲覽するに保守主義てふ桎梏を離脱せしことを以て米國が一躍して諸工業の首班に列せし一原因なりと爲せり。同報告書には左記の五原因を列舉せり。

- (一) 農業的資源
- (二) 鑛業的資源
- (三) 非常發達せし交通上の利便
- (四) 各州及各領地に於ける貿易の自由

(五) 過度且傳來的保守思想の羈絆なきこと

茲に農業的資源と謂ふは食料品及工業用原料を含むものなり。調査報告書に據るに兩者俱に他の工業諸國に比し一層廉價豊富にして種類も亦多し、加之『多くの地方に於ては製造工業の性質は氣候に依り又其土壤の最も適合せる産物の性質に依りて決定せられたるものなり』。南部諸州に於ける棉業の發達の如きは之が好適例なり、鑛産物に關しては調査報告書には米國が石炭、鐵及銅の採掘額に於て諸國を凌駕せることを表明しあり。鐵及鋼鐵業の中心點の東部ペンシルヴァニアより西部ペンシルヴァニア、オハヨーは勿論、迥に南部諸州に移動するを以て觀れば石炭及鐵の普く國內に分布せることを知るべし。交通の利便に就て之を謂ふに其の最も明著なるは内國的水運にして殊に諸大湖の聯珠の如く相接續せるが如きは天下比すべきもの無し。是等の大湖に依り供與せらるゝ水路はロセスターより、デューリュース迄にて其の長さ一千哩に上り、一八九九年此水路に於ける載貨總哩數は鐵道全系統の五分の二に相當せり。全國

中第一、第二、第三、第五、第八、第九及第十位に居る工業諸州即ち紐育、ペルシルヴァニア、イリノイス、オハヨー、インデヤナ、ウイスコンシン及ミシガンの七州は湖畔を圍繞して一大地帯を構成し其勢力旺盛にして當るべからず、纔に之に頡頏し得るものは大西洋に倚賴せる北東大西洋沿岸諸州の一地帯なるに過ぎず。内國的水運の工業に及ぼす影響の偉大なる以て知る可し。此外米國には航行し得べき河川の哩數一萬八千哩以上あり、鐵道數は歐洲全體のものを超過し、而して『鐵道に依れる貨物の輸送は他の諸外國に比し一層低廉なり』。終に蒞み一言すべきは州際貿易自由に行はるゝが故に諸州は他の貿易諸國に比し一層自由に市場を獲得す、加之工業上何等傳説の制肘するものなきが故に自由に新機軸を出だし又新企業を興すことを得。

敍上の言説は多少議論の餘地ありと雖も、予は之に就き茲に批評を加へざるべし。予は米國政府が自國の工業上の位置に關し懷抱せる意見として、且亦同國に於ける工業の趨勢を窺知するに足る最良の研究資料として敍上の言説を載録せり。敢て問ふ、

米國は既に是等の優越せる長所を具有するとせば何を苦むで外國製品をして内國製品を壓倒せしめざらむが爲。前者に對し禁遏的關稅のみならず過重の稅率を賦課するの必要あるやと。吾人は關稅問題に對し敢て之を譏嘲せむとするものに非ず。將亦之に對し論戰を挑發せむとするものにも非ず。是れ實に國際的に工業狀態の優劣を比較するに當り看過すること能はざる所の重大問題なり。英國製造業者等嘗て予に謂ふて曰く、『米國にして若し斯くの如く卓越せりとせば豈に百分の百の關稅を賦課して予を驅逐するの必要あらむや。百分の五十の關稅に對しては予は既に彼等を壓倒し今猶壓倒することを得。百分の百若は百二十のものに對しては予は之と輸贏を争ふこと能はず、予の知らむと欲する所は他なし、彼等の所謂優越力の所在是なり』と。予は曩に米國視察中屢々質問を發せしも要領を得ること能はざりき。惟ふに今日と雖も決して之が確答を得ること能はざるべし。而して前述せしが如く米國自ら天與の富源を反覆絮説するに至つては之が確答は愈々得難かるべし。

マサチユセツ

製靴業の發源地と大工業州

予は前に新英諸州中には米國に於ける最純粹の工業地域あることを説述せり。是等の諸州は工業に使役せらるゝ職工員數と人口總數との比例より云ふも、又一人當りの生産額より云ふも二つながら第一位に居るものとす。是等諸州中至大至要のものはマサチユセツなり、ロードアイランド及カネチカットの二州は是等の點に於てはマサチユセツに優り、隨て相對的に謂へば第一位に居ると雖も絶對的工業實力より謂へば米國諸州中ロードアイランドは第十五位、カネチカットは第十一位に居るものとす。此點に於てはマサチユセツは第四位にして唯紐育、ペンシルヴァニア及イリノイスの三州のため凌駕せらるゝに過ぎず。マサチユセツは又米國最初の工業州たるの名譽を有す。一八一〇年同州は第一位を占めたりしが、尋で紐育州之に代りて一八五〇

年迄はマサチユセッツは第二位に居りたり、是より先き米國獨立宣言發表以前より同州に於ては銳意家内工業の發展を圖りたるもの、如し。一七六七年波士敦に於て海外より若干 物品（各種の織物を含む）を購賣するを禁止することを決議し、降て一七八〇年ウースターに於て織物を製造する各組合を組織せり。英國のため法律に依り器械を輸出することを禁制せらるゝや、マサチユセッツは之が爲發憤努力し、一七八六年トーマス、ソーマーズ、ロバート及アレキサンダー、バー（初めて一人は英國人、終りの二人は蘇格蘭人）に綿絲紡績器械を製作裝備するの許可を與へたり。一七八八年マサチユセッツ州ベヴェリーに於て紡績工場設立せられたり。是れ米國に於ける紡績工場の嚆矢なり。予の按ずる所に據れば第一に創業せしものは一七九〇年ロードアイランド州ボウタケットに於て設立せられたるものなり。當初斯業の進歩は極めて遅々たり、一八〇八年に至て僅かに十五個所の紡績工場設立せられたるに過ぎざりき、當時是等の諸州の獲占せし紡績業及紡績器械製造業に於ける優越的地位は爾來持續せら

るゝことを得たり。一八一四年波士敦のエフ、シー、ロウエルなる者汽力織機を製作するに及び前記の事業は著しく伸暢せり。ロウエルは英國に於て其製作法を研究せしものにして、恰もフルトンが汽船の造船術に於けるものと相同じかりき。又毛織業は綿業に比し遙に早く着手せられたるものにしてマサチユセッツは時日に於て諸州に卒先し又位置に於ても今猶諸州に冠絶す。同州は毛絲業に於ても亦然り。聞く此事業は毛織業よりは後れて起れるものなりと云ふ。又マサチユセッツは夙に長靴及短靴製造業に於て卓越せしが、爾來依然として其位置を持續することを得たり。一六三五年二人の靴工リンに來り居を定め業を營めり、是れ此州に於ける製靴業の起源なり。今日リン市は斯業に關し米國第二位の中心にしてマサチユセッツ州に於ける他の都市たるプロックトンに次ぐものとす。惟ふに凡百の製造業中斯業の如く全く米國化し即ち米國流の方法に依りて變化せられしものは他に是れあらず。換言せば米國特有の人力省略器械を利用して廉價且迅速なる製造を行ふもの、中製靴業の如く多大の進化を呈せしものは

他にあらざるべし。マサチユセッツは製靴業の本場たり。一八一八年木釘締方^{バックヤンク}發見せられて、舊來の縫合法廢止せられ、一八五一年木釘締方に器械を應用せしが、一八六一年靴底縫合機發見せられ製靴術は是に於て大成せらるゝに至れり。此外鐵器類及紙も亦主要産物にして兩者俱に由來極めて遠きものなり。

米國に於ては各種の工業概ね其所在地を移動し漸次全國に分布するの傾向ありと雖も、新英諸州に於ては除外例を有し或種の工業にして往時一たび一地方に於て隆盛に赴きたるものは其後努めて其地方に之を固着せしめむとするの風あり、諸州は大西洋方面に近邇せるのみならず、復た水力てふ天與の利器を有す、而して此水力は主要の工業諸市の位置を決定するに與りて力多きに居れり。マサチユセッツに於けるロウエル、ロウレンス及フオール、リヴァー三市は較著なる例證たり。三市は盡く機業市にして純然たる工業的性質を有す。予は此三市と他の諸市との比較論を試むるに先ちマサチユセッツ州に關する工業統計及首府に關する感想を略述する所あらむと欲す。

同州の人口は最近に於て二、八〇五、三四六人にして其の内四九七、四四八人即ち百分の一七・七は製造業に従事する労働者なりき、製造業中には若干の手職業、官立諸製作場及小事業場をも含むものなり。若し是等を除くとせば製造業に従事せる労働者の員數は約四四五、〇〇〇人なりき、其の内三分の一は同州最大の工業たる織物業に従事せり。織物業中第一位を占むるものは綿業にして之に従事する職工は九〇、〇〇〇人以上なり。毛織業及毛絲業は第二位に居りて三六、〇〇〇人の職工を有し、莫大小業は第三位にして七、〇〇〇弱の従業者を有す。然るに製靴業は綿業に次ぎて最多數の職工を有し、現に五八、〇〇〇人以上を擁せり、斯業は一八九〇年には六七、〇〇〇人以上の多數を有せしも爾來其員數著しく減退せり。又機織器械製造業は前途極めて有望にして日進月歩の勢あり、是れ發達しつつある機業地に於て常に觀る所のものなり。此製造業に使役せる人員は三二一、〇〇〇人以上にして一八九〇年に比し約百分の三五の増員なり、其他の職工は此外諸種の製造業に對し殆ど均等に分配せられたり。人口

の密度は英國に於けるものと略ぼ相等し。マサチユセッツ州には炭坑絶無の姿なるもカネチカット、メリマック及其他の河川より多大の水力を供給せらる。機業の夙に發展するに至りしは此天與の賜に職由する所多し、而して近時石炭及汽力の利用漸く加はり之が爲水力は往時の如く重視せられずと雖も、大規模の運河及水閘に依りて各地に於て利用せられたり。是等の運河及水閘は鉅額の費用を擲て構築せられたるものにして今猶維持せられ居るものは製造業に使用せらるゝ全馬力の中、其四分の一以上五分の一は水力より取得せらるゝものなり。

波士敦

米國第一の教化文學地

此大工業州たるマサチユセッツに就き特筆大書すべき一事あり他なし、此州に於ては常に獨り石炭のみならず殆んど一切の原料を隔遠の地より輸送せざるを得ざること

是なり。是を以て苟も地方工業を維持せむと欲せば必らず交通機關をして必要の程度迄發達せしめざるべからず。波士敦たるや獨りマサチユセッツに對してのみならず復た附近の新英諸州に對して海陸運輸の咽喉たり其他樞要地たるを以て知るべし。然るに米國人戲に之を以て『宇宙の中心』と自稱するが故に歐洲に於ては大に波士敦を誤解し、之を以て碩學鴻儒の淵藪にして遠く實業界の俗塵を出でたるもの約言せば、牛津同様のものなりと爲せり。此想定は一面の眞理なきに非ずと雖も決して事實の眞相を得たるものに非ず。波士敦は米國多數の大都市の如く専ら事業を營む處にして各地に比し學術の研鑽極めて旺盛なり、但し紐育及費府と雖も多少其傾向なきに非ず、波士敦は古往今來他の市邑に於て見ること能はざる教化文學の地なり、是れ主として此地に「ハーヴァード」大學在るが故なるべし。然るに此一事を除けば波士敦は眞に一大商業地たり。同市は牛津よりも寧ろマンチユスターに酷似す。實際より之を謂へば波士敦の新英州に於けるは猶リヴァープール及マンチユスターのランカシャイヤに於

けるが如し。波士敦は要港大鐵道中心點及市場の三者を兼備するものなり。マサチュセツツに於ける製造業の幹部員はロウエル、若はロウレンス、或はフォール、リヴァーに於ける工場に居らずして波士敦に於ける事務所に在り。此地は商業般盛の地にして其中心は港内に突出せる島上に在り、其熱鬧嘈囂は毫も紐育、市俄古或は費府と譲らず、市街には行人肩摩、百貨輻輳し、電車は車輛多く速力迅速にして、乗客亦極めて多し、此市に於ける最も著明の建築物は圖書館にもならず、三一教會にもならず、工藝學校にもならず、州廳にもならず、將亦「ハーヴァード」大學にもならずして實に其大鐵道停車場に在り。予の見る所によれば此停車場は世評の如く世界最大のものなり。此停車場は縦合コローン及ドレステンの如き獨逸に於ける最新式停車場の建築的技巧と品位とを有せざるも廣大なる點に於ては天下に冠絶す。予は信ず此停車場は無數の新設備を施し以て運輸事業を敏活ならしむるに適すべきも、餘りに宏大なるが故に旅客の不便となるべしと。此巨大なる建築物は南部及西部に赴くべき鐵道の終點なり。

此市には此外他の諸鐵道の終點たる洪大の停車場一箇所及其他幾多の小停車場あり。之を要するに波士敦は港頭に聚合せる一大鐵道網の焦點若は中樞にして、新英州の實業中心と稱すべきものなり。

波士敦の中心點は彈丸黒子の如き孤島内に壓搾せられ、而して周圍の水上を越へ以て始めて四方に擴延することを得、此地勢より謂へば波士敦は紐育と相肖たり。此中心點は波士敦の舊市街と云ふべきものにして市の外觀は米國諸州の都市よりも寧ろ歐洲の古都市に類似せり。此方面は人家稠密を極め市街は概ね狹窄且極めて不規則にして何れの方にも赴けり、加之市街には車馬絡繹行人織るが如く到る處巨大の倉庫を列べ、華麗の商店軒を聯ね一見此地の富盛なるを知るべし、大廈高樓の在る所は之と與に貧民窟あるは勿論のとして暗黒險惡の地區亦多く、其慘絶悽絶の光景は觀る人をして轉た酸鼻せしむ。然るに是れ波士敦の特徴と謂ふべきものにあらず、其窘窮汚穢の度は之と大さを同ふし又之と性質を同ふせる英國の都市に比すれば迥に少し、之

に反して富家豪族極めて多し。米國の市街建築には故らに美若は均齊を街ふの風なく、最良の住宅は一見修潔にして人目を怡ばすに足るものあり、是等の住宅街には自重の風ありて米國に於ける他の諸都市の流弊とも稱すべき俗惡の觀なく、又英國都市の特微たる煤色を帶ぶるの風もなし。波士敦は是等俗惡の諸市中に於て費府及華盛頓と與に其流弊を蟬脱せるのみならず、復た米國諸市中最も清楚なるものなり、市街は概して克く行届居れり。文學、科學及美術の爲め専用せらるゝ建物及教會極めて多く、公立圖書館の如きは予が地方都市に於て目撃せしもの、中最も瑰麗なるものとす。此圖書館は華盛頓に於る議會附屬圖書館に次ぎ全國第二の大圖書館にして、單に建築物として觀るも誇るに足るべきなり。此圖書館は米國に於ける他の圖書館と異り新聞閱覽室を有す又新機軸と云ふべきは器械的設備を以て閱覽者に所要の圖書を供給するとなり。此地の工藝學校 (The Institute of Technology) も亦一大工業州の首府に愧ぢず、此學校は農業を除き米國に於ける工業教育機關中起原最も遠く、又名聲最も高さものにして

てシャーロテンブルクにある工業大學と對稱せば、多少遜色あるを免れず。伯林の工業大學は建築上より謂へば迥に之よりも雄大にして又教育上より觀るに方針を異にする所あり。波士敦工藝學校は範圍實に廣汎にして語學、經濟、地質、生物及其他工業化學と關係なき學科をも包羅す。伯林大學の教程は之よりも一層専門的にして學術上一層進歩せり。波士敦の工藝學校は程度稍低き高等學校若はマンチェスターに在る新設工業學校(此學校は實際工業學校に則りて經營せられたるものなり)に類似す。

予は新英諸州の商業的中心たる波士敦の如何なる者なるやを略述せり。要するに此市は廣袤、位置及性質の三者に於て漢堡に酷似しながら稍之に劣れるもリヴァプール、マンチェスター若はグラスゴオに優れり。是れ他なし此市がアレガニー炭田の東部に於る大小の諸都市と同じく無煙炭を使用するため煙害を免るゝの大利益を有するが故なり。最近の人口は五六〇、八九二人にして其の内百分の三五・一は外國出生に係り、又百分の二・一は黑人なりき。外國出生人民に就き主要の生國及員數(千單位)を擧ぐ

れば下の如し。愛蘭人・七〇、加奈陀人・五〇、其他の英人・一八、露國人・一五、伊太利人・二四、獨逸人一〇¹/₂スカンデネヴィヤ人・七、和蘭人・四なりき。死亡率は一、〇〇〇人に對し二〇・一なり、近年戸籍登録稍完全となりしが故に此數字は信賴するを得べし。波士敦は元來製造業市に非ず、然るに此市は一大海港あるが故に必然の結果として若干の製鐵所及器械製作所あり、此外各種の手工業ありと雖も大規模の工業は絶無の姿なり。波士敦は米國都市中比較的舊市に屬するも一八二二年人口四五、〇〇〇人のとき始めて自治制を布き、爾來僅かに八十餘年の星霜を閱せしに過ぎず。此地は今猶急速の度を以て發達するの勢なり、最近十年間の人口増加は百分の二十五強なりき。

三大綿業市と家屋構造觀

綿絲工業は南部諸州に於て日進月歩の趨勢あるに拘らず、マサチエセッツは今猶綿

業諸州中最高の位置を獨擅す。米國に於ける綿業都市中第一位以下第三位迄は皆此州に在りフオール、リヴァー、コウエル及ニュー、ベッドフォード即ち是れなり。此三市は皆純然たる工業都市にして英國のボルドン、オールドハム及ブラックバーンと匹儔するに足るべきも兩者は外觀上非常に相違する所あり、マサチエセッツは一見ランカッシャイヤと秋毫も類似せる點を有せず、後者は蕭條にして殺風景を極め、又石炭と鐵との爲に汚瀆せられ、マンチユスターを基點として、大小の工業都市陸續として四方に連互し、煙突、炭坑及殘滓は到る所に散在し、一見人をして汽笛鐵鎚の響音を耳にするの感おらしむ、マサチエセッツは之に反し田園の風氣を帯び幽靜閑雅にして人目を樂ましむ、而して工業市は數哩を隔て、相連り其間平和の農村を夾み、鶏犬の聲遠く相聞ゆ、諸君若し工業市に到らば此地には炭庫なく、又大規模の製鐵所なく、隨て建築物の煤煙の爲め穢されたるものなきを見るべし。惟ふに此差違を生ぜし主因は石炭及煤煙の有無に在るべし。又新英州綿業諸都市は英國ランカッシャイヤ州に於ける同

業諸都市に比し面積適に小なるのみならず創業日猶淺きものあり、加之是等の諸都市は其他種々の點に於て大に異なる所あり。是等の都市は英國に於て見ること能はざる一種の典型を代表す、此典型は米國都市に關する初期の典型と近世的典型との中間に在り、初期典型とは道路に沿ひ孤立的に木造家屋を建設し、又道路は互に直角を爲し兩側に樹木を植へあるものを云ふ、市中には到る所空地あり、而して家屋の相櫛比して市街を成せる處は唯市の中心に過ぎず。然るに是等の家屋は漸次木造より石造に改築せらる、即ち此地の人口と富の増進するに従ひ此改築は愈行はれ終に永久建物相隣次し、秩序ある市街を現出し以て完全の都市と成るものなり。但米國都市の歐洲都市と異なる所は、幾何學的配置と二十階以上の大建築を許容するが如き建築的專制主義の二事とす。是等の近世的建築は鋼鐵及混凝土を以て造營せられ、其正面のみは石造とするが故に是等建築物の材料は外觀だけは他の都市同様兎に角煉瓦若は石材を以てせり。是等の建築は足場材を用ゐずして内部より築成せらるゝが故に無限の高度に達し

米國特有の『摩天樓』を現出することを得、是等摩天樓のこと及富豪の建築に係る大理石造の邸宅のことは夙に世に喧傳せらるゝを以て吾人は米國大小の都市は皆大厦高樓を以て築成せらるゝものゝ如く誤解せるも、實際摩天樓は其數多からず、紐育に於ても二十を出でず、其他何れの都市と雖是れ程多き所なし、費府及ピッツバーグには僅に二三にして波士敦、華盛頓及其他の通邑大市すら全く絶無なり、而して摩天樓は主として事務所で使用せらるゝものなり。米國都市に關する真正の特色は依然として木造家屋に在り、大都市と雖も其場末には今猶木造家屋の存するあり、其他小都會に於ては到る所木造家屋を見ざることなし、木造家屋の摩天樓及大理石造邸宅に於けるは恰も貨物船トランプの巨大なる航洋汽船に於けるが如し、後者は大に世の耳目を聳動し治く人口に膾炙するも、實際世界の貨物を搭載し萬國の商業を營むものは後者に非ずして前者なり。米國の三大綿業都市は發達の程度より謂へば初期の典型と近世の典型との中間に位する者にして、其主要市街には石造の家屋軒を聯ぬると雖も其他の場所にては

市民の大部分は依然として木造家屋に居住す。是等の家屋は概ね可なりの大廈にして數家族之に共住するを以て、都市に在る米國人の邸宅は英國人の所謂自己の城廓なりと稱し難きを常とす。然るに割住生活フラット、アップは獨逸の諸都市に於けるが如く普及し居らず、労働階級の家族にして矮小なる獨立家屋に居住するものなきに非ずと雖も、全市皆職工長屋を以て構成せらるるが如き英國流の大工業都市は米國に於ては未だ存在せず。又米國に於ては獨身者比較的極めて多きを以て下宿生活大に流行し居れり。

フォール、リヴァーの綿工業

フォール、リヴァーは米國最大の綿業都市にして此工業が此地に勃興發達せし所以は水力及海港ありしが爲めなり。同地マサチューセッツの海岸(波士敦の南方約四十哩)に位し、工業隆盛なる新英諸州所屬諸都市中の一なり。此市はニュー、ベッドフォード、プロヴィデンス、トウントン、ブロックトン其他の小都市と相接近す、此市に關し歴史上感興ある事實を發見せんと努めしも獲る所なかりき。米國に於ける綿業は開

始以來未だ百年を出でず、而して各綿業地の歴史も亦皆此期間に發生せしものに外ならず。一八二〇年フォール、リヴァーの地名を冠せし一會社成立し綿布を織製するを以て業務とせり、然るに製造業時代の到來する迄は此地は單に一海港に過ぎざりしなるべし、而も今日とても此地は紐育より波士敦に至る海路に於ける重要の一終點たり。此海路は極めて夥多の船客を出入せしめ殊に夏季間旅客は鐵道よりも此海路を取るもの多し、然るに此地は旅客の爲め乗換所として利用せらるゝに過ぎず、此海路を往復する渡船は宏大美麗にして能く一千内外の船客を搭載し、夕に紐育を解纜せば翌日未明に此地に到達する事を得べし。而も朝食前乗客盡く去り復た隻影を此地に留むる者なし。是れフォール、リヴァーには紡績工場以外何等風光の觀るべきものなきが故なり。此市は一〇四、八六三人の人口を有し、高臺に位置し、不規則的に擴延し、臺上より港及臺下に集合せる紡績工場を俯瞰することを得。市街は諸所に散在し街上亦不潔にしてランカッシヤイアの諸都市に比し之よりも觀るべきものなし。然に此市には外觀

壯麗且堅牢なる公私の建築物若干あり、殊に紡織工場は其最も較著なるものにして吾人の注目凝視すべきものなり。紡織工業に關する最顯著の特色は大會社に於ける工場の尨大なること、すフオール、リヴァー製作會社は諸會社中最大のものなるが一棟の工場に能く三八〇、〇〇〇錘と約一一、〇〇〇機とを容るゝことを得たり。是等會社は僅に數種の製品を専門として製造するの方針を採るが故に多大の數量を製出することを得。例之前記製作會社の如きは太絲即ち十八番手及三十六手の綿絲のみを紡出し此外一種類の型附物を製造す、該會社又自營の漂白及型附工場を有す。然るに近時南部諸州の競争を受け太絲より細絲に進暢せむとするの傾向あり、若干氈會社にては百五十手迄の細絲を紡出すと云ふ。大會社の建築は結構雄麗なり。又作業室は採光、換氣二つながら良好なり。予は製作會社附屬紡績室に於て英國オールドハム「ブラッツ」會社の製造に係る許多の新式紡績器械据附あるを目撃せり、但し織機は米國製なりき。又熟練職工は主として英國人なるも未熟職工は其他の外國人にして佛國生加奈陀人最も

多し。因に云ふ、佛國生加奈陀人は外國生人民の大部分に居るものなり。又職工間の同業組合は良好なり『ミユール、スピナー』間のもの殊に然りとす、『ミユール、スピナー』間の同業組合は事實上ランカッシヤイヤにあるものに劣らず、是れ彼等が概ねランカッシヤイヤより渡來せし者なるが故にして毫も恠むるに足らず。新英州に散在せる『ミユール、スピナー』の百分の八十五乃至九十は職工組合に屬す、而してフオール、リヴァーは其本據なりとす。此地にては一人も残らず入會し居れり、彼等は英國同様豫め工場主と商議決定せる賃銀率を有し、且亦ランカッシヤイヤに於けるものに比し稍不完全なるも爭議調停に關する一種の機關あり。初期の紛争に就ては職工組合の主事は普通工場主と直接談判を試み之を妥協することを得、工場主等も亦敢て城府を設けず容易に示談に應ずるの美質あり。賃銀率の改變は工場主と職工との協議の上之を行ふものとす。『ミユール、スピナー』の平均所得額は一週間二磅十八志にして最高額は四磅とす。一週間の操業時間は五十八時間なり。梳刷室職工は一週間

四十三志以上五十志の所得あり、故にフォール、リヴァーに於ける操業時間の長さこと家賃の不廉なること、及生活費の多大なることを念へばランカッシャイヤに對する此市の利益も左迄大ならず、有力の一職工組合論者にして英米兩國の事情に通曉せる人あり、彼曰く、『技能ある職工は内國に留るを得策とす』と。此他の住宅は種々ありて一様ならず、予の前段に敘述せしが如き木造割住家屋は其數多く、是等は三四階の大家屋にして通常四家族以上六家族を收容す。家賃は一室一週間二志以上三志とす。四室及臺所のみなるときは一週間十志以上十二志なり。此外狭小の住宅あり、職工にして建物協會の幫助に依り之を所有し若は名義上所有し居るもの鮮少ならず。最近に於ては二一、〇二七家族九、五〇九戸の家屋に居住し一戸平均十一人の割合なりき。惟ふにフォール、リヴァーの如き中間的都市は米國の近世的大都市及英國の舊式都市に比して大に優れる點は人口の過度に稠密せざること貧民窟の存在せざるとにあり。市中は空地多く人家は廣濶なる地所に散在せり。居住に適せざるが如き不潔なる陋屋は

市中に於て見ることを得ず、然るに公園及遊歩場は英國工業諸都市に於けるものに比し迥に劣る所あり、是れ主として米國に於て氣候の關係上綠草に乏しきが故なり。衛生の設備は一般に不完全にして窒扶斯の流行殊に甚し、否其蔓延極めて猖獗なりと謂ふも敢て誣言に非ざるべし。米國に於ては水道の設備一般に極めて不良なるが、近年各都市に於て特に意を水道問題に致せしを以て疫癘の流行著しく減退するに至れり。米國都市中には水量豊富なるも水質不良なるものあり、純良の飲料水を獲んと欲せば多大の經費を投ぜざるべからず、是を以て飲料水の良質と多量とは常に相伴ひ難きものなり、而して世人は往々米國の家屋に於て莫大の水を消費することを知つて却つて水中病毒の發生之に讓らざることを閑却す、是れ吾人の大に憾む所なり。

飲料水以外のものにして窒扶斯の病源となるものは不潔なる養殖所より來る牡蠣の消費なりとす。牡蠣は大部分無害の食料品なるも一般人民は全部皆な然るものと誤解せり。米國の知友等予に謂て曰く『我國の牡蠣は全く安全無毒にして、英國に於て見

るが如く之を食用するも窒扶斯に罹るの虞なし』と。然るに一八九四年カネチカット州に於て牡蠣の爲に窒扶斯に罹りたる事實始めて學理上歸納證明せられたり、又新英州の海岸に於ける牡蠣養殖所の不潔は英國に於けるものよりも甚し。然るに此問題は其後深く研究せらるゝに至らざりき。マサチュセッツ工藝學校のセツヂウィック教授は牡蠣發生窒扶斯に關し左の如く言へり、曰く、

『此問題に就ては米國に於て今日迄未だ深く研鑽せらるゝに至らず。若し一度之を討究することあらば牡蠣養殖事業に伴ひ不衛生的情態の多々存在することを暴露するに至るや未だ知るべからず』と。

予は牡蠣及其他の貝類の採取せらるゝ港内附近の場處に於て下水渠を放流するの事實を目撃せり。新英諸州が自ら事實の真相を究めず晏如として衛生上有害の状態を看過せるは此一事を以て之を知るべし。

ローエルの美麗なる綿業市

ローエルは美麗なる都市にして同級都市中好箇の代表者たり。此市は波士敦の北方二十六哩の地に位しメリマック河に臨めり、同河は巖床の上を流るゝが故に水極めて清瑩なり、而して此地に到り谿逼り水分れて數條の飛瀑となる。是れ昔時綿業創始の際此地を下して工場を設立するに至りし所以なるべし。波士敦のフランシス、ローエルが工場を設立せんが爲めメリマック河畔に來り、其の名を冠せる都市を創創せしは實に一八二三年のことなりき。米國に於ける幾多の工業都市は皆な此の如き方法に依りて創設せられたるものにして此方法は今日猶實行せられつゝあり。ローエルは現に九四、九六九人の人口を有し、其の内三一、五八二人「製造工業及機械製造業」に従事す故に此市は純然たる工業都市と稱することを得べし。主要の製造工業は綿業及莫大小なるも此地には有名の一毛織會社及若干の器械製作會社あり。此市はフォールリヴァーに比し劣る所ありと雖も尙米國第二位の綿業市たるを失はず。住民中外國出生者の比例は百分の四三・一なりき。加奈陀人（佛國出生）一九、一五九人、愛蘭人一二、一四七

人、英蘭人四、四四六人、其の外の國籍に屬するもの、中最も多きは希臘人にして其員數一、二〇三人なり。此の外稍多きは瑞典人、埃國人、葡國人、波蘭人及露國人なり。總て是等の外國人は紡績工場に傭使せらるゝものにして是等の工場には各國の職工一堂の下に相會するの奇觀を呈す。予のローエルに赴くや偶々紡績業職工等一大同盟罷業を決定せり、而して之が加盟者は曾に獨り男工のみならず、復た女工殊に多數の加奈陀、愛蘭及英蘭出生の婦女ありたり。

ローエルに於ける一切の紡績工場は同盟罷業のため一時皆閉鎖せり。予は之が爲め工場を巡察することを得ざりしも此事變のため多少工場の真相及其他の問題を審にすることを得たり。罷業の原因は始め『ルーム、ファイキサー』(loom-fixers) 等が他の綿業地殊にフォール、リヴァーに比し工銀低廉なりとの理由に依り一割の増額を要求せしに在り。當時予は或人より下記の工銀率を聽き得たり、同人は工場主にも非ず、又職工にもあらず、復た此爭議に何等の關係をも有せざるも勞働問題の情態に精通せり。

一週間平均所得額は下の如し『ミュール、スピナー』(mulespinners)五十志、『ファイキサー』(fixers)四十八志以上五十二志、織工二十八志、梳刷工二十四志、『リング、スピナー』(ring-spinners)二十四志、監督(overseers)三磅十二志以上四磅十六志、『セカンド、ハンド』(second hands)八志以上三磅四志なりき。是等の工銀率はフォール、リヴァー及ニュー、ベッドフォードに於て現に給與せらるゝものに比し著しく低額にして、又ランカシャイヤーに於けるものよりも高額ならず、加之若し操業時間の長短と生活費の廉不廉とを參酌するときは此地の工銀率はランカシャイヤーに於けるものよりも低廉なり。然るに工場主等は此増給を拒絶せり。是に於て機業評議會なるもの蹶起して職工の躬方となり、同志を糾合せしが職工の加盟せし總數一三、〇〇〇に達せり。尋で該評議會は此事件を州立調停所に訴願し代理者を出廷せしめたり。調停所は工場主等を召喚し尋問する所ありしが、彼等は工場に於ける器械的設備舊式に屬するが故にフォール、リヴァーと同額の工銀を給與する事能はざる旨を陳述せり。職工

側の代表者は此事實を否認することなく寧ろ承認し、之を以て工場主の怠慢なりと爲せり。其後調停委員は工場を視察せしが一個所の工場を除き、其他の工場は所要の工銀を支給すること能はずとの報告を爲せり。此時迄職工は依然として休業せしが二箇月の後諸工場は舊工銀率の儘再び開業し、多數の職工は復業し其後三週間を経て前後十二週間に涉りたる此同盟罷業は全く終熄せし旨公示せられたり。

ローエル市には紡績工場よりも數層著名なるものあり。ビゲロウ絨氈製織會社は是れなり。該製造業の此市に起りたりしは一八二八年のことなりき。當時エラストス、ビゲロウなる者若干の絨氈製織機を作製し、之を一紡績工場に裝備せり。抑も米國に於ける絨氈製織業は費府にて初めて行はれたるものにして同市は今日も猶國內第一の主産地たり。然るにマサチュセッツをして洋紅絨氈製造業を以て全國に冠絶せしめたるものはビゲロウ製織機の功なりとす。今日ビゲロウ製絨會社は二千内外の職工を役し各種の絨氈を初より仕上げ迄一手にて完製す。即此會社は紡績、染色及機織の三

業を併せ行ふことを得。職工は男女俱に主として英國人にして多くはキツダーミンスター及ハリファックスの兩地より移住せるものなり。予が此地に於て親しく目撃せし所に依れば是等の女織工は體力著しく優秀にして彼等は主として「アクスマインスターズ」絨氈、又男工は「ウイルトン」及洋紅絨氈の製織に従事す。予が一職工より親しく聞く所に據れば彼は一週間二磅十六志の工銀を取得すと云ふ。是等の工場は設備良好なるもハリファックスに在る「クロスレー」工場に比し遜色あり、殊に若干の作事場の如きは場内非常に暗黒なり、是れ米國機械室通有の一大病弊なりとす。

ローエルの市區は多少不規則なるも計畫は宜しきを得たり、主要の市街は道幅廣く路面平滑にして外觀快適なり。市廳及圖書館は二つながら壯麗なり。兩者は俱に石造にして結構巧妙を極めローエルと同級の米國都市中之と匹敵すべきものなし。此圖書館には六二、六一八冊の書籍を藏す。住宅に就て觀察するに職工は概ね共同長屋に住するも是等の家屋はフォール、リッジャーのものに比し稍矮小なり。一戸宛の平均人口

は六人九、又家族の平均数は四人九なりき。フォールリヴァーに於ては前者は十一人にして後者は五人の比例なりき。家屋は佳良にして家賃は米國としては低廉なり。此共同長屋は食堂、割烹室、食器洗場及四個の寢室を有し、家賃は一週間約十五志なり。ローエル市は市街の外観優雅にして又種々の便宜を有するに拘らず、一、〇〇〇人に對し二一・四五の死亡率を有す、而も一八九二年に於ては死亡率は二七・六七なりき。是れ主として水生諸疾患の蔓延に基因せり。飲料水はメリマック河より直接に引用し絶へて之を濾過することなかりき。是を以て諸種の腸胃病中窒扶斯の流行最も猖獗なりき。

ローエルの染織學校は此地に於ける工業上の一異彩なり。此學校は米國の同種の諸學校中最大にして又最も完全なるものとす。此學校は一八九七年の創立に係り一九〇三年特に建築せられたる新校舎内に在り。此學校は範を獨逸の高等染織學校に採り専ら實際的技術を授くるを以て目的とし、復た熟練なる勞働者の缺乏せる地方諸工業の

爲に職工長及職工を養成するを以て趣旨とす。此學校はローエル及ロウレンスを始めとし其附近工業地方の爲貢獻するものなり、隨て同校の授業範圍は毛及毛絲並に綿に關する各種の製造業に涉れり。晝間に於ける通學生徒のため五箇の課程を設けあり、(一)綿製造業、(二)毛製造業、(三)意匠、(四)化學及染色、(五)機械即ち之なり。各課程の修學期間は三年とす。是等は高等科生徒の履踐すべきものにして授業料はマサチュセッツ州在住者は一箇年二十磅、其他の者は三十磅とす。入學者は工場に於ける實地的經驗を有せざるも若干程度の普通教育あるものに限る。又職工其他晝間勞役に従事する者のため夜學校の設けあり課程は一箇年乃至三箇年(化學及染色科)とす。此夜學校はローエル市居住の職工及其他の者は授業料を要せざるも、外來者は一學期間十志、若は一箇年一磅の授業料を要す。此學校は地方工業家有志者の發起に依りて創立せられたるものにして校則の規定する所に據れば同校評議員の三分の二は『實際染織業若は之と關係ある工業を営み又は之に關繫する人士』たるべきものとす。校舎及

其他の設備は敷地買収費を含み六五、〇〇〇磅の經費を要せしが、其の内マサチュセツツの支出に係るもの一八、三五〇磅、殘餘は地方自治市工業家及其他の寄附せし所なりき。學校の敷地は高燥河を前にし構内極めて廣濶なり。建築は質實を旨とせるも結構宏大にして外觀堂々たり。教室及實驗室は設備極めて佳良なるのみならず此種學校中至大のものたり。殊に此學校の機械的設備の如きは完全を極め、歐米に於ける他の染織學校中之と比肩するものなしと稱せらる、而して予の親しく觀察する所に據れば此世評の吾を欺かざるを知るべし。毛及綿業に關する各種の製造業を教授する所は此學校を除きて他に是れあらず、加之此學校は絹業及其他の纖維業教授開始に付企畫中なりと云ふ。然るに予の觀る所に據れば此學校は教授の範圍擴大せらるゝと共に集中を缺き同等の英獨染織學校に比し教授の方針寧ろ實地を輕んじ學理に馳するの弊あるものゝ如し。例之實地製造業の狀況はミュンヘン、グラッドバハ若はアーヘン染織學校のものに比し遜色あるを免れず、又生徒の如きも工場の經驗皆無なるが故に學理

的智識に秀るも實地製作の方法に通ぜざるの嫌あり、是れ吾人の憾みとする所なり。生徒總數は五百四十五名にして其の内晝間授業者百十六名夜學生四百二十九名なりき。晝間授業者中八十二名は專門學校若は中學校、十名は高等學校、十名は「グラマー、スクール」、六名は大學の卒業生なりき。夜學生は各種製造業從業者にして其大半は直接間接に染織業に關係あるものなりき。即ち三十名は職工、九名は「スピナー」、十一名は「ルーム、ファイキサー」、四十二名は機械工、二名は職工長、六十名は職工なりき。然るに染織業關係者の外全く他の業務に従事せる者にして在學せし者約百五十名ありたり即會社の書記五十九名、簿記係八名、藥劑師二名、其他麵麩焼手、裁縫師、鍛冶工、寶玉匠、御者、鞍工等なりき。是等の生徒の通學は必ずしも學校の趣旨に適應せるものに非ず、若は高き階級能率の標準を保護するものと認められずと雖も、彼等が發憤切嗟以て自己の學力を増進せんとするの志あるは豈に歎稱せざるを得んや。

ロードアイランド州

ロード、アイランドは米國諸州中最小のものなるも最も純粹の工業州にして、一平方哩に對し四百七人の人口を有し全國中最も人口稠密の地方たり。隣州マサチューセッツは之に次ぎ一平方哩に對し三百四十八人を有す。ロード、アイランド州は他の諸州に比し人口の比例に對し一層多大の價格ある製造品を産出す、此一事を以て之を観るも此州の工業能率を有することを窺ふに足るべし。即ち一人宛の生産價格は八十六磅なりき。カネチカット之に次ぎて七十八磅、マサチューセッツは第三位にして七十四磅なりき。是等の數字は新英諸州殊にロード、アイランドに於ける生産力の多大なるを示するものなり。又諸州中工業的活動の最も旺盛なるはロード、アイランドなりとす。同地の製造工業に従事する工銀取得者の比例は平均總人口百分の二十三・一なり、即ち人口四二八、五五六人に對し九八、八一三人なりき。然るに最も多く職工を使備せし期間に於ける員數は總人口百分の二十七・一を下らざりき。殊にロード、アイランドの何等天然の利益を有せざることを念へば同州が近世的情態の下に一般の進運に後れずして常に工業的活動を持続するの一事は特筆大書するに足るべし。同州は少量の水力を有するに過ぎざるを以てマサチューセッツ若はカネチカットの孰れよりも一層石炭に倚賴す。ロード、アイランドは此二州と同じく、遠隔の地方より石炭及一切の原料を輸致せざるを得ず、而かも二州ほどの運輸の便を有せず、實際唯一條の鐵道を有するのみて眞に良港を有せず。首府プロヴィデンスは洋面の避難港を控え、若干の海上運輸を有するも水と船渠とを缺ぐを以て其數量微々たるを免れず。是に由て之を観れば此地に於ける製造工業の隆盛なる所以は此地の早く工業地として選定せられたると、人民の經營努力の效竝に移入労働者の供給極めて容易なるとに歸因せざるを得ず。惟ふに外國出生に係る白人労働者の移入數に於て此州に優るものは全國中唯一州あるに過ぎず、ノルス、ダクタ即ち是なり。同州は人口稀薄なる西北諸州中の一にして外國より

ロード、アイランド州

移入する農事労働者の雲集する處なり。ロード、アイランドの土著住民總數(詳言せば土著住民とは此地に於て出生せし雙親を有するものを云ふ、但し其の雙親なるものは原と外國にて出生せし雙親の子女たるものとす)は僅に一五三、四一三人にして、プロヴィデンス市の人口よりも少し。外國生れの雙親を有する住民は全人口の百分の五十五・六に居り、而して父母の中其の孰れか外國生れの者は百分の八・六とす。ロード、アイランドは米國諸工業が移入外國労働者の力に頼りて經營せらるゝの最好實例なり。此州に居住する外國生れの人民に就て之を謂はんに其の大部分は加拿陀人(三九、二七七人にして多くは佛國生加拿陀人とす)、愛蘭人(三五、五〇一人)、英蘭人(二二、八三二人)、伊太利人(八、九七二人)、瑞典人(六、〇七二人)、蘇格蘭人(五、四五五人)及獨逸人(四、三〇〇人)にして此外葡萄牙人及露西亞人亦頗る多し。主要の工業は機械業にして平均四九、七六〇人を使傭せり。綿糸業は其の第一位に居りて職工二四、〇三二人、毛糸業は一四、八九六人、色染及仕上業は五、九四二人毛織業は二、七一〇人、莫大小

業は一、五九四人を使傭せり。機械業に次ぎて最も盛大なるものは機械製造業にして職工數八、七九九人、寶石及銀細工業八、七〇二人なりとす。此二種の工業は現時其の發達極めて神速なり。

金屬工業と寶石細工業の特技

綿糸業は千七百九十年ボウタケットに起り、爾來今日に至るまでロード、アイランドはマサチュセッツに次ぎ、米國第二位の綿工業市たるの地歩を持續せり。斯業の一特色と稱すべきは小片の綿製品、殊に平打紐、小切れ織地、^{ウエビシグ}填絮及裁縫用綿糸の製造業なり。此種工業は米國於て未だ發達せざるものにしてロード、アイランドは嶄然として頭角を拔けり。毛糸業も亦大に暢達しマサチュセッツに次ぎ全國諸洲中第二位に居るものなり。此二州は方今急速に毛工業より毛糸工業に變移せんとするの勢あり。寶石細工業も亦ロード、アイランドに於ける生産價格昂進に與りて力多きに居れり。此細工業は百年前既に其の緒に就き、一千七百九十四年以來世評噴々たるものあり。是れ

當時偶々一職工ありて廉價の金屬に金象嵌を施すの一大奇法を發明せしに由る。此發明は瓦礫同様の金屬を化し、人をして一見眞に貴金屬ならずやと疑はしむるものにして米國的特色を發揮するの一事に於ては同國古來の發明中此右に出づるものなかるべし。爾來此法は種々改良せられ終に一千八百四十六年バーミンガムより移住せし英國一職工の工夫により著しく製造費を輕減するを得たり。銀細工業は寶石業より出でたるものにして後者と與にプロヴィデンス市獨特の技術なり。此市のみにて全國に於て製造する寶石細工の五分の一、銀細工の約二分の一を出だすことを得。『エンヂンス、メシナリー』及工具の製作に就てはロード、アイランドは幾多の勁敵を有するも、此州には精良品を製造するを以て名聲夙に中外に噴々たる大會社多し。又一千八百六十四年此地の一機械工始めて器械を用ゐて鑲目を截切するの法を發明せり。此方法は舊來の製造業を革新するに至れるものにして其の實此市に於て創始發達せしものなり。而して今や各國競ふて此法を襲用せるを以て數年ならずして手を以て鑲目を截切すべし。

るの舊法は全く迹を絶つに至るべし。又ロードアイランドに於ける護謨製長靴及短靴業はマサチュセッツ及カネチカット二州に次ぎ米國中第三位を占む。同州が時運に鑑み風潮に後れず、近世的工業界に立ちて常に先鞭を著くるの能力あること以て想察すべし。

ロード、アイランド州の工業市としてはプロヴィデンス市の外、ボウタケット（人口三九、三二一人）、ウーンケット（二八、二〇四人）及其他二三の市邑あり。然るに主要の工業的活力はプロヴィデンスに集中せられたり。同市は州内の職工約二分の一を獨擅す。同市は米國諸市中第二十番目に位し人口一七五、五九七人を有し、其の内製造工業に従事する者約四五、〇〇〇人あり。此市は避難港を有するも觀るべき海運業を營むこと能はず。然るに幸にしてプロヴィデンス河ありて市中を貫流し、小型の汽船をして殆んど其の中心まで來往し、之に由りて紐育とニュー、ポート間の旅客輸送を營むことを得せしむるも、此河の瀉注するナラガンセット灣は水淺く大船巨舶を泛ぶる

こと能はず。若し此不便なかりせば、プロヴィデンスは貿易の一大中樞と爲り、能く波士敦と頡頑することを得しなるべし。此市は紐育波士敦間の鐵道幹線上に在りて許多の支線の焦點たり。プロヴィデンスは波士敦と同じく一州の首府にして又州廳の所在地たり。然るに此市は性質より謂へば縦令フォール、リヴァー、ローエル若はロウレンスの如く醇乎として醇なる工業市と稱すること能はざるも大體に於ては工業市と云ふべきものなり。吾人は此市を呼で華麗なる都市と云ふことを得ざるも多少華麗なる外觀なきにしもあらず。主要の街衢は概ね秀良なり、市の中心附近にありては河に架するに幾多の大橋を以てせり。其の光景大陸都市に髣髴たり。州議事堂は形勝の地を占め結構壯大、華盛頓府に於る議事堂に譲らず。其の他市廳、裁判所、税關、「ブラウン」大學等觀るべき建築鮮少なからず。

機械工場と工場主の模範施設

工業状態に就て之を謂はんにプロヴィデンスに於て最も重要なものは毛糸工場に

して約八、〇〇〇の職工を使備す。之に反して綿工業は微々たるを免れず。金屬諸工業は此地特有のものにして復た吾人の感興を深からしむるものあり。予は別にロード、アイランドの寶玉細工業の盛大なることを述べたり、而して此工業は殆んど皆プロヴィデンスに於て行はるゝものなり、然るに英獨二國に於ては此工業は未だ米國と比較すべきほどに發達せざるを以て省略し置きたり。プロヴィデンスの金屬大製造業に至ては然らず。此製造業中には許多の機械製作所を包含す、就中著名なるは「コーリス」蒸汽機械製作所 (The Corliss Steam Engine) 「プロヴィデンス蒸汽機械會社 (The Providence Steam Engine Company) 「アーミントン、ヘンド、シムズ」機械會社 (The Crimington and Sims Company) にして此外若干の機械機械製作會社其の他專ばら小型器械器械工具の製作を營むものなり。是等の中一製作所は設備完全にして參考の爲一見するの價値あり、而して此製作所を視察せんが爲プロヴィデンスに來る者多し。視察者中には此製作所と同種の物品を製造する有名のルデツクレーウエの伯林會社代表者

ありたり。此會社は一大新工場を造築するに先ち代表者を米國に派遣し、参考のため若干の製作所を視察せしめたりしが、プロヴィデンスの「ブラウン、エンド、シャープ」製造會社も其の一なり。此會社は一千八百三十三年デヴィット、ブラウンの創設する所にして、彼れの没後其の子之を紹繼し獨力を以て多年之を經營せしが後株式組織に變更せり。現在の會社は一千八百六十八年組織せられ今日依然從來の業務を營むものなり。此會社は多種多様の小型機械及工具を製作するものにして此製造業に就ては米國人は天下無比の技倆、發明力竝に企業心を有す。此會社は數百種の「ミリング」、「グリンデング」、「螺旋及齒車切截機」、「鍍盤」、「鑽孔機」、「計器」、「衡器」、物差及其他の工具竝に附屬具を作製す、其の製品は精良を極ひと稱せらる。就中自動的螺旋及齒車切截機は其の巧妙眞に驚くべきものにして、苟も相當の工場にして此器械を有せざるは莫し、然るに今や獨逸人は米國人の故智に倣ひ是等の器械を作成し其の技倆米國の壘を摩するものあり、而かも米國は獨逸に對し一日の長あるが故に今猶霸權を獨擅することを得。

此外米國には同様の機械製作會社多々ありと雖も、其の名聲此「プロヴィデンス」會社に及ぶものなし。此會社は「ウイルコックス、エンド、ギブス」式製縫機を作製すること四十年の久しきに及べり、同會社が永く良機を製出することを知るべし。此會社は常に獨り製品を以て其の名中外に鳴るのみならず、復た之と同じく將來に於ける工場主側の最善の模範たり。此會社は毫も職工の利害を顧みざる舊制度と急進家の夢想する近世の工業的樂園との中間に位するものにして、其主義とする所は適良なる勞働状態を設定し、適良の賃銀を給與し之と同時に慈父的愛護主義を避けんとするに在り。此會社は新築せられたるものにして市の中心を距ること遠からず。所屬工場は諸事完備し場内極めて明るく又清潔にして整頓し、且つ其の秩序あること獨逸にある工場と毫も異ならず。近年新設せられたる製鐵所の如きは殊に然り。此會社は又大掃除及野呂塗の爲毎年八月を期し二週間休業し、其の間工場及機械を整頓し、又職工に休暇を與ふること、せり。此會社に使傭せらるる職工の員數は約二、三〇〇人にして何れも各國

の移住民なり。其中熟練の英國機械工多きも其の大半は不熟練職工なり。乃ち知る近世的工業發達の一傾向と認むべきもの茲に在りて存するを。之を詳言せんに職工は概ね自動機械を使用せるも此器械なきときは何事をも爲すことを得ず、彼等は物品を作製するも自らその如何なるものなるやを知らず、而して其の作業は毫も智力若くは技能を要せざるのみならず、工場主側にても寧ろ職工をして深く知らしむることを欲せず。工場の頭腦となりて製造器械の設計に齊る者は職工に非ずして製圖部の技師なりとす、而して此製圖部は設備完全にして部員も亦極めて多し。左りながら職工は屈竟の體格を有し、一日八志以上十二志の所得あり。場内には手水鉢、湯瀧及更衣所の設備あり、職工をして隨意に之を使用せしむ。又圖書館あるも酒保の設けなし。製圖部員は波士敦にある技藝學校「ブラウン」大學及其他の學校出身者なりとす。同會社理事の切論する處に據れば凡そ従業員たるものは始めに工場に就て實地の作業に従ひ、而して後工業學校に於て學科を修むるを要すと。是れ予の從來諸處に於て屢々聞きた

る處と全く符節を合するが如し。

紐 育

紐育は宇内最大の都市にして商業並に娛樂の中心たり。此市は米國政府の所在地にはあらざるも其實際の首府たり。紐育は倫敦及伯林と同じく製造業市なりと雖も兩市と同じく此要素は他の諸要素の掩蔽する所となりて其光輝を失ふの憾なり。是を以て吾人は兩市と同様に之を看做し首府としての性質に就き若干の一般的敘述を爲すに止むべし。

此大都市は善く米國々民生活の各方面を代表するも美點少くして缺點殊に多きは吾人の宜しく注目すべき所とす。第一此市は眞に世界的都市と謂ふべきものなり、全市に居る外國人出生は一、二七〇、〇〇〇人、即ち總人口百分の三十七、又中央部（マンハタン及ブロンクス）のものは百分の四一・五にして、其百分比は吾人の前述せし新英

州諸工業市を凌駕す。外國出生人民は萬國の人民を網羅し其内最多きは獨逸人(三二二、三四三人)、愛蘭人(二七五、一〇二人)、露國人(一五五、二〇一人)、伊國人(一四五、四三三人)、埃洪國人(一一七、九九八人)、英蘭人及蘇蘭人(九〇、三五八人)なり。此の外一切の有色人種をも包含す、黑人六〇、六六六人、黄色人六、六〇一人、亞米利加印人三十一人はなり。此の如く天外地角より紐育に雲集する萬邦人民中此市の真正土著人にして又原始の所有者たる印度人が最少數なるは奇と謂ふべし。土耳其人、亞拉比亞人、東印度人、太平洋島民は孰れも之よりも多數なり。第二紐育は多忙の生活に於て、貨殖熱中の點に於て、乾坤一擲的の營業法に於て、其奢侈を事とし街衿を行ふの點に於て、全く米國を代表するものと謂ふべし。是等晋ねく世人の稔知する所なるを以て予は爰に之を贅せず。此市は又都市として國民的自墮落の一標本たり。此市は上空に電信線を架設せざること大氣清明にして全く煤煙の害なきとの二事を除き市中到處不潔汚穢幾んど言語に絶し、人をして身の南歐の小都市に在るの感を懐かしむ。此

國民的自墮落の氣風は獨り市街の外觀に於て認めらるゝのみならず、復た國語上にも發露せり。凡そ一國の首府には自ら特有の慣用語發達するものなり、而して慣用語は一は單語又は辭句、一は音調に由りて組織せらるゝものとす、倫敦には倫敦特有の音調あり、之と同じく紐育にも紐育特有の慣用語あり、紐育人は言語を全部言ひ了るを以て迂愚なりとし却て其一部を省略するを以て都雅なりと爲せり、是れ紐育特有の慣用語を生ぜし所以なり。例之「シスキス、アヴェニュー」(“Siski Avenue”)を以て「シスアヴン」(“Sis Avin”)、「イエス」(“Yes”)を「ハン」(“yo”)と省略するが如し、殊に「エッ」の場合に於ては「エツ」と發音したる後急に唇を閉づるが故に語尾に「ビー」(“pi”)の響を帯び其結果「エツプ」(“yop”)と發音するものゝ如く聞ゆ。是れ語尾を省略せんとするより生ずるものにして、此弊風は所謂「通人」間に延蔓せんとするの勢ひあり。

世界唯一の港灣設備と將來

又紐育の代表する幾多の美點中交通機關は其の一なりと謂はざるを得ず。舊式の鐵道馬車は暫く措き其他の交通機關は良好にして豊多なり。紐育市は狹長なる海角に位し一方を除き他の三方は水に面せるが故に地形上迅速なる交通は必須の要件たり、又中央の商業區域は此地形に隨ひ縱長的に發展するの外他に途なく、而して住宅區域は之を海角の邊隅若は對岸の地に置かざるべからず、商業區域と住宅區間は電氣軌道に依り乘客を往復せしむる事となれるが其速力の神速なるは眞に驚くに堪へたり。米國都市の電車は歐洲のものと同異なる所は其速力の大なるにあり、而して紐育の交通は絶大の數量あるに拘らず驚くべき方法を用ひ多々益々辨ずるの風あり、他なし最短の距離と雖も全速力を以て電車を運轉することは是なり。電車は發車の際と雖も常に全速力を用ひ突如として行進するが故に、不慣れの乘客にとりては危険なきにしもあらず、而も是等のものは即ち機械的器具、機械的速力、使用法の亂暴なること及手足を傷け或は生命を失ふの危険ある事は全く米國式と稱すべきものなるも、予は告白す速度稍

過ぐるの嫌あるにあらずやと。爰に又紐育の第二の美點と稱すべきものあり。河岸線極めて長きが爲に比類なき船舶の便なることなり、是れ固より地形の然らしむる所なりと雖も位置の選擇宜しきを得たるも亦争ふべからず、今日現存する至大の船舶と雖も唯洪大なるハドソン河(河即ち港なり)を遡航し河岸に近づくや、徐に廻轉して埠頭の傍にありし船首を所定の凹所に入れ、而して水流と直角を爲して碇泊するを以て足れりとす、船舶は船首を先にして入港し又出港の際は唯船尾より後退し以て河心に出づる而已。是を以て別に船渠を要せず。隨て一切の遲滯雜沓なく、又水門を設くるの費用を要せず。河岸數哩の間は無數の凹所相駢列して鋸齒狀を呈せり、出入の船舶愈加はるべきは凹所も河岸に沿ふて愈増加することとなるべし。是を以て船舶の發着極めて容易なるは勿論海運も亦都市と並行して半島の水濱に沿ふて擴延し、通常他の諸港に於て見るが如く一個處の地點に輻輳することなく許多の地點に分布せらるゝとを得。此設備に由りて莫大の便益を生ずるは蓋し想察するに難からざるべし。

ハドソン河の彼岸なるジャーシー市及ホボーケンに於ても之と同様の設備あり、且此設備はマンハタン半島の海角を繞りてロング島（島中にブルックリン市あり）の對岸なる東河岸迄に及べり。予は未だ紐育港に於ける此實景を親しく目撃する事を得ずと雖も、其效果の測るべからざるものあるは彰々乎として昭なり。紐育港をして容易に絶大の輸出入貿易を吞吐し尙將來無限の發達に順應せしむるものは實に此設備なり。其故如何となれば内地に對する輸送は中央部の動脈的市街を遏碍することなく此延長せる河岸線に依りて立所ろに遂行し得るを以てなり。若し紐育にして普通の海港に於て見ると同様の港を有せしむるものとせば到底此絶大の運輸業を全ふすること能はざるべし、然るに紐育は幸にして地の利を獲たるを以て無限の數量を吞下し、而して將來倫敦を凌駕し得べきこと恰もハドソン河のテムス河を凌駕するが如くなるべし。紐育の米國に於けるは倫敦の英國に於けるよりも更に重且大なるものあるべし、將來に於ける米國工業の伸暢は一に繫て紐育港の利用に在りて存す。願ふに當初地を茲に

トして都市を經營せし者は今日の隆盛を豫期せざりしなるべし。紐育は一朝一夕にして成りたるものに非ずして遠く二百五十年の創剏に係れるものなり。唯一の缺點は港外に於ける水道長く且曲折せること是なり。

此天地の地形は一方に於ては無比の良港を生じ又市街交通制度を助長する所あるに俱に他方に於ては不良なる市の一状態を醸せり、居宅問題及建物是なり。紐育は土地狹隘なるが故に甍に獨り壯大なる二十階以上三十階の大建築—或は云ふ市俄古實に之が嚆矢なりとの——を生ぜしのみならず、復た伯林に於けるが如く市民の多數を驅りて共同長屋に宿泊せしむるに至れり。紐育全市（今やブルクツリン、ロング島及ハドソン河の對岸にあるステータン島をも市に編入す）に於ては家屋一戸に付住民平均數一三人七即ち約三家族の割合なり、然るにマンハタン及其北方にあるブロンクスに於ては其平均數は二十人四、即ち四若は五家族の割合なり、マンハタンのみにては之よりも數層多かるべし。又紐育に於ける貧民の生活状態は予の研究問題以外の事項に屬し

縦令趣味ありと雖も予は長き時日を之が爲め費すことを得ざりき。唯僅かに數回貧民窟を視察し稍其真相を窺ひ得たるに過ぎず。此地區は紛々擾々宛然たる萬國的蜂窩にして滿目窮乏汚穢の狀を呈し、法律の制裁毫も行はれざる暗黒世界たり、而も之に關する幾多の記事は此種の敘事の常として措辭誇張に過ぎ一讀人をして悚然戰慄せしむ予の親しく實地を踏査する所に依れば是等の記事は潤飾其度を過ぐるの嫌あり。予は從來倫敦に於ては『警察官と雖も入ることを肯ぜざる』一切の『危険』ある場處及巴里に於ては其場處の大半を踏査せり。是等の場所は縦令警察官なりと雖も單身にて之に赴くときは危険なることあるべし（但し警察官は自ら之を口外せず）、又醉人婦人若は老弱にして大金を携へたりと認めらるゝ者にとりては勿論危険なるべきも屈竟の壯夫は然らず。警察保護の點に就ては米國は歐洲に比し迥に之に劣り、法律の制裁行はれざる點に至ても亦然り、而も予の如きは畏怖する所なく市中何れの處にても横行濶歩することを得たり、貧民窟窮の狀極めて著しく殆んど倫敦と讓らざるべく、又死亡率

の如きも衛生無視の情態より觀れば蓋し相當のものなるべし。全市に對する死亡率は倫敦の每一、〇〇〇人に付十七人六、伯林の十八人に對し二十五人なりき。加之紐育には衛生上生活狀態良好なる中流以上の市民多く且亦住民の年齢分布も亦移民夥多のため佳良なりと思料せられざるべからず。此他紐育には有力多數の公共保健部員あり其事業も亦著々として進歩す、然りと雖も米國都鄙の衛生行政は今猶幼稚の域を脱する能はず、紐育自ら之が實證と稱すべきものなり。予は市政の腐敗に就ては深く研究せざりしを以て固より細敘すること能はず、而も從來稅政百出せし痕跡は枚舉に遑わらず。此外市街建築も又米國式を代表するものと謂ふべく其主要の特徴は專制、陋劣、個人的街衿及公共的無頓着の四態となす。倫敦市街建築の特徴は煤煙の爲め汚瀆せられたること、個人が自ら遜讓せること及公共的意圖の未だ充分發揮せらるゝに至らざること、す。伯林のものに至ては秩序を過重して單調に陥り個人性を無視して公共的街誇を事とし且其趣味も亦高雅ならずして俗惡なり。此三者は英獨米の顯著なる國民

氣質の實現せるものと謂ふべし。紐育の摩天樓は米國人の工夫、冒險心及秩序無視の氣象あることを表示す、此建築は大膽なる決行なりと雖も猶額大の面積に高閣を構築し以て天然の不利を補充せんとするものにして全然當初の目的を貫徹せるものと稱すべからず。マンハタン半島は地底堅巖にして、克く千萬鈞の重量を支持するも各地皆な然るものにあらず。此建築は若干の不便を伴ひ今や之に對する人氣は既に全盛期を過ぎ建築物の高度を一定するの必要を認め居れり、而して一度之を開始せば終には全國に行はるゝに至るべし。上流の居住區域は全く他の趣を異にし邸宅は皆な宏壯にして輪奐の美を極む。市街も亦設計佳良にして掃除行届き中央公園其の裡に在りて規模景趣二つながら大都市の遊園たるに愧ぢず。

紐育には無数の工業營るゝと雖も大規模のものは寡し、其中最も大なるものは被服及煙草製造業なり。其他製造工業と稱せらるゝものは概ね小規模なるも製鐵所及器械製造業に使備せらるゝ職工は約二〇、〇〇〇人なり、此外種々の鐵工業に従事する者

數千あり樂器、絹、靴製造工業も亦多少觀るに足るものありと雖も特種の製造工業にして集中せられゝるものは毫も是れ有らず。之を要するに紐育は予の前述せしが如く工業的中心と謂はむより寧ろ商業的中心と稱すべきものなり。

ペンシルヴァニア

ペンシルヴァニアは雄大なる製造業州たり。製造業のため使用する天然力の數量より觀るに此州は既往三十年間全國第一に居り又生産額より之を觀るに五十年間紐育に次ぎて第二位を占めたり。人口は六、三〇二、〇三四人にして諸州中第二に位し其の中七三三、八三四人は「製造工業に従事する勞役者」なり。此員數は州民百分の一・六に當りマサチューセッツの百分の一七・七、ロード、アイランドの百分の二三・一に比し僅に少數にして新英州に於けるものに比して集中の度も亦少しと雖も、紐育に於けるものとは殆んど伯仲の間に在るのみならず、西部諸州中孰れのものに比しても著しく

優る所あり。人口の密度は一平方哩に付百四十人とす、五百人以上の職工を使備する工場の數に至ては此州は迥に他の諸州よりも多大なり。此の如きは全國中最大の集中と稱すべきものにしてペンシルヴァニアの誇りとする所なり。

原料無盡藏の大寶庫地

此州の工業は由來遠く其然る所以は地理的位置に基因する所大なり。本州は諸大湖と大西洋の間に位し兩者に接觸す。紐育及ニュー、ジャージーの二州も亦然り、左れどペンシルヴァニアは此二州の有せざる水運の利を獨擅す。本州はオハヨー河に由りて中部諸州と又ミスシッピ河に由りて南部諸州と直接に聯絡す。内國水運は鐵道敷設以前の時代に於ては重要のものにして工業の發展に伴ひ人工を以て之が延長を行ひ終に數百哩に亙る大運河の開鑿を見るに至りしが鐵道敷設せらるゝに及び此業も亦隨て衰へたり。ペンシルヴァニアは天然の資源に於ては新英州と異り獨り石炭及鐵のみならず他の原料に於て無盡藏の寶庫を有す。此州は年々歳々米國に於て採取せらるゝ、

石炭總額の大半産出するのみならず。天然瓦斯をも併有す。但し近年後者の生産額漸く減退せんとするの風あり。又水力は一時天然資源の一要素と認められしが、此州の水力はマサチュセッツ及紐育州に於けるものに比すれば數量鮮少なり、而して此水力も亦近年生産減退し居れり。之に反して工業用電力の使用は遞増せんとするの勢あり、本州は此點に於て諸州に冠絶す、又米國諸州中最近式の工業的施設を有することペンシルヴァニアの如きは他に有らず。此州の製造業には製鐵、製鋼及機械業包含す。製鐵及製鋼業並機械製造業に使備せらるゝ労働者の總數は一七三、六九二人、機械業のものは一〇二、二二三人なりき。是に因て之を觀ればペンシルヴァニアは石炭、鐵及機業の三者を兼備せるものにして英のヨークシャイア及獨のラインと鼎立すべきなり。其他の工業は比較的重要のものに非ず、其の中大なるものは煙草、皮革及挽材木とす是等は皆な創業日既に久しく原産地に於て製造工業を營み居れり。

製鐵業は二百有餘年の歴史を有し一六九二年早くも之に關する紀事あり、一七二八

年ペンシルヴァニアは二百七十四噸の銑鐵を英國に輸出せり、因是觀是、米國が世界の市場に出現せしは時人の想像するが如く近年の事に非ずして由來遠しと謂ふべく、其發達は迅速と謂はむより寧ろ遲緩と稱すべし。當初製鐵業は此州の東部に於て行はれしが、コーンウォール丘陵に於て『マグネチック、アイヤン、オーア』發見せらるゝや斯業は稍西遷してハリスバルグ附近に到れり。同地は現在首府にして又諸州中第一流に屬する諸製鋼所の所在地たり。ピッツバーグが製鐵業に於て隆盛の域に臻りしは迥に此以後の事に屬す。第十八世紀の末葉に方り一個の鎔鑪此地に築造せられたりしが其附近に生鑛乏しかりしを以て中絶せられたり。又米國に於ける製鋼業は一七五〇年の頃一たび企畫せらるゝ所ありしも實際第十九世紀以前迄も開始せられたりと云ふこと能はず、一八一二年ピッツバーグ製鋼所及『ローリングミル』創設せられたりしが、爾來若干年間其進歩は遲緩にして時に消長あるを免れざりき。然るに輓近俄然として長足の進歩を呈するに至りしは許多の原因に基くものなり。其一原因は一八四〇

年以降銑鐵製造業に於て石炭及骸炭を以て木炭を代用せしに在り。當初主として無煙炭を使用せしが同炭はアレガニー山の東部山脈に所て採掘せられたり。然るに製鐵及製鋼事業の一大發展は其兩方にある瀝青含有炭田の利用と時を同ふせり。尋てシユールペリオル湖畔の生鑛採取せられ之を水運に依りてペンシルヴァニアに輸出せらるゝに及び製鐵業の中心は漸く西遷してピッツバーグ地方に到れり。同地方は州の西隅に在りて生鑛及燃料産地の間に位し容易に兩者を輸致することを得。此時に際して製鋼方法の改良進歩するあり、之が爲めピッツバーグに於ては坩堝式製鋼業は隆盛を見るに至れり、維れ一八六〇年のことなり。尋で『ベスマー』式製鋼法世に現はれ『オーブロン、ハース』法復た之に次ぎたり。此偉大にして且基本的とも稱すべき製鋼業近時の發展に就き特筆大書すべき現象は、『オーブロン、ハース』鋼の使用愈増加したると鋳力製造業の急速の進歩なりとす。

機械業中最重要なるは莫大小、絹、綿及毛織業とす。是等の工業は此州に於ては夙

に著手せられたるものなり、就中莫大小及毛織業は二百餘年前最初の英獨兩國移民の傳來せし所にして絹業は一七五〇年ベシシヤミン、フランクリンに依りて獎勵せられ又綿紡用の多軸紡績機は一七七五年費府に裝備せられたり、是れ紡績機の發明後一兩年を出でざるべきの事なり。一七八二年の頃工場に於て業に已に綿製品を製出することを得たり。

ペンシルヴァニア州に於て行はる、諸工業は廣く許多の中心點に分布せらる。費府及ピッツバーグを始めとしアレガニー、リトデング、スクラントン、ランカスター、エリー、アレントウン、アルツウナ、チエスター、マツキースポート、ハリスバルグ等即ち是なり。費府及ピッツバーグを除き其他のものは小若くは中都市にして特に留意すべきものなし。予は唯工業分布の状態を知らしめんが爲め都市の名を列挙したるものにして固より之を細敍せんと欲するものに非ず。何となれば費府及ピッツバーグは此炭鐵州に於ける一般工業狀態を代表するが故なり。

費 府

費府は世界最大の工業市なり。千種萬様の製造工業を聚合せる點より謂へば費府は固より倫敦及紐育に如かず。此兩市は工業市なりと雖も費府とは大に趣を異にせり。兩市は元來政治上若は商業上の中心にして工業上の中心に非ず、唯數百萬の人口茲に雲集し、或は萬國の貨物爰に輻輳するが故に工業も亦自ら伴生するに至りしなり、而して其工業は種類極めて多く總體に於ては絶大の人員を使役し多量の物品を製造す。然るに是等の工業は概ね皆な小規模にして大規模のものは極めて稀なり。費府は之に反し専ら製造業に従事する都市にして其主要の諸工業は宏大なる製作所に於て大規模を以て經營せらる、ものなり。費府は又河^{リッパ}港^{ポート}なるが故に自ら造船業の發達を促し、其造船所の如きは全國最大のものなり。史を按ずるに費府は一六八二年『クエーカー』派のウイリヤム、ペン此處に市を起せし以來今日に至る迄製造業市として存續し此性質

は終始渝ることなし。加之費府は往々是以外の任務を演じ全國大小の諸都市中最も顯著なる歴史を有す。革命勃發前此地に於て初めて米國議會召集せられ、又一七七六年此地に於て獨立宣言書起草發表せられたり。一七八七年此地に於て米國憲法制定せられたり。米國最初の大統領は此地に居住し而して米國政府は一八〇〇年迄は此地に設置せられたり。當時費府の人口は六七、八一一人にして紐育を凌駕せり。百年後に至り其人口は一、二九三、六九七人に達し世界大都市の一となり又其廣袤に於て米國第三に位せり。因是觀是費府は全國諸市中政治運動の一大先驅者と近代的工業發展の卒先者とを兼備せるものと謂ふべし。

工業發展の要素と市民の分布

住宅に就て觀るに費府は紐育を始め其他の都市に對し大に趣を異にするも獨り波士敦のみは之と類似す。第一費府に於ては共同長屋制行はれずして私宅制之に代れり。此市には二四一、五八九戸の家屋に對し二六五、八八〇の家族居住す、即ち一家族に對し

略ぼ一戸の割合なり、語を換て言へば家屋一戸に對し住民は平均五人四にして一家族の平均員數は四人九の比例なり。費府に於ける此比例が他の十大都市の常態と多大の懸隔あるかは左表を見れば一目瞭然たるものあるべし。

都市	人口	住民の平均人數
紐育	三、四三七、二〇二	一月に付 一三・七 一家族に付 四・七
市 俄 古	一、六九八、五七五	八・八
費 府	一、二九三、六九七	五・四
聖 路 易	五七五、二三八	七・〇
波 士 敦	五六〇、八九二	八・四
ホルチモニア	五〇八、九五七	五・七
クリヴランド	五〇八、九五七	六・〇
パフアロウ	三五二、三八七	七・一
桑 港	三四二、七八二	六・四
シンソナチ	三二五、九〇二	八・〇
ピッツバーグ	三二一、六一六	六・三
費 府		五・〇

費府に於ける住宅と住民員數との比例は前表の如くなるを以て觀れば住宅の情態が他の諸都市に比し數層劃一整齊せることを知るべし。費府には多數の家族雜居せるが如き大建築物は極めて寡く否皆無の姿なり。加之富豪側に於て自負尊大の風なく又貧民側に於ても窮乏凍餒の憂なし。富者と雖も金殿玉樓に居らず、又窮民と雖も陋巷破屋に住せず。市内を巡覽するに食足り家豊にして市民業に安んじ生を樂むの風なり。然りと雖も此地の如き産業殷盛の大都會にして貧民窟の存在せざるの理ならず、而して政府に於ても常に之が調査報告を怠らず實際此地には貧民窟なきにわらず、而も予は之が所在地を搜索するため豫想以上の時間を費せり。之と同時に一驚を喫せしは英國に於ける最上の職工住宅と等しき優良の家屋相櫛比せる職工居住地が各處に散在せることは是なり、家賃は稍不廉なるも米國に於ける他の諸都市に比すれば低廉なり、最良の六室家屋（浴室附）一週約十四志、四室家屋は十志前後なり。顧ふに當初地を爰に相して都市を建築せし所以はデラウエーヤ河ありしが故なるや固より論を俟たず。此河

はペンシルヴァニア州の東境界線にして本州とニュー・ジャーシー州とを區劃す。此河は洋々たる大河にして費府附近は大西洋面の河口を距ること九十哩の上流なるも河幅約一哩に及べり。有名なる「クラムプ」造船所は費府の中央以上の河岸に在り、巨大の汽船及戰艦は此所迄溯航することを得。河岸には許多の埠頭を設置しあること恰も紐育に於けるハドソン河岸の如し、此部分は費府の市中最も不潔にして毫も觀るに足るものなき所なり。夏季間には若干の乗客あるため小型汽船の出入するものありと雖も風致若くは娛樂のため毫も此大河を利用せざるは吾人の惋惜する所なり。

市民の人種的分布は前述せし諸都市に於けるものと著しく趣を異にす。其の第一は費府に於ては黒奴の數極めて大なることは是なり。予は是迄此の要素に就きては黙して語る所なかりき。是れ新英州の工業諸中心に於て此の要素は極めて微々たるものなればなり。是等の諸市に於ては黒色人種は人口百分の一以下に過ぎず。殊に波士敦及プロヴァイデンスの如き黒奴の職業（給仕、靴磨、從僕等）極めて多き都市と雖も其の比

例は僅に人口百分の二乃至三に過ぎず。紐育にては百分の二以下なるも費府に於ては其の比例は激増して百分の四・八となれり。而して其の實数は六二、六一三人の多きに達せるも工業上重大の關係なし。彼等は製造工業に使役せられずして旅館、俱樂部、其の他社會上稍々高等の業務に従事す。予は此問題に就き何等の研究資料を有せずと雖も予の見る所に據れば、費府は相當に富裕にして且有力なる黒奴の居處なるが如し第二の點は外國出生人民の數極めて寡く僅に人口の百分の二十二・八に過ぎざること是なり。其の國別及員數を擧ぐれば下の如し、(一)愛蘭人、九八、四二七人、(二)獨逸人、七一、三一九人、(三)英蘭及蘇蘭人、四六、二六四人、(四)露西亞人、二八、九五一人、(五)伊太利人、一七、八三〇人、(六)埃洪人、八、二〇九人、(七)波蘭人、七、五五四人、(八)北歐人、三、七六九人、(九)加奈陀人、三、二八三人、(一〇)佛蘭西人、二、五二一人なり。外國出生人民の總數は二九五、三四〇人なりき。其中英獨出生の人民は主として製造工業に従事す。

年齢十歳以上の者にして有利の勞役に従事する總員數の中、二五九、一九七人は『製造及機械業』に、一五二、二六二人は『商業及交通事業』に執掌す。是れ即ち工業的要素の他の諸要素に優越せることを表示するものにして、工業的要素は總人口(十歳以上)の百分の二十五に相當す、而して最も純粹の工業都市と稱すべきフォール、リヴァーに於ける比例は百分の四十二、又紐育に於けるものは百分の二十なり。是を以て之を見れば費府は工業的性質より謂へば數量に於ては紐育に酷似す。費府の金屬工業及機織業は兩者殆んど伯仲の間に在り。最近に於ける工場監督官の報告に據れば、各種の製造工業に使備せらるる職工員數は下の如し。(第一)機織業は五百七十三個所の工場と四六、四二二八の職工とを有す。(第二)製鐵及鐵器業は二百五十個所の工場と三七、五六四人の職工とを有す。(第三)雜製造業は七百二十六個所の工場と四三、八〇五人の職工とを有す。(第四)皮革業は五十個所の工場と七、二二六人の職工とを有す。金屬工業は主として各種精製品、例へば艦船、器械、鐵器、螺旋、釘、鋌等の製作に

關聯するものとす。ポルドウィン會社の所有に係る尨大なる機關車製作所は費府の中央に位し、濶大なる地所を占め、最も重要視すべきものにして又米國に於ける同種類の工場中最も大なるものとす。最近米國に於て製造せられたる蒸汽機關車の總數の二分の一以上はペンシルヴァニアの製作に係り、殊に其の過半は費府に負ふ所あり。按ずるに此工業は一千八百三十一年始めて此地に起り、爾來大に發達して海外に輸出せらるゝに至れり。近年刊行せられたる國勢調査報告書は此問題に關し言明して曰く、我國製造の機關車は『之と相競争せし外國製機關車に優れるとを實地に於て證明せしを以て、世界各國に輸出せらるゝに至れり』と。然るに吾人の見る所に據れば此の言説は首肯し難き點多し。米國の輸出に係る機關車の多數。殊に印度及埃及に於て使用せられたるものゝ如きは試運轉の際成績不良なりしたため、大に其の聲價を失墜せり。是等は價額低廉、製造神速且又部分の取換容易なりしも、久しきに耐ふること能はざりき。加之、燃料の浪費多く、技術拙劣にして仕上粗雑なるを以て使用後間もなく爆裂

破壊するを常とす。之を要するに、是等の機關車は米國工業の特色たる長所及短所を併有するものと謂ふべし。又費府に於て機關車製造を營む諸大工場はモスレー氏を委員長とせる勞働視察員の一人たる英國機械師の合同協會主事の爲め其の報告書に於て大に攻撃せられたり、而して予と雖も同主事の意見に左袒せざるを得ず。費府の機關車製造所は全く時代後れのものにして到底英國に於ける主要の機關製造所と比肩すること能はず。此の如き舊式にして且又各般の點に於て不完全なる製造所は英國に於て發見し難かるべく、又獨逸に於ては全く發見すること能はざるべし。是等の製造所は宜しく其の儘市外に移し、而して相當の地所あらば新に之を建設すべし。又製造所に於ける操業時間は晝間は十時間、夜間は十三時間にして、平均工銀は一日八志とす。『クラムプ』造船所は費府第二の大機械製作所なり、然るに予は英獨兩國に於ける造船所の研究を省略したると、造船業に於て米國は今日の處所詮吾人の好敵手たること能はざるに依り茲に之を贅せず。

各種工業を網羅する工業市

機織業中最も盛なるものは絨氈及毛布製造業にして一二、〇〇〇人以上の職工之に従事す。斯業は昔府古來の工業にして其の起原は少くとも一千七百九十一年以前に在り、又此地の斯業は米國他の諸都市に於けるものに比し一層大なる規模を以て經營せらる。絨氈及毛布に關する近世的製法はエラストス、ビゲロウと稱する一米國發明家に負ふ所多く、米國第十二回國勢調査報告書は之に就き下の如く言明せり、曰はく『世界の絨氈製造業の一進境に至りしはマサチユセッツ州波士敦市のエラストス、ビー、ビゲロウの發明と天才と事務の材幹とに負ふ所多きに居れり。一千八百四十四年ビゲロウ初めて力織機を洋紅絨氈^{イソグレン、カーベツト}の織製に適應せしめたり。數年の後彼れは復た『ジャカード、ブルツセル』及『ウイルトン』絨氈を織製する力織機を發明し之が特許を得たり』と。然るに此近世的絨氈製法は米國に於て發明せられたるも當初は其經營容易ならざりき。此製絨業は保護的關稅の庇護あるに非ずんば内國市場に販路を拓くこと能はざ

るのみならず、歐洲諸國は此の關稅あるに拘らず猶能く絨氈を米國に輸出することを得たり。最近一ヶ年間米國に輸入せし外國製絨の數量は六六五、五六二平方碼にして、其の中二五、七四四平方碼は英國より舶來せり。又米國より海外に輸出せし數量は僅に六〇、七二三平方碼に過ぎず、而して予の知れる限りに於ては尺寸と雖も英國に輸入せられたるものなし。加之、米國に輸入せらるる絨氈及毛布は極上品なり。復た綿製品及毛織物に就て謂はむに、米國の製造業者は極上品に於ては、今尙英國の同業者に比し遠く及ばざる所あり。昔府は米國に於ける斯業の最大中心にして、同國に於て製造せられたる絨氈總價額の殆ど半を占む、而して米國産出の大半は低廉の粗品にして、洋紅絨氈織製の爲使用せらるる織機四、六九三臺の中、昔府は三、七三七臺を有す。然るに極上の製品即ち『ブリユツセル』、『ウイルトン』及『アツクスミンスター』は昔府よりもマサチユセッツ及紐育に於て織製せらるる所更に多し。

製絨及其の他の機織工場は概ね市の北部に在りて市の中心と相距ること遠し。職工

は其の附近にある秀良の家屋に居住し、而して自から理想的の工業地區を現出せり。工場多くは新しく而して労働情態も亦良好なり、但一除外例とすべきは機械室を建築物の第一階に、他の諸室は上層に置くが故に機械室内常に暗く、止むとを得ず終日電燈を點し居ると是なり。予は『ブリュッセル』及『ウイルトン』式絨氈を織製する主要の工場に於てヘイウッド及ハリファックスの製作に係る英國織機を發見したり。此織機は元來一米人の發明せしものなるに拘らず、英國に於て製造せられしは奇と謂ふべし。織工も亦盡く英人にしてキツダトミンスターより渡來せる者最も多し。監督若は職工長も亦英人にして、ハリファックスより招聘せられたる者なり。此地に於ける織工の勞銀は極めて高く男織工は一週間四磅以上六磅、女織工(是等も亦英國人たり)は四十八志以上六十志の所得あり。職工は其の勞役の英國に於けるものよりも數層劇甚なるを自認するも、工銀多きが爲め好むて此の地に來るの風あり、一週間の操業時間は六十時間にして毎朝午前六時四十五分に出勤し、晝餐時間は四十五分間なりとす。

室内裝飾品製造業も亦費府に於ける機械業の重要な一種とす。斯業は近年極めて急速なる發達を遂げ、今や綿工業の一要素と爲れり。費府は諸州中幾むと之が製造業を獨擅す。作業情態は絨氈工業に於けるものと實際同一なるも工銀は低廉なり。予は其の工銀格外に高額なりと稱せらるゝ一工場に就き之を調査せしに、織工(殆むど全部は男工なり)の工銀は一週間六十志以上七十二志、捲手ワインダーは二十八志以上三十六志、其他のものは約二十八志なりき。又此會社の専務取締役はウエールテンブルグより渡來せし獨逸人にして發明の才に富める紳士なりき。此取締役は米國の風土か移民に對し之を米國化するの勢力あることを語り、予に示すに意匠奇抜なる發明品若干を以てせしが、是等は皆米國氣質を十二分に發揮せり。其の一は表裏兩面を使用することを得べき窓掛を製造する便法なりき。此種の窓掛は米國に於て大に愛用せらるゝも之を製造するには特別の織機を要し、且其の經費も鮮少ならず。取締役は茲に鑑みる所あり、普通の織機にて織製したるものを採り、單に裏と裏とを縫合し以て之が代用品を

製造せり。取締役は自製品若干を予に示せしが、之を在來のものと比較するに一見何等軒輕する所なし。室内裝飾品製造業に使傭せらるゝものは米國人、獨逸人及英國人なりき。

惟ふに費府に於ける一切の製造業を詳述せんとせば非常の紙幅を要すべし、然るに此大都市に於ける工業情態の一斑は前述の諸記事に依り略ぼ察知することを得べし。大體より之を謂へば此市の工業情態は米國は勿論、外國の諸都市に於けるものよりも一層良好なるべし。予は費府に關する記事を終るに先ち、同市に於て經營せらるゝ製造工業の範圍及種類の如何なるものなるやを示さんが爲め、主要工業の名稱及之に關する職工の平均員數（近刊の國勢調査報告に據る）を左に列擧すべし。

工業

職工員數

- 鐵工業及器械製作業 一九、六四三
- 被服製造業（工場生産） 一二、八三六
- 絨氈及毛布製造業 一二、一九〇

- 莫大小及編物業 一一、九四四
- 綿工業、小切物及屑物業 一〇、七五七
- 毛織業 九、四三八
- 毛絲業 七、四〇七
- 皮革業 六、九四九
- 煙草製造業 六、〇三二
- 各種の製鐵及製鋼業 四、八六九
- 製靴業（工場生産） 三、七八二
- 色染及仕上業 三、四五五
- 襯衣製造業 二、八二九
- 電車製造業 二、七八〇
- 絹工業 二、五〇六
- 錫及銅工業 二、三〇四
- 製帽業 二、一一六
- 化學品製造業 一、九一七
- 硝子業 一、九一四
- 煉瓦及敷石業 一、四五一
- 金物業 一、二七三

電氣器械
鋼索製造業
黃銅業

一、二五三
一、一六八
一、一〇四

此外費府には尙ほ許多の製造工業、例へば陶器、紙、造花、控鈕、刷子、黃麻、織維、鐘、刀物、樂器、屑絲織、索條、工具、玩具等の製造業あり。何れの國の都市と雖も費府の如く大規模を以て多種の雜工業を營むものは未だ嘗て之れ有らざるべし、是れ予の敢て斷言する所なり。獨り機織業のみにも宇内に雄視することを得べく、『レス』及『リンネル』を除き一切の機業を包羅せるものなり。金屬諸工業も亦機織業と伯仲の間に在り、加之皮革、靴、紙、硝子、化學品其の他の製造業をも具有す。之を要するに費府は一都市にして能く尋常の工業都市十個を併合するものにして、滿都富盛の徵候歴然たるは各種工業の此の如く蟻集せるが故に外ならず。

ピッツバーグ

費府とピッツバーグとの間には、ペンシルヴァニア州以上の面積を有する土地介在す。費府を出て、ピッツバーグに到るには山谷の間に潜匿せる諸炭田を有するアレガニー山脈を踏破するのみならず、復た米國の東隅より西陲に赴くものなりと知らざるべからず。其の故他なし。此大炭鐵州は性質相反せる兩面を有するを以てなり、即ち其の一面は東方に接し、他の一面は西方を控え、一は舊世界、他は新天地、一は既に發育成長し、他は年少にして幼稚の域を免れず、一は事物稍々固定し其の發達の範圍自から限あり、他は前途の發展得て測知すべからざるのみならず、復た生命の鼓動烈しく冒險の氣象旺盛の地なり。ピッツバーグは米國西方の咽喉にして新しき工業的潮流は悉く此水門に奔注す。是を以て此地に於ては水勢最も壯猛にして怒濤狂瀾、掀翻跳躍し眞に天下の壯觀たり、而かも一たび此凶門を過ぐるや潮流は四方に分れて一望千里の大野に入り、兩岸漸く開く水勢漸く緩くなるものなり。是に由て之を觀ればピッツバーグは或る意味に於ては本州に於て最も代表的の工業中心と謂ふを得べし。

此市は新工業世界に於ける、限りなき活力と、窮りなき貨殖物慾望とを聚合集中せる處なり。予の想察する所に依れば英國の工業都市中にも一時此の如き道程を通過せしものあるべし。

世界第一、大炭鐵州の狀態

ピッツバーグは一日にして成りたる都市に非らずして由來稍々遠し。此市は英國の一政治家の名に因みて命名したるものにして、自治市と爲りたるは一千八百十六年以後のことなり。一千八百三十三年の頃は僅に一製綱所と一展鐵工場あるに過ぎざりしが、此市がオハヨー河畔に在るが故に鐵道の敷設なき時代に於て商業上の一都會と爲ることを得たり。然るにシユーペリオル湖地方の開拓に伴ひペンシルヴァニアの石炭及鐵發展するや、此市の工業は俄然として勃興するに至れり。さりながら此都市自體は米國文明西漸の一結果として此方面に現出せし一大工業地區の一部たるに過ぎず。即ちピッツバーグとは此地方全體を漠然として總稱するものにして都市のみに専用せらる

るに非ず。例之夫の有名なるカーネギー製鋼會社所屬諸工場は一としてピッツバーグ市中に存するものなく、若は「ウエスチングハウス」工場其他の通常「ピッツバーグに在り」と稱する諸工場皆然り。故に地理上より精確に之を謂へば工場の所在地はアレカニー郡と稱すべきものなり。ピッツバーグは此郡の中心點、且商業上の主腦部にし、て、許多の小中心點若は衛星ありて其の四周を圍繞せり、アレカニー、マッキースポート、デューケン、ホームテッド、ブラドック、ウイルマーチンク等是なり。是等の諸市は總て狭小なる範域内に在り。是れ實に驚くべき稀有の工業集中と謂ふべし。ルリアの水域若は南部スタフオードシャイヤと雖もアレカニー郡に比肩すること能はず。此郡に於ては、鐵こそ眞に石炭を以て玉座と爲せる帝國なれ。郡の人口は七七五、〇五八人にして、其の約十分の一（七二、六七一人）は鐵及鐵製品を專業とせる二百三十六箇所の工場に使役せらる。此外の工業にして大規模を以て經營せらるゝものは電氣、硝子車輛及空氣制動機の數種に過ぎず。ピッツバーグは同郡人口の半數弱を代表し、且又

工業従事者より謂へば之よりも少數の部分を代表す、是れ此市が商業並に交通の中心たるが故なり。單にピッツバーグを視て其他の諸衛星を看ざる者は此地の工業地たることを悟らざるべし。然かも實際此地はセフィールドと併び稱すべき大工業地たるのみならず、其の面積並に性質に於ては他の都市よりも更にセフィールドに酷似す。

ピッツバーグはアレガニーとモノンガヘラとの兩河の相會してオハヨー河と爲る地點に在り。此地には古城址あり、此城は佛人領有時代にはデューケン城と稱せられしが尋で英國人の領有する所となりピット城と改稱せられたり。此城の地勢は二河を以て天嶮の要害と爲し、多腦河岸にある洪牙利の名城コマロンに髣髴たるものあり。此の二河は淺濁にして水勢箭の如く輕舸に非ずむば來往することを得ず。アレガニー河の對岸に一都市ありアレガニー是なり。此市は九個の橋梁を以てピッツバーグと接續す、故に兩市は地形上一市と謂ふべし。又モノンガヘラ河を隔て、數個の小市外地あり、是等は既にピッツバーグに偏入せられたり、ピッツバーグにして若し之と同様に

アレガニーを併合せば同市は米國第十一位より一躍して第七位の都市となることを得べし。加之幾多の工業市區ありて此市を距ること遠からざる地方に散在す、而して若し近時發達の速度にして今後依然繼續せらるゝものとせば、雙方の間にある地域は忽にして相接續して全部ピッツバーグの管理下に立ち、同市は今日よりも數層雄大なる位置を占むるに至るべし。

市區の擴張すること此の如きピッツバーグに於て厭惡すべき方面ありとは何人も想像する能はざるべし。或る人此地を評して『地獄其の儘』と云ひしが、旅行家一たび此市に到らば皆其の適評たるを悟るべし。人あり予に謂て曰く『評者の言夫れ或は然らむ、而かもセフィールドは如何』と。予は前にエッセンに關する記事中に於て此市とセフィールドとを比較し後者を以て遊樂地の觀ありと述べ置きたり。予は質問者に對して此言を復唱するの外なし。但し此市の中央部はさまで劣惡なるものに非らずして佳麗の商店及稍々觀るべき公共建築物あり、且又目拔の市街は道幅極て狭く交通頗る困

難にして市内電車は絶えず鏗鏘として「ベル」を鳴らし、速度遅々歩一歩行進し得るに過ぎず。市中の熱鬧雜沓は紐育、費府若は波士敦に於けるよりも甚し、但し倫敦のみは之に過ぐ。煤煙より生ずる空氣の汚瀆に至てはピッツバーグは天下比なし。此點に就ては此市は東部諸市の如き無煙炭を使用するものとは全く正反對の結果を呈す。此市の煙害の甚しきは雪白の襯衣に及ぼす影響を以て推測することを得、而して煤煙のため生ぜし汚點と此汚點を生ずるまでに要せし時日とを以て之を検定せば煙害の程度如何を知るべし。此檢定法に據ればピッツバーグは煙害に於て少くともセフイールド若はマンチエスターに二倍し、而して倫敦と雖も霧害を除きては全く之に頡頏すること能はず。建築物の如きは他の都市に於けるよりも遙に黯黒色を帯ぶるに至ると云ふ。其の煤煙の濃厚なる以て察知すべし。然るに此市には煤煙を豫防若は緩和する爲め何等の手段をも講せざるのみならず、工場煙突の形狀より謂へば却て之を増進するの傾向あり。製鐵及製鋼所は比較的少數の高き煉瓦煙突身を有せずして極めて多數の低き

金屬製煙突身恰も汽船の煙突の如きものを有す。例之エッセンに於ては二五、〇〇〇人の職工を使役する製鋼所にして高き煙突身約六十本を有し、ホームステッドに於ては僅に六、〇〇〇人の職工を使備するに過ぎざる製鋼所にして、低き煙突身約百五十本を有せり。後者は前者に比し一層經濟的若は有效なるとあるべし（予は之に就き疑なき能はず）と雖も、後者は迥に多大の煤煙を生じ、且又煤煙を吐出する處愈々地上に近ければ之を吹散すること愈々困難となるべし。是れピッツバーグ地方の煙害極めて大なる第一の理由なり。又水域稍々凹み諸工場は河岸低く併列するが故に、煙突より吐出せらるゝ煤煙は兩岸の後に聳ゆる山岳に壅塞せらるゝ所なるべし。是れ此地方に於ける煙害の大なる第二の理由なり。聞く十數年前天然瓦斯の使用盛に行はれ、煙害も亦之が爲め一時迹を絶ちしが瓦斯の供給困難となりしたため中止せらるゝに至れり。之を要するはピッツバーグに於ける煙害の大なることは此地を見ざる者の到底能く想像し得る所に非ず。

然るに煤煙の如きは此地の缺點の一にして其の全部と謂ふべきものにあらず。諸君は苟も此代表的にして且又近世的なる米國都市の真相を知らんと欲せば須らく市の中心を出て、市外まで歩行せざるべからず。諸君の第一に注目するは頭上の電線なるべし。是等は電話、電信及電車の諸線にして其状恰も蜘蛛の如し、之が架設の方法は實に亂暴狼藉を極む。電信柱は決して真直且精製せられたる良材に非ず、又真直に樹立せられたるものに非ず、樹皮附の儘粗材にして左右前後に傾斜し、電線も亦善く緊張せらるゝことなく甚しく弛撓して幾んど地上に垂るゝもあり。第二に注目すべきは市街の極めて不潔にして塵芥到處に推積し、又電車軌道の布設不良なるが爲め電車の動搖甚しきこと是なり。更に進むときは河岸より聳立する阜陵に到るべし。阜陵には一樹一木の生ずるなく光景轉た蕭條たり。或る場處は二二三の朽廢せる木造家屋相連り、軒傾き籬破れ、處々枯木の空しく枝を天に朝せるあり、空氣も亦日夜煤煙の溷濁する處となれり。行人路を此地に拖かば四顧晦濛の裡、白衣の翩々として風に翻るを看る

べし。是れ洗濯後乾かさなぐため屋根に之を懸吊せるものなり。隨て洗へば隨て瀆る、此地の婦女も亦感むべきかな。聞くピッツパークに於ては婦女は概ね墨染の襯衣を穿ち居れりと。煙害の劇甚なる以て知るべき而已。

鐵腕の爲抑壓さる職工組合

以上はピッツバーグ市の中央より市外地に至るまでの光景なり。然るに此地と雖も全部此の如きものに非らず。上流の邸宅所在地に於ては家屋良好なり而して河と工場とに離れて高燥の地にある郊外家屋の如きは煙害を免るゝが故に、市の他の部分に比し一層の美觀を呈す。之に反して人口稠密せる若干の方面は外觀極めて醜く貧民長屋は豚小屋同様にして、近年の建築に係りたる近世式のものとしては予は未だ嘗て此の如きものを見たることなし。旅客若し尙數哩同一の道を續行するときは愈々ピッツバーグの冥土とも稱すべき處に抵るべし、是れホームステッドなり。此地はモンガヘラ谿谷上部にある幾多の小都市の第一市にして、所謂カーナギの名を冠する各種の製

鐵所及製鋼所に依りて造成せられたるものなり。然るに風物の凄絶此の地の如く、從業者の勞苦此地の如きは蓋し他に有らざるべし。一方に於ては炎々たる火光高く騰り、囂々たる響音耳を聳し、從業者は熔鑪と伸鐵工場に力役して流汗身に滿つ、而して其の操業時間は一日十二時間にして一週間無休にて七日間に渉るものとす。他方に於ては陋舎破屋相聯れり、是れ職工の飲食起臥する處にして彼等は勞役時間の外寸隙の暇もなく、又過勞困憊の餘殆んど何事をも爲すこと能はず。予の知れる一英國職工予に謂て曰はく『若し人ありて一週間に五弗の工銀を給與せば、予は欣喜雀躍直ちに歸國し、以て所謂炭鐵州に於てすら猶且紳士の如く生活することを得べし』と。此地に於ける勞役の過激なることを思へば此職工は萬人の齊しく言むと欲する所を道破せるものと謂ふべし。一日五弗の工銀はホームステッドにては異常の高額と謂ふべきものに非ずと雖も、之を獲んが爲めには粉骨壘身せざるべからず。又此地の産額は莫大にして一見偉大の能率發揮せらるゝの感あるも、工業状態の如きは恒久萬全の道に非ず。

夫れ人間要素は蹂躪せんと欲して能く蹂躪せらるべきものに非ず、尙將來大に尊重せらるゝに至るべし。從來職工組合主義は鮮血淋漓たる鐵腕を以て抑壓せられたり。此主義は一千八百九十二年の大擾亂以後今日に至るまで無視せられたり。然りと雖も此萌芽は地中に養分ある限りは決して枯死するものに非らず、況んや多大の養分を有するに於てをや。惟ふに斷えず之を監視彈壓するは容易の業に非ず、畢竟勞して效なかるべし。資本家側の施設を観るに徒に繡縫糊塗を是れ事とせり、繡縫糊塗は失敗の基なり。此地の職工賃銀は下の如し。晝間勞働者は六志以上七志、助手(青年)は一日九志以上十志、伸鐵工場使役助手は一日二十八志、「ローラー」は一日二磅以上四磅、熔鑪附焚火手ヒーターは二週間三十磅とす。

ホームステッドを過ぐれば流域處々にカーナギ製網會社所屬に係る他の諸大工場の基布點綴するを看るべし。乃ちランキン、ブラドック及チヌーケンにも是等の工場はホームステッド同様に闖入し、又之と同様の弊害を流せり。諸工場は一三、〇〇〇乃至一四、

〇〇〇の職工を使役し、人類活動の一大舞臺を現出せりと雖も是れ必ずしも吾人の讃稱すべき性質のものにあらず。惟ふに是等の工場は慧敏なる商才と不撓不屈の金儲心とに依りて今日の成功を博し、且又生産を低廉ならしめ以て工業に裨益を及せり。然りと雖も、此の成功は是以外何等貢献する所なきのみならず、他人の膏血を絞る以て恣に私囊を肥し、復た生産を低廉ならしめ且巨利を壟斷せんがため更に是よりも貴ぶべきものを脚下に蹂躪せり。豈に慨歎せざるを得んや。夫の獨のエッセン、英のエルジツクを造り得たる大才は長く宇内萬人の景仰欽慕する所となるべしと雖も、モノンガヘラの玉座に位する穢土王を崇拜する者は天下唯拜金宗の徒ある耳。此地に於て掴み得たる金銭は盡く銅臭紛々たるものあるべし。

吾人は再び此地を去り、更に歩を進めて行くこと少時にしてウイルマーチングに達すべし。吾人は此地に於て米國が中外に誇るべき工業能率の一例證を認むることを得べし。ウイルマーチング及東部ピッツバーグに在る「ウエスチングハウス」の製作所は

米國の工業的天才に由りて創設せられたる至高の典型にして、世人の歎賞措く能はざる所のものなり。此製作所は舊世界に於ける諸大工業を起せし大人物と同型の革新家、計畫者にして又實行者を兼ねたる一米國人の創立せしものなり。一米國人とはウエスチングハウス氏にして、クルップ、シーメンス、アームストロング及リストアの四傑と比肩することを得べし。ウエスチングハウス氏は生れながら發明家の資質を備え、其の獨創に係る空氣制動機は名聲歐米諸國に噴々たり、但し電氣器械に於ける同氏の發明事業、即ち交番電流の適應、誘導電動機、點火法等の如きは専門の問題に屬するを以て世多く之を知らず。予は英國に在りて市街電車に搭乘する毎に其の機械を注視するにピッツバーグてふ符號あるものを發見すること一再に止まらず。是等は「ウエスチングハウス」工場の製品なり。「ウエスチングハウス」工場はマンチェスターに分工場を有するを以て時人は此工場を以て専ら電氣器械製造業を營むものなりと思惟するも、ウエスチングハウス氏は此外又瓦斯其他の機械に關する發明家にして、大製造業者を

兼ねたり。マンチエスターに在る分工場はピッツバーグ附近の工場に則りて建設せられたるものなり、而して是等の諸大工場の雄大なる規模、其組織、設備及一般の經營方法の眞に善兼美備の好典型たるを念へばウエスチングハウスの非凡の大才たるを識るべし。予は建物、裝備及労働状態に關しては是等の工場を以て最上の近世的工場施設の模範なりとす。是等の工場は予の曩は將來の典型なりと爲せしプロヴィデンスの「ブラウン、シャープ」合名會社と比較するに規模に於ては「ウエスチングハウス」工場を以て優れりとするも、設備に至ては兩者恰も符節を合はするが如し。是等の工場は構造堅牢、採光保溫二つながら適良にして、又工業能率の一要素として職工の生活を裕ならしむるため努力する所あり。構内には更衣室及手洗室の如き必要の便宜は一切完備せるも有害無益のものは一も之れあらず。一週間の労働時間は五十四時間にして操業は午前七時より午後五時三十分までとし、晝食時間は四十五分とす。此時間割は英國の標準と全く相同じ。少女の使傭せらるゝもの極めて多く、彼等は縮線捲手コイル、ワインダーとし

て一時間五片を給與せらる。是等工場の特種狀況と謂ふべきは斷えず新造機械を試験するの風あることにして、是れウエスチングハウス氏自己の天才に基くものなり。同氏は管に獨り自から器械を發明するのみならず、復た是等の器械を製造するに必要な特殊の工具及器械をも考案することあり。聞く、此工場に於ては二三個月毎に若干の機械を取換ゆるを常とす、而して取換えられたるものは廢棄せられずして販賣せられたるものなりと。此大會社の創立者にして社長たるウエスチングハウス氏の暋勉不倦の慣習は眞に工業界至高の師表たり。同氏は身既に頽齡なるも徒らに風月を侶とすることなく、日夕工場に於て實驗室に入りて上衣を脱し、部下の専門家と伍して自から研究を事とするを常とす。子弟の世界各國より茲に來り遊ぶもの多く、而して苟も此處に來り遊ぶ者にして其の良研究所と良師とを獲たることを祝せざるは莫し。夫れ工業學校は世に多々ありと雖も、此種の研究所は今尙ほ至善至良のものといふ可し。

結 論

英國工業衰退の原因及其救済策

英獨米の三國は世界の三大工業國也。殊に英國は既往百年間先進國を以て居りしが、獨米兩國は最近二十年間に於て英國に追及せしむみならず若干の事物に就ては優に之を凌駕せり。而して其の原因は無限の富源若は工銀の低廉にあらずして、(第一)兩國に於ける保護貿易制度、(第二)兩國國民の「努力」とに在り。

實地の國際的工業競争に關し庶般の研究資料を綜合するに、保護貿易制度は自由貿易制度に比し自國の工業界に多大の經濟的利益を供與するの傾向あり。故に米獨兩國は一方に於ては保護的關稅を以て優勢なる英國の競争を控制せしと同時に、他方に於ては關稅以外の諸要素に依りて貿易戰に偉大の效果を收むるを得たり。是等の要素こそ吾人の總稱して「努力」といふものなれ。

此努力は國家の狀態並に國民性の異同に因り自から種々の形式となりて發露するものなり。米獨兩國が英國を凌駕せし工業的成功は同一の道に因らず、差違極めて大なる徑路に由りて到達せられたるものなり。即ち米國に在りては工業家の自動的奮闘に由り、又獨逸に在りては諸種の要素の協同一致に依りて此成功を收めたるものなり。

工業界に於ける米國人の特徴は冒險、大膽、邁進、自強不熄、新奇を喜び、發明工夫の才に富み、模倣に長じ、又貨殖心旺盛なるに在り。而て獨り雇主のみならず復た被雇者も此特徴を發揮するものなり。又工業界に於ける獨逸人の特徴は細心にして終始渝ることなき異常の努力と、事々物々他より指導補助せらるゝの點に在り。詳言せば獨逸に於ては放任主義を棄て、干涉主義を採り、立法部、行政部は勿論、自治團體に於ても深く意を工業發展に用ゐて諸法規を制定實施するものにして夫の科學的關稅、詳密妥當の工場法を始とし、其の他官營保險制度、鐵道及運河運輸制度、

海運獎勵法、教育制度、自治制度及救貧制度の如きは孰れも自國工業の伸暢を眼目とせざるは莫し。是を以て獨逸は天然の地利極めて不利なりしに拘はらず世界第一流の工業國と爲り、外國貿易の消長に歸因する不景氣を迅速に恢復するの能力を備へ、又其の勞動階級は窘窮の状態を脱し、對手國の同一階級に比し迥に富裕の生活を營み、且又技術上の優秀の實力を養ふに至れり。

然るに英國は兩國の長所を十分に具備せずして纔に其の片影を殘存せるに過ぎず、英國人は本來米國人の冒險的氣象と獨逸人の秩序を重するの氣象とを具備せしも、今や其の冒險的氣象は衰え、秩序を重するの氣象も亦減せり。堅忍勵精の風地を掃て浮華驕奢俗を成し、上下貴賤を擧げて遊獵、競馬、飲酒に耽り、其の結果兵備の弛廢、工業の衰頹、體力の減退、失業者の激増を醸生せり。然るに此弊風を生ずるに至りし原因は英國過度の富盛と個人間に於ける富の分配に在り。

然りと雖も若し假りに米獨兩國民をして英國人と同一の境遇に在らしめば前者は

後者と同様若は是以上の腐敗に陥るべし。英國人の裡には列強人民に劣らざる偉大の氣力今尙存す。此氣力は峻烈なる風土に胚胎するものにして此風土は祖先より亨受せし不朽の遺産なり。加之ならず英國人は必要に應じて固有の氣力を發揮せり。海軍の如き、航海業の如き、土木事業の如き是なり。工業界に於て第一に覺醒せし者は製造業者なりとす。政府部内を始とし一般社會に於ても亦覺醒の徵候あり。第一教育に關する革新計畫、第二各種工業團體の勃興、第三有力なる諸新聞の工業問題を重要視すること、第四從來の救貧制度に對する革新の氣風生せしが如き即ち是なり。

我英國工業界は今や多年の迷夢を覺醒せむとするの秋なるが故に、此際保護政策を採り、以て人爲的補助を斯業に與ふるは反て惡影響を及ぼすの悞ありと雖も、遠き將來に於ては之を我對手諸國の實力に鑑み、我製造業者は敵手側の市場閉鎖並に輸入自由の術策に對し到底之と頷頷すること能はざるべし。就中獨逸は米國に比し迥

に畏怖すべき勁敵なりとす。而して之と對抗せむと欲せば國民體力の減退を救治せざるべからず。其の策他なし、都市の人民を誘致して田園生活を営ましめ、以て剛健なる數十萬の農民を養成するに在り。

一國工業の消長と關稅問題

夫れ英獨米の三國は、地利人智俱に卓越せる世界有數の工業國なり。就中地利人智の二者より謂へば、英國は獨米兩國に比し工業上迥に先進國の位置に居り、其の發達の道程も亦自から遠きものあり。予が爰に地利人智の二者と特に言明する所以は他なし、英國が既往百年間に於て無比の工業國と爲りしは、嘗に獨り富源の無盡藏、位置の優越、島國的安泰ありしに由るのみならず、復た實に其の國民の練達、精力と比類なき發明の才とを兼備せしに職由するが故なり。然るに當時獲得せし先進國の位置を永久に持續することは到底期待し得べきものに非ざりき。苟も機會の乘すべきものあり、且手段の講ずべきものあるに至らば、米獨の國民と雖も其の富源を開拓することを得

べく、而して時機到來せば雌伏の反動として其の活動一層猛烈にして、其の伸暢一層神速なるべし、是れ蓋し自然の數のみ。米獨兩國は是れまで後れたる時日を償ひ先進國たる英國との距離を減縮せり。兩國は最近二十年前後にて從來種々の事物に於て天下無比と稱せられたる英國に追及せしのみならず、復た若干の事物に就ては優に之を凌駕せり。兩國は嘗に獨り局外諸市場に於てのみならず、復た内國市場に於ても既に英國を壓倒するに至れり。然り兩國は從來英國製品の全盛を極めたる市場をも蠶食せり。吾人は爰に統計的證據を挙げ若は其の成功程度を測算するの必要を認めず。此事實は明々白々のことにして世人の業に已に知悉せる所なり。英國工業界の一泰斗は此事實を承認して曰く、『吾人は若干の點に於て凌駕せられたり』と。是を以て之を觀れば予の言の誣ならざることを知るべし。借問す吾人は何が故に此の如く凌駕せられたるや。

若し單に一外國の爲に凌駕せられたるものとせば、吾人は何等か慰藉の理由を發見

することを得べし。例へば吾人は米國無限の富源若は立法的無干渉を擧げて之が理由と爲すを得べし。然るに獨逸には此の如き富源若は立法的無干渉なきを奈何せむ。之に反して吾人若し獨逸に於ける賃銀の低廉を擧げて之が理由と爲さば、米國に適用するとき此論據は自家撞著となるの外なかるべし。此故に兩國の長所を併せ擧げなば此矛盾を免るゝことを得べし、而して若し予の比較研究にして多少採る所ありとせば蓋し此點に在るべし。惟ふに本書の讀者は米獨二國が幾多の事物に於て互に兩極端に在ることを看取すべし。然るに下記の二事に於ては兩國俱に揆を一にすると同時に英國とは全く趣を殊にせり。二事とは他なし、第一努力（爰には單に努力の二字を以てするも種々の要素を意味するものと知るべし）、第二關稅是なり。予は先づ關稅に就き説明する所あるべし。

予は是れまで自由貿易對保護貿易てふ問題に就き何等言及せし所あらざりき。而して予の今言はむと欲する所は簡單明瞭にして複雑なるものにあらず。此問題は直接生

産若は能率とは全く沒交渉にして商業即ち賣買に關係せるものなり。然るに其の間接の影響重大なるものあるが故に、此問題は一國工業の消長を左右する諸要素中の一要素として考察する所なかるべからず。

抑々一切の商業は賣買に因り成立するものにして、究極する所物々交換に外ならず而して其の交換なるものは必ずや價值の標準として貨幣の仲介に由りて行はるゝが故に實際賣買と稱することを得べし。此を以て廉價を以て之を買ひ、而して高價を以て之を賣るを以て成功せる商業と謂ふべし。自由貿易の目的は廉價にて買はむとするに在り。保護貿易即ち輸入品に課稅するの目的は高價にて賣らむとするに在り。成功不成功は必ずしも兩者の中、孰れが其の一に依頼することに依りて決するものに非ずして、兩者間の關係如何に依りて決するものなり。而して兩者間の關係は概ね種々の情況に由りて變動するものとす。故に絶對不動の原則を設定し、而して最低價格にて買ひ若は最高價格にて賣るを以て必ずしも利益あるものと稱するを得ず。若し最低價格

を以て買ひながら殆むど無利益にて賣らざるを得ざるが如き場合に遭遇するものとせば、寧ろ之よりも高價を以て買ひたるものを有利の價格にて賣るを以て収益却て多しとすべし。之と同じく若し高價にて賣るとも、買ひ値極めて不廉なりとせば、寧ろ廉價にて賣るとも、買ひ價格安値なるときは収益却て之よりも多かるべし。自由貿易は専ら買ひ値を以て眼目と爲し、賣り値の如きは自然の儘に放任するを常とす。保護貿易は賣り値を以て眼目と爲すものなり。而して保護貿易と雖も斷えず買ひ値に注意し、兩者の關係を最も善く調節せむと努力するは施設其の宜を獲たるものと謂ふべし。

一國に於て外國品に對し保護的關稅を賦課するは其意蓋し内國に於ける被保護物品に對し報償的賣價を設定せむとするに在るべし。而して其の結果國人をして自然放任の際よりは廉價を以て是等の物品を購賣することを得ざらしむべし。保護貿易は從來に比し、或は保護貿易の制度なき他の邦國に比し必ずしも是等の物價を不廉ならしむるものに非ず。是れ物價なるものは關稅以外の種々の情況に依りて影響せらるゝもの

なるが故なり。然りと雖も保護的關稅あるため、此制度施行以前に比し是等の物價を騰貴せしむるは事實なり。而して是れ實に保護貿易の目的とする所なり。詳言せば關稅は事實上被保護物品の製造者に對し、報償的價格を取得せしむる爲國民に賦課する一種の租稅なり。畢竟する所國民の支拂ひたる經費は被保護工業に従事する人々の扶持料となり、延ひて國民的製造力及勢力を増進することを得。然るに若し當業者を扶持するの必要ある諸工業にして、保護を要せずして充分従業することを得ば國民の利益之に過ぐるものなかるべし。苟も常識あるものは安んぞ自から好むで不必要の高價を以て物品を購賣するが如きことあらむや。

關稅に依りて施されたる保護の被保護工業を刺激するや固より言を俟たず。其の影響は恰も温室の花卉に於けるが如し。保護貿易に依り既に内國の市場を庇護することを得るを以て製造業者は破格の廉價を以て其の製品の一部を海外に販賣し、依りて以て其の産額を増進して最高の經濟的能力までに達せしむることを得。是れ其の對手國

の『ダムピング』と稱する所のものなり。予は此語の起原若は正當の意義を知らずと雖も、所謂『詐欺賭博者』を始とし其の他類似の俗語と同じく、憎惡侮蔑の意を含むものなり。米獨兩國は俱に過剩製品を英國に於て捨賣し、而して之に依りて關係諸工業の爲め經濟的優越の地歩を壟斷するを得。加之ならず製造業者は關稅の爲め内國市場を牽制するを得るが故に、更に進で相互の間に組合を組織して以て價格を保持し、或は其の他の方法に依りて市場を左右することを得。然るに若し一切の商敵に對して市場を開放しあるときは、製造業者は到底市場を支配すること能はざるべし。是等の組合には種々の名稱あり「トラスト」、「コムバイン」、「コルポレーション」、「シンヂケート」、「カーテル」等是なり。近年組合の利害得失に就ては、議論紛々として歸一する所なし、然るに予い見る所に據れば組合の何物たるやを曉知せる人士は絶えて之が是非を問はずして組合を組織するを常とす。而して是等の組合の一般社會の福祉に對し如何なる結果を及ぼすやは本書の關係する所に非ず。苟も其の結果を知らむと欲せば

須らく保護並に自由貿易の究極的經濟關係を全局より考察せざるべからず。而かも何人と雖も未だ此關係を悟ることを得ず、是れ之に關する諸家の著書の證明する所にして、從來諸家の意見は互に矛盾するのみならず、事實も亦相撞突するの傾向あり。予の爰に論述せむと欲する所は實地の國際的工業競争に在り。而して種々の資料を綜合するに、保護貿易制度は自由貿易よりも躬方の工業家に偉大なる直接の經濟的利益を與ふるものなることは固より疑を容れず。而して此制度は國家全體より觀て、或は結局する所自國の利益となるや否の議論に就ては暫らく兩派の諸大家に之を譲り、予は之に容喙せざるべし。

我英國の自由貿易主義に對する米獨兩國の保護貿易主義の問題は是にて擱筆するこゝとすべし。或る人士は國際貿易の消長は全く之に基因すと唱道し、又他の人士は之と反對の見解を採り、米獨兩國の此競争に成功を博せし所以は保護貿易主義に在らずして全く他の原因に在りと爲せり。然るに多數の人士は概ね折衷説を採り、一方に於

ては保護的關稅の優勢なる英國の競争を控制することを認むると同時に、他方に於ては此外尙種々の要素ありて此貿易戰に影響を及ぼせるものと思料せり。此説は予の結論と歸を同ふするものにして、又是等種々の要素こそ實に本書に於て講究する所なれ。予は曩に英獨米三國を視察せし結果（予は敢て自から誇るものに非ざるも、精密の點より謂ふも、將亦概括的の點より見るも、予の如く比較研究を行ひたるものは、從來他に之れ有らず）、予は確信す、米獨兩國は縱令極度まで關稅を引上ぐるとも、到底是れのみにては、關稅以外の諸手段によりて擧げ得たるが如き効果を收むること能はずと。

英人美風の頹廢と遊戯沒頭

予は關稅以外の諸手段を總稱して『努力』と云ふ。是れ蓋し努力てふ語が一切の手段を包含し、是れ以外に於て適切の語なきが故なり。夫れ工業の手段は千差萬別ありと雖も其の精神は一なり。故に吾人は手段と俱に精神をも比較せざるべからず。而して

此比較研究に依り、吾人は唯一主要の點は吾人の屢々聞知するが如く是れにもわらず、又彼れにもわらずして努力其の物に在ることを知るべし。而して此努力なるものは國家の情況竝に國民氣質の異同に依り自から種々の形式を生ずるものなり。輒近英國人民は海外に於ける視察者の偶然印象せしが如き或る特殊の方法若は組織を摸倣し、以て衰連挽回の道を講すべしと勸告せらるゝこと前後幾度なるを知らず。此勸告は之を採用して可なる場合も之れ有るべしと雖も、十中八九までは不可なるべし。其の故は勸獎せられたる特殊事項は必ずしも全く同一の情況に適應せらるゝものたることを期すべからず。而して適應せられたる情況既に同じからずとせば其の結果は甚しき差違を生すべし。故に實際摸倣すべきものは其の方法若は組織中に發露する所の精神なりとす。苟も精神を捨て、形式を取るが如きことあらば勞して益なかるべし。

夫れ米獨兩國に於て英國を「凌駕」せし所の工業的成功なるものは同一の道に依らず、差違極めて大なる徑路に由りて到達せられたり。即ち米國に在りては殆んど皆工

業家の自助的奮闘に因り、又獨逸に在りては種々の要素の協同一致（勿論工業家の努力は至重至要のものなりと雖も諸要素中の一たるに過ぎず）に依りて此成功を收めたり。吾人は更に一步を進めて細論する所あるべし。

工業界に於ける米國の事業振りは冒險、大膽、邁進、自強不熄、新奇を喜び、發明の才に富み、倣摸に長し、又貨殖心旺盛なることを以て其の特徴とす。大小の差こそあれ、雇主被雇者俱に此特徴を發揮せざるは莫し。製造家は一意専心自己の事業の擴張を圖り、常に新奇を追ひ、發明を促し、市場の趨勢を研究し、又産額を増進し、而して經費を輕減するため種々の新法を試験採擇することを怠らず。製作品の定準、工場組織、高等教育を受けたる事務員の需要並に偉大なる組合に依りて行使せらるゝ所の敏速なる支配權（此支配權あるが故に最高幹部は他の者の成績に徴して各部の理事會を抑制し、又は規約違反者を檢束するとを得）等發生す。被雇者も亦昂めて多額の給料を取得し以て向上發展せむことを企圖す、而して雇主も被雇者も俱に孜々として勵精

し全力を擧げて業務に従事す。斯く云へばとて是等一切の性能終始渝ることなく發揮せらるゝものなりと謂ふものに非ず。否或る種類の産業並に中樞地點に於ては此等の性能の著しく闕如せることあり、是れ予の前記諸章に於て既に陳說せる所なり。然りと雖も此等は米國人が成功を博し得たる顯著の性能及方法と謂ふべし。大體より之を云へば此等は内部の庇護（關稅は此限に在らず）若くは外部の妨碍を受けずして十二分に發揮せられたるものと謂ふべし。

獨逸に於ける工業の發展は之と趣を異にす。此發展は米國と同じく非常の努力に由りて生じたるものなりと雖も、獨逸に於ては米國の冒險的勇猛心及新趣好に對する間斷なき追求心に代ゆるに、細心にして且終始渝ることなき努力を以てす、而して此異同を生ぜし原因は國情の差違に在り。此國情の差違は國民氣質の異同に讓らざるほどの重要なものと知るべし。此外尙一個緊要の原因の存するあり。獨逸人は何等他の干渉を受けずして自己の運命を開拓せしむるに非ずして事々物々他より指導輔弼せら

れたるものなり。社會の各方面、例へば上は皇室より下は貧民授産所に至るまで孰れも之に貢獻する所ありたり。獨逸に於ては放任主義即ち獨逸人の所謂「マンチエスタ」主義は全く勢力を失ひ、而して立法部、諸官省、自治體及各個人は深く意を用ゐて法規を制定し、而して之を適用す。乃ち科學的關稅は勿論其の他詳密にして妥當なる工場法の如き、官營保險制度の如き、鐵道及運河運輸制度の如き、海運獎勵法、教育上の施設、自治制度及救貧制度の如きを觀ば思半に過ぐるものあらむ。獨逸の工業てふ建築は此の如くにして大成せられたるものにして、其の一柱一石と雖も皆克く己れの任務を竭くせるは驚歎すべきことなり、而して是れ實に職分を重んじ事務に勉勵するの精神に由りて此結果を獲たるものなり。吾人は之に依り二個の特筆大書すべき事實を略たり、事實とは他なし、比較的貧弱なる一國が天然の地利極めて不利なりしに拘はらず、苦心經營終に世界第一位の工業國と爲りたること、及同國の下層階級は本來極めて困難の位置に在りしに拘はらず、淬勵自強、遂に其の對手國のそれ等に

比し迥に富裕の生計を營み、復た數層優秀の實力を養ふに至りたること是なり。此外尙一事の加ふべきものあり、貿易の盛衰に歸因する不景氣を極めて神速に恢復するの力量即ち是也。獨逸の長所夫れ斯の如し、豈に歎稱せざるを得むや。

英國は兩國の長所を充分に併有せずして纔に其の片影を殘存せるに過ぎず。詳言せば英國人は從來米國人の冒險的氣象と獨逸人の秩序を重するの氣象とを具備せしも、今や其の冒險的氣象は衰え、秩序を重するの氣象も亦減せり。加之ならず、從來英國人の特徴たりし勵精堅忍の美風は轉じて遊惰放縱の惡習となれり。往年工業家は向上邁進の氣象に富みしが、今や此氣象は空しく銷磨し去れり。彼等は已れの業務を從來の儘に放棄して顧みず、而して徒らに雉獵若は地中海に於ける遊艇帆走に熱中す。遊戯却て本業となり、家業却て副業と爲りたり。復た一職工あり、彼れは技倆と勤勉の二事に於て嘗て拔群の稱ありしが、近時に至り「最少の勤勞に依り最高の給料を取る」を以て自己處世の要訣と爲せり。工業主の本業は「フート、ボール」に非ずむば競馬に

在り。工業主は職工を咎め、職工は復た工業主を責むるの風あり。加之のみならず、工業主は種々の弊害のため自己の事業を阻碍せらるゝを怨み之が不平を訴ふることあり。是れ無理ならぬ事と謂ふべし。工業主は法律、施行細則竝に時代後れの規定の爲業務を障礙せらるゝことあり。而して是等の法規は何等著しき庇護を工業主に與えず、却て或る點に於ては之を妨碍するの結果となることあり。而して是等の弊害を生ずる所以のものは、孰れかの方面に於て曠職若は怠慢ありしに外ならず。立法者は唯法律を審議協賛するを以て能事足れりと爲し、毫も事體の何物たるやを查察せず、或は立法の結果如何を達觀せず、若は時世後れ又は有害無益の法律、例へば特許法竝に工業用酒精税法の如きものを改正することなし。諸官省は綱紀弛廢し、有司復た守成に維れ安んじ、絶えて事實の真相を糾明し、世體の變遷に順應することなし。地方廳も又施行細則の適用を謬り、濫りに税率を昂め、又貧民救濟法の實施其の宜を得ず。而して各人は娛樂を事として業務を顧みず。是れ全國人民の風習にして何人も他人を非難

攻撃することを得ず。全國を擧げて皆此弊風に感染し、固より人の賢愚と階級の上下を問はず。吾英國人は遊戯好きの國民なり。彼等は業務を厄介視し甚しきに至ては之を厭惡し、努めて急速亂暴に之を終了し、以て其の本業とする所の「ゴルフ」トラムプ」、又は「フットボール」若は其他數百種の遊戯場に趨くを常とす。彼等は之に熱中し、而して之が爲めには千艱萬難をも敢て意とせず。

此問題に就きては其の得失利害を反覆詳論するを要せず。曩きに予の此問題研究を開始せし以來、朝野の人士は大に之に鑑みる所あり、而して今を距る三年前予の卑見は奇矯の言説として空しく世の嘲笑を買ふに過ぎざりしが、今や全國の操觚者は之を以て苦言時弊に適中するものと認むるに至れり。今秋主要の諸新聞は我國民の病弊に關する各方面の通信員の剴切なる長篇の論文を掲載する所ありしを以て、予は茲に此問題を縷述するの必要なべし。予は試みに其の二三を引用せむと欲す、而して外國人は我國人に比し一層弊根を指摘し得べきが故に、先づ一隻眼を有する一外國人の

評論を載録すべし。

獨逸人の英國々情墮落觀

『在留一獨逸人』てふ署名にて「國民評論」に左の寄書ありたり。其の要に云はく。

『英國に於ける小學校卒業者は其の男生徒たると女生徒たるとを問はず、職分の何物たること、又自國の位置は祖先等の戦争に於ける犠牲に由りて贏ち得られたるものなること、或は戦争なるものは今尙我民族發展の由て以て持續せらるゝ所以の手段たることを知らず。

貴國の労働者は産額の標準を昂けず、寧ろ之を低ふせむとするの意あり。彼等は勤勉勵精なる國民を化して、遊惰放縱の民とならしむるに至るべし。予の見聞する所に據れば、近時英國に於ては勞銀は産額ハ増進以上に暴騰せしを以て、給料愈々増加して産額は益々減退するに至れり。

今日まで予の親しく目撃せる所に據れば、貴國労働者の十中八九までは遊戯専門

の新聞雜誌以外讀書することなく、競馬と遊藝とに熱中して殆むと業務を度外視するの風あり。日曜日以外の平日に於て數百千の労働者が陸續として「ロールズ」又は「オーヴァル」競馬場に赴くは吾人の屢々目睹する所なり。彼等は平日を休日と心得、斷えず遊蕩に耽り業務を怠るものと謂ふべし。若し貴國の労働者にして一週間に兩三日休業し、而して他の四日間に於て當然爲すべきだけの作業を遂行することを得ざるときは、終には己れの位置を維持する能はず、或は多數の失業者を生ずるは蓋し自然の數而已。

方今貴國の労働者は多額の工銀を給與せらるゝと雖も、予の觀る所にては彼等は之を浪費するの風あり。彼等は之を以て家政の費用とし又は從來よりも良好の借家に住み、或は滋養に富める食料品を購ひ、或は又疾病其の他不幸に對する準備金として貯蓄するに非ずして、多くは競馬賭博若は飲酒に蕩盡せらる。而して彼等は毫も自から反省することなく、却て都市若は國家が優良なる住家を給與せざ

るを怨み不平を訴ふることあり。労働者は又労働階級救済の趣旨にて制定せられたる特別法に據り、破格の廉價を以て鐵道旅行を爲し得ることゝなれるに拘はらず、彼等は無料旅行の特典に浴すべきものと思惟するの風あり。彼等は終始他より總てのものを與えられ、而して已れは一物をも與へざらむことを欲せり。

予以爲らく、貴國人民は既に貧民の子女を養育せんとするの意嚮あり。惟ふに今一步を進むれば英國人は更に彼等に衣服を給與し、終には其の雙親をも收養するに至るべし。事實上貴國人は自國人を警策して獨立特行の國民と爲さずして依頼心深き自墮落の國民を馴致するものなり。予は從來英國人を以て常識に富める國民なりと信ぜしが頃者智裡窃に疑なき能はず。貴國政事家の意嚮を察するに、苟も労働者以外に於て經費を負擔する者あらば事の細大を問はず、如何なる要求にも應ずべきことを労働者に約束するを辭せざるべし。労働者の負擔は今日既に少額なるに拘はらず、將來愈々減額すべきは予の信じて疑はざる所なり。凡そ労働

者の強要するものは其の得失如何を顧みず、恰も驕兒に對するが如く何物と雖も甘諾せられざるは莫し。貴國人は之を以て民政的施設と稱するも、予は敢て育兒院的手段と謂はむと欲す。而して是等の驕兒は聰明にして深慮ある人士を左右し、甚しきに至ては壓くことを知らざる貪慾を縱にするため、終には國運を衰頽せしむべし。豈に畏れざるを得ん耶。

試に貴國の都市行政に就て之を謂はむ。既遂竝に未遂事業に對する責任者の如きは殆ど確知すること能はず。而して都市の當事者等は徒らに内訌を事として互に相乖離し、又衆愚の要する所となりて秕政を累ね、之が爲經費を支出すること愈々多くして効果を收むること愈々少し』と。

米人の觀察英國乞食魂性の彌蔓

紐育のジョン、テイ、テール氏は『テリー、テレグラフ』に書を寄せて曰く。

予は軍人、外科醫、社會學者竝に史家として自己の確信する所を直言せむと欲す。

『貴國の陸軍省及陸軍は劣等のものなりと雖も（予は兩者の極めて劣等のものなることを認む）大不列顛國民の大多數は兩者に比し一層劣等のものたるを免れず。加之ならず彼等は眞正の男兒たる一切の武徳の點に就き今尙益々衰退しつゝあるの狀あり。

有體に之を云へば英國人は驕奢淫佚の爲多病羸弱に陥れり。貴國の婦人は身長過度に増伸せり。而して其の結果體質の衰弱を惹起せり。此の如きは夫の奢侈遊蕩の爲自から滅亡を招きたる古代諸民族の一特徴と云ふべし。其の理由他なし、婦人の身長愈々増伸せば、之と與に其の氣力、耐久性及出産力も愈々減退するが故なり。貴國に於ける一切の科學的並衛生的方面の努力は頗る觀るべきものありしに拘はらず、最近三十年間貴國の出産率は他の歐洲諸國のものに比し頓に降下せしのみならず、復た早産、先天性弱質、畸形等の幼兒、低能兒の激増並に女子に對し男子の出産數漸減の現象を生ぜり。英國人の祖先は卓犖不羈にして其の豪邁

獨往の精神は世界萬國民の企及する所に非ざりき。然るに近代の英國人は徒らに遊戯に耽り業務を厭ふの風あり。是れ薄志弱行の致す所にして其の原因は奢侈遊蕩に在り。今や宇内諸國中英國の如く乞食魂性の瀰蔓横溢せる處は他に之れ有らず。英國に於ては救助を受くるを以て一種の德義と看做し、英國人は上は王公より下は賤民に至るまで、自己若は他人の爲救助を受くるを以て毫も恥とせず。今や『アングロ、サクソン』民族多數の特癖は浪費と貪慾なりとす。若し假りに貴國労働者の工銀を十年前の二倍まで増額し、而して家賃、食料及被服費を半額に減少するとせば、彼等は獨立の精神を以て剩餘金を蓄積し、以て疾病若は老後の費用に備ふる等のことなく飲酒、美服、博奕、兒戯に類する娛樂及遊惰放肆に蕩盡し、而して貴國人民の心身状態は兩つながら今日よりも迥に冠弱となるや必せり。彼等は又今日同様、甚しきは今日以上家族を養ふの義務を竭さず、人の親たるの體面を忘るゝに至るべし。今や労働組合員は自己の子女を養育するの意なく、子女

の養育費を國庫支辨と爲すべきこと、労働者は一切の租税を免除せらるべきこと、
 竝に労働者は國家に依り住宅を供與せらるべきことを要請し居れり。惟ふに子女
 に對する親たるの責務を回避せんとするが如き人面獸心の徒輩にして、安んぞ國
 難あるの際躬を棄て、國に殉ずることを得ん耶」と。

各方面の英國缺點の大痛撃

又「イー、オー」の醫名を以てせる「地位ある一露國人」あり、「ゼ、ボル、モル、ガゼット」
 に寄書して曰く。

『最近三十年間、英國人は精神上、道德上竝に身體上、病ひ既に膏肓に入れるが故に
 自國民族を救済して滅亡を免れしめむが爲施設せむとするも時機既に後れたるを
 奈何せん。若し獨り貴國の男子のみ缺點ありとせば、頽運を既倒に翻へすことな
 きを保せず。然るに貴國の女子も亦衰弱せり。是れ彼等が極めて脆弱多病且不具
 にして神經質の子女を生み、之を以て將來の英國市民と爲らしむるの一事に徴し

て昭也。貴賤上下の別なく、英國の各階級人民の身體竝に精神を萎靡せしめ彼等
 をして今日の如く怯懦にして、愛國心乏しき人民と爲らしめたる原因は都會生活
 にも在らず、將亦窘窮過勞にも在らずして實に其の風俗の頽廢に在りて存す。予
 は一千八百七十年より一千八百七十九年に至るまで、任を以て貴國に駐在し聊か
 其の國情を審にせり、近時予は復た英國を研究し、労働階級竝に最下層に於ける
 人民の生活状態に就き非常の改良施されたることを知りたり。然るに今日英國人
 の體力及精神上の衰頽竝に犯罪的墮落は三十年前に比し全く三倍の甚しきに至れ
 り。

英國の最も貧困なる階級を圍繞する所の最惡の物質的狀態を以て露國、歐洲諸國
 竝に米國諸都市に於て最多額の給料を受くる労働階級に比較せば、猶且更に贅澤
 且健康的のものと謂ふべし。然るに貴國の所謂政治家、皮相の博愛家及三百有餘
 派の僧侶は徒に俗衆に媚び、之に告げて云はく、下層階級の窮迫因慙は彼等の悖

德懶惰、驕侈遊蕩に基因するものに非ずして、全く不慮の災殃其の他の事情等より生ずるものなるが故に、慈善事業若は法律の制定に依りて之を救治することを得べし」と。

敍上の通信は苦言病弊に適中せるものにして吾人は之を以て他山の石と爲すべし。此外英國人にして海外に漫遊し、以て自國と他國との優劣を比較するの標準を知り得たる者の言説は外國人の論評と等しく吾人の參稽に資すべきものなり。

「舊時代の老職工」てふ匿名を以て『ゼ、スタンダード』に寄書せるものあり、其の要に云はく。

『予は生涯未だ職工長となるの榮を得ずと雖も數年前一たび幸運に遭遇せり。予は獨逸に於ける瓦斯工場に新式の機械を据附くるため數名の者と與に同國に派遣せられたり。予は之に依りて獨逸の職工等が自己の強壯と健康とを維持増進し幸福なる家庭を作り、而して英國の職工に比し迥に少額の勞銀を獲て紳士の如く生活

する所以を會得せり。獨逸の職工は遊獵家に非ず。彼等は舉止端正、操行謹嚴なる紳士にして、又善良なる夫、仁慈なる父たり。職工中身體強壯にして兵役に服することを得たる者は自から之を以て無上の面目と爲たり。獨り彼等のみならず其の母たり、或は妻たるものも亦然り。

惟ふに我國の職工は十中八九までは競馬賭博に耽溺し、之が爲心身を過勞し、其の健康と精力とを銷磨す。是れ予の深く惜む所なり。予は固より清教徒にあらず、一千八百六十年始めて競馬賭博の如何なるものなるやを知り、爾來數回之を行ひしことあり。予は今日と雖も全く禁酒禁煙を履行せず。然りと雖も若し英國の職工にして最近十五年間に於けるものと同様の態度を改むることなくんば、縱令我國の滅亡を促進するが如き歐洲大亂の勃發するなきも、我國人の病弊は既に深く其の膏肓に入れるが故に英國人民は勿論、英帝國は久しからずして衰滅するの外なし。是れ予の固く信じて疑はざる所なり。男子は賭博に耽り、女子は飲酒を嗜

むが故に其の生む所の子女は羸弱多病を免れず。我國の勞働者は當年の勇猛なる獨立心を失ひ、而して今や勞働組合に於ては救貧事業の勸誘者たるに適し、且又各組合員に代りて國家の救済を要請するが如き、人士を擧げて首領と爲すの風あり。説き去り説き來て思はず長文と爲れり。予は今爰に筆を擱するに方り己れに信ずる所を一言せんと欲す。所信とは他なし、内國防禦の爲適切の全國皆兵制を實施せば管に獨り失業者問題を解決するのみならず、復た工銀を三割方引上げ、且又窮民の住宅再築の爲一億磅の經費を投ずるよりも寧ろ真正の利益を凡ての勞働階級に及ぼすことを得べしと云ふこと是也。予は今六十有五歳の頽齡に達し、復た教育を受けたる者にもあらざるが故に、行文覺えず本題たる遊獵以外の諸問題に涉りたり、讀者請ふ幸に之を寛恕せられんことを」と。

樞要の地位に在る有力の一通信員あり、自から『目撃者』てふ匿名にて英佛協商問題に就き『タイムズ』に寄書せり。此通信員は佛國の「道德的復活」竝に輿論の眞面目なる

態度を敘述せし後、更に語を繼て云はく。

『記者足下、予は紙幅の餘白許さざるが故に佛國側に於ける觀察の結果を略述すること敍上の如し。予は不敏を顧みず更に論歩を進めて予が英國に於て受けたる印象の一二を列擧せむと欲す。予の見る所に據れば今次の英佛協商成立に就き、英國に於ける輿論の態度は佛國のそれに比し迥に欣喜の情に乏しく、復た贊成の理由も亦剴切ならずと雖も、兎に角英國に於ける満足の情は眞且深く、殆むど佛國と遜色あるを見ざるもの、如し。然るに英國現時の「道德上の氣風」は迥に佛國に劣れり。一千九百一年以降予は親しく英國人の習俗氣風を觀察するの機會を有せしが、宗教上の術語を以て之を評せば、佛國は「天恵に沐浴し」、之に反して英國は「墮落」の深淵に沈淪するもの、如くなりき。然るに一千九百一年の頃は南阿事變に鑑み、之が失敗を恢復せんとするの意氣猶ほ存せしを以て、將來の雪辱期して俟つべきものありたり。然るに今日英國人は當年國家の存亡に關する教訓を忘

却し、民人の消長に關する箴戒を藐視し、而して上下滔々として驕侈に流れ、浮華に陥り、恬として之を恥ぢず、却て自から得々たるの色あり。今や國內には名教を敬遠し、巧言令色を悦び、責任を輕んじ、姑息に安んじ、弊習汚俗、全國を風靡するの勢あり。加之ならず各階級の婦人は毎日午前十時より容を脩め粧を凝らし、綠袍紅裙、恰も人生を以て長夜の宴、不斷の園遊會と爲すもの、如し。詩家キプリング深く國人の狩獵其他の遊戯に耽溺するを憂ひ、大に之が反省を促したりしも更に其の効果なく、酒精中毒も亦種々の形式に於て現出し、其の慘害猖獗を極む。就中今日英國に於ける弊竇の最も大なるものは道德的目的及信念の缺乏なりとす。予の茲に所謂道德的目的及信念と稱するは公共の目的を達成する爲均一平等の個人的犠牲の精神を鼓吹するの謂ひなり。予は自から印象感知せし所のものを以て直ちに眞理なりと信ずるものに非ず。而かも英國人心の機微に精通する各方面の人士の意見を聽くに至て、始めて予の言説の誣ならざりしとを知れ

り。甲云はく、『我英國人は大に謬れり。吾人は徒に目前の安を貪り、深憂大患の到るを悟らざるべし、而かも其の悟るの日は既に遲きを奈何せん。英國は一定の方針すら確守するものに非ず、況んや國家百年の長計に於てをや。我國の爲政者は無智蒙昧なる衆愚に媚び、以て一時を糊塗彌縫するに過ぎず』と。乙云はく、『吾人は根底に於ては今猶依然として健全なりと雖も、外面に於ては既に衰頹の徵候を呈せるを以て、假すに兩三年の歲月を以てし、且多少の艱難を以てするに非ざれば之を玉成すること能はざるべし』と。丙は曰く、『吾人は日本の教訓あるに拘はらず、國家民人の爲に平々凡々たる公德心すら尙且發揮すること能はず。吾人の缺如せる所は躬行實踐と堅實なる信念是なり。吾人は多少愛國的本能及方策を有す。而かも其の方策たるや國家の大經より謂へば厭ふべき姑息手段たるに過ぎず』と。若し此等甲乙丙三人の何人なるやを發表せば貴國人民は驚倒するや必せり、三人は孰れも黨派的政治家に非ざるが故に、其の言説の不備不黨にして公平中庸

を失はざるは予の言を俟ずして彰なり」と。

以上の諸説は近時吾人の誦讀せし新聞通信の一部に過ぎず。而して是等は工業能率以外の問題にも論及せる所ありと雖も、其の歸著する所は工業能率の大小如何に外ならず。凡そ人類の活動は千態萬狀窮りなしと雖も、能率を生ずるものは業務勉勵の一端あるのみ。然るに我英國人は他の諸列強の國民に比し著しく遊戯に耽るの弊あり。時人動もすれば輒ち云く、遊戯を樂むは業務過勞の爲疲憊するに優れり。道樂豈に排斥すべきものならんやと。是れ一理なきにあらず。米國の一紳士嘗て予に謂て曰く、『我等米國人は孜々として日夜奔走し、又汲々として夥多の事業を計劃す。之に反して英國人は且つ勤め且つ遊び、以て幸福なる生涯を營み、餘裕綽々たり、予は深く之を羨む』と。予の見る所に據れば米國人民は活動性に富むに拘はらず、表面は年少氣銳にして、内部は既に早老となり、恰も果實の外殼猶綠を帶ぶるも、心核は己に早熟せるが如く、夫の怠惰偷安、徒らに遊戯を事とし逸樂に耽れる我英國人よりも寧ろ衰境に

在るもの、如し『是れ予が我英國人をして米國人に摸倣せしむることを欲せざる所以なり。然りと雖も予は其の孰れが果して善にして、孰れが不善なるやを論斷せんとするものに非ず。予の茲に説かんと欲する所は他なし、凡そ業務に勤勉なる者は懶惰なる者に勝り、又工業界に於て我英國人を凌駕する國民は吾人よりも業務に勤勉なること即ち是なり』

諸家の持説此の如きに拘はらず、予が尙從容自若として此問題の前途を憂慮せざるは、予が樂天家なるが故に非ず（抑々世の所謂樂天家は理由の有無如何を問はず、一切萬事皆己れの意の如くなるべしと輕信するものなり）、全く信賴すべき的確なる根據を有するが故なり。予が前段に載録せし諸家の意見は議論痛切にして事實上の謬りなしと雖も、著眼多くは一方に偏し、且皮相にして稍々時代後れたるを免れず。但し最終の批評のみは其の他のものに比し時弊に適中し、克く事實の真相を捕捉し得たりと謂ふべし。

英國の腐敗は過度の富に生ず

我國家の深憂大患と稱すべき衰運、即ち兵備の弛廢、工業の衰頹、體力の激減、意氣の銷磨、失業者の増加を生ずるに至りたる原因は他なし、過度の富盛即ち是なり。是れ古今東西の事迹に徴して昭なり。英國の富力は普佛戰爭以降著しく増進せるものなるが、其の經濟的原因の如何なるものなるやに至ては予は他の學者に之を讓るべし。其の富力の増進に關しては時に一消一長ありと雖も近年まで年々歳々遞進せり。而して此事實と其の影響の何物たるやは萬人の齊しく確認する所にして、復た統計的事實の永久に證明する所なるべし。斯くて我英國人の驕奢、娛樂及生活の標準は極度に達せり。富は分配せられたり。其の分配の平等ならざるは勿論なるも、分配せられたるは事實なり。而して富の分配は平等ならずと雖も、我國の如く一般的に行はれたるは蓋し他に比類なかるへし、是れ腐敗の蔓延極めて大なりし所以なり。夫れ國民を腐敗せしむるものは富の集中に非ずして寧ろ其の分配に在り。其の故他なし、人は概ね富

めば則ち淫するものあるが故に、富の分配せられたる多數の人は之が爲に腐敗に陥るを以てなり、是れ數理の證する所なり。若し富の分配今一層普遍的となるときは之に伴ふ危険は却て減少するの理なりと雖も、腐敗を生ずるの生活標準は極めて低きものなりと知るべし。例へば今人ありて一週間三十志の給料を得るとき、自己の娛樂遊蕩の爲十五志、或は十志、若は縦令五志を費消するとも、之が爲に道樂に耽り腐敗に陥ることは、夫の日夜賭博を事とする素封家ホッゲンハイマーと毫も選ぶ所なし。人多くは王侯富豪の富のために腐敗し易きことを認むると雖も、貧民間に腐敗の蔓延することを承認せざるべし。然るに苟も下情に通ぜし人ならんには予の言の誣ならざることを知るべし。予は爰にハムブステッドのラッセル、リー氏の所説を引照し、以て之が證明と爲すべし。

『予は自己の經驗に徴し、人事に關する異常の實例を擧ぐることを得べし。予の關係する會社は或る特殊の作業に就き多額の工銀を支給せらるゝ職工を多數に使備

す。是等の職工は數週間に習得せられざるが如き巧妙の技倆を要せざるも、業務の性質上偉大なる體格を必要とするものにして、一週四十志以上五十志までの手當を受く。是等の職工は盡く愛蘭土人（彼等は英吉利人の加入するを許さず）にして、彼等は概ねドネゴオル地方より來れる青年なり。彼等は着英の際は殆むど英語を解せず、而して彼等は從來未だ嘗て飲酒若は其他の費途の爲自由に費消し得べき小遣料にして一志以上の金錢を懐にせしことあらず。隨て入英當時は無論酒杯を口にすることなし。然るに其の後數週間を経ずして彼等は幾むど皆隣人間に於ける大酒家と爲り、而して其の妙齡の妻女には十五志若は二十志を交附し、尙之を以て充分なる小遣料、甚しきに至ては過多の手當を爲し、而して殘額は悉く之を飲酒、遊蕩或は賭博に擲ち、週末には殆むど赤貧洗、へが如くなるを常とす」

ロウントリー氏の米國ヨーク地方に於ける『貧民』分析表に據れば、全數の三分の二

は前記と同様の遊蕩に依りて自から招きたるものなり。惟ふに世界中同國の下層人民の如く業務を放擲して逸樂を事とし、又金錢を浪費して將來の慮りなきものは他に蓋し之れ有らず。由來米國は『労働者の樂園』なりと稱せらるるも、是れ真相を知らざるもの、言のみ。モスリー氏の調査に據れば、米國労働組合員等は米國食料品の相對的價格を殊に低廉に見積りながら、猶且米國を以て労働者の樂園と認むることを肯んぜざりき。在米英國職工も亦之と同様の意見なりき。予は親しく多くの人々に問合せしに、何れも『予は今日漸く之に慣るゝに至れり』と應ふるを常とす。就中吾人の通例最も多く聞く所は下の如し、曰く、『凡そ技術熟練の者は宜しく本國に留るべし』、曰く、『英國労働者の生活を以て米國のものに比較せば前者は紳士の如く、後者は奴僕の如し』と。而して是等は米國に於て多額の工銀を取得する者の自から言明する所なり。

我國に於ては米國の如く多額の工銀を取得すること能はずと雖も、生活は極めて容易にして又其の費用は迥に低廉なり。獨逸の如きは到底我國と日を同ふして語るべか

らず。英國勞働者の生活の容易なることは前述の如くなるのみならず、宗教界並に政治界よりは安樂生活主義斷えず唱道せられ、冷ねく國民間に浸潤滲透す。所謂『進歩主義』即ち是なり。サーウイリヤム、ハーコートは、最終の演說中に此間の消息を漏せり。曰く、『進歩主義を奉ずる政黨の目的は各階級をして其の生活を一層容易にし、又一層之を安樂ならしむるに在り』と。是れ蓋し實際の言なり。政治家は相競ふて之が安請合を爲し、唯後れざらんことを憂ひ、『改革者』は頻りに之を要請し、統計學者は之を證明し、僧侶は之を歡喜し、而して新聞は之を稱揚す。彼等は云ふ、『生活を一層容易にし、又一層之を安樂ならしむ』と。嗚呼是れ何等の國是ぞや。國民を茶毒するもの之に非ずして何ぞ。夫れ安樂は人の最も欲する所にして、勤勞は人の極めて厭ふ所なり。若し此國は一たび勢を得ば、紀律は弛廢し、犠牲は厭惡せられ、艱難は回避せられ、而して若し義務の念のため之を強ふるが如きことあらば、義務の念をも之と與に拋棄するに至るべし。彼等は絶叫して云く、我等をして皆安樂裕福ならしむべし

と。彼等は英杜戰爭に際し多少の苦痛に遭遇するや、直ちに囂々として不平を訴えたり。予は新聞によりて之を知り、演說の際三たび聽衆に對して質問する所ありたり。曰く、『今次の戰爭の爲市中に於て一本の巻煙草若は一盞の麥酒を廢せし男子、或は新調の帽子を手控えたる婦人果して幾人かある』と。然るに滿堂の裡一人の『然り』と答え得る者なかりき。是に於て予は將さに云はんとす、『夫れ然り、然らば則ち彼等の所謂苦痛は果して那邊に在るや』と。

我國民の狀態茲に到りしは其の原因過度の富に在り。吾人は生計に餘裕あるが故に優悠として逸樂を事とす、而して前記の批評の如く、外國人は之を觀て吾人を嘲笑す。然りと雖も彼等をして吾人と同一の境遇に在らしめば、彼等は吾人と同様若は以上の腐敗に陥るべし。獨逸の識者等嘗て予に謂て云く、『吾人をして英國人たらしめば、吾人も亦其の擧に倣ふや必せり』と。獨逸人は健康、耐忍力及剛健の氣風を助長するが如き娛樂を好まずして、肆意亂行、其の心身を傷ふが如き肉慾に耽るの風あり。故に

彼等にして一旦富を致さば、他の國民と同じく風俗壞敗するに至るべし。而して彼等の間には多少此微候なきにしもあらず。彼等にして之を悟ること能はずば、彼等は盲目に非ずんば迂愚のみ。方今彼等が豪健偉大の美德を發揮せる所以のものは、必要止むを得ざるが故なり。而して此美德の基礎となるものは獨逸人の教育制度なり。此制度はナポレオンに對する戰勝の遺物なり。惟ふに獨逸人は此教訓あるに非ずんば雋秀英邁の國民を涵養すること能はざりしなるべし。彼等は一大學校に於て鍛鍊せられたり。逆境てふ大學即ち是也。

米國人も亦之と異なる所なし。米國に於ては人は皆勤勞せざるべからず、然らざれば落魄困憊するの外なし。然るに富家に生れ巨萬の財寶を擁する者は其の五分の四までは遊惰放佚を事とし、金錢を蕩盡すること英國に於けるものと異ならず、而して其の一擲千金を意とせざる素封家の豪奢逸樂に至りては英國に於ける同一階級の能く及ぶ所に非ず。物質主義は英國よりも瀟灑し、且つ勢力を有し、而して世を舉げて馬車

馬の如く汲々として勤勞する者を稱揚するの風あり。然るに是れ皆婦人の飽くことを知らざる耳目の慾を肆にせしめんが爲強要せらるゝものに外ならず。是を以て國人の勤勞愈々大にして體力の銷磨愈々甚しく、之を以て大不列顛に於けるものに比すれば其の強弱固より同日の論にあらず、唯々斷えず強壯なる歐洲の農民の入國に依り纔に表面を装はい得たるに過ぎず。ダニエル・ウエブスター嘗て謂へらく米國人は逆境てふ學校によりて玉成せられたるものなりと。然るに今や彼等は順境てふ最も危險なる學校に在りて自から制すること能はざるの微候歴然たるものあり。而して古來幾多の大邦富國中、首尾克く此學校を卒業せしものは未だ之れ有らず。

惟ふに他國の弱點あるは多少自から慰むる所ありと雖も、是れあるが爲毫も我國の利益となるものにあらず。然りと雖も吾人は猶且我國の前途光明あるを信ずるものなり。其の理由他なし、過度の富榮と之に伴ふ「生活安樂主義」とは既に終焉を告ぐるに至りつゝあること是なり。兩者は多年勢力を擅にせしも、其の暴威を逞ふし以て國家

を衰亡せしむるまでには繼續することなかるべし。往時我國の碩儒たるカアマイル、キングスレー、ラスキン等は丈夫兒の氣魄と勤勉の缺ぐべからざることを絶叫せり。是れ予の銘記して忘るゝこと能はざる所なるのみならず、予も亦此教によりて鍛鍊せられたり。予は之れよりも尙一層有力なりしものありしことを記憶せり。當時の俗謠(二)是なり、其の結句に云く。

稼かせぎや世の中苦勞はないぞ

稼かせげ人々いざ稼かせげ

又他の俗歌に云く

涙ぐまずと澁面せずと

おまや自分の舟を漕こげ

(二) 將來の史家若は社會學者にして此時代の如何なるものを知らんと欲せば二事を査覈する所なかるべからず、流行の俗謠と新聞紙上の廣告即ち是なり。此等ものは世人の往々輕視して顧みざるものなりと雖も、眞に人心を寫す所の明鏡と謂ふべきものなり。

是等の俗謠世に出でしより以來今日まで既に幾多の星霜を閲せり。然りと雖も吾人は幸にして今猶當時の氣魄を失はず。吾人の裡には列強人民に優れる偉大の體力今尙存す。此體力は峻烈なる風土に胚胎するものにして、此風土は祖先より享受せし最大且不朽の遺産なり。予の見る所に據れば其の實證夥多にして枚舉に遑わらず。吾人が遊戯狩獵に熱中し、全力を竭して之に従事するが如きは其の一例なり。是れ吾人が氣魄精力を有する實證にして、吾人は此氣魄精力を適度に使用せざるべからず、吾人は之を業務に傾注し、而して業務を娛樂視するに至らざるべからず。吾人が又若干の實際生活に於て能率を有するも亦其の一例なり。我國人は何人と雖も自國の海軍若は海運業の無能を許さざるべし。其の故如何。他なし吾人が一日も之を忽諸に附すること能はざるを以てなり。吾人の遠洋大海に赴くや、吾人は自然の勢力と闘はざるを得ず。而て吾人にして懦弱若は怠慢ならむには吾人は海底の藻屑となるべし。然るに實際萬里の波濤を來往し、不朽の霸業を建設すること英國人の如きは天下之に比すべきもの

なし。土木事業に於ても亦然り。フォース河に架橋し、ナイル河を閉塞せし我英國人は決して無能無力のものに非ず。其の他英帝國の「藩屏」となりたるもの及我在外守備隊は勇敢決死の士にして、外國の派遣隊の能く及ぶ所にあらず。

安樂主義亡國的病弊の救治策

夫れ必要は一大教師なり。吾人一たび之を感じるや、之に應じて氣力を發揮せり。吾人は先づ内國に於て之を感じり。工業界に於て、第一に之を感じし者は製造業者なりき。往年綿絲業者其の必要を感じるや英氣を鼓舞して之に應ぜり。其他の方面に於ては輓近之を感じ、今や氣力を振作して之に對應しつゝあり。是れ予の前章「工場現状」の項に於て記述せるが如し。刻下是等の工業家は蹶起奮勵以て事業を再興し、組織を變更し、又工場を一新し、作業を擴張し。或は組合を結び、改良を加え、又盛に専門の技倆を用ゐ、廣く中外の長を採て其の短を補ひ居れり。現今是等工業家の中、其の第一流に位するものは何れの邦國の同業家よりも俊敏卓抜なるは予の敢て斷言す

るを憚らざる所なり。ブラッドフォードの一大工場主予に謂て云く、「予以爲らく、『デイングレー』關稅は英國製造業者等の最大祝福なり。彼等は之に依りて覺醒する所ありたり」と。獨り製造業者のみならず、職工等も亦覺醒せり。而かも其の覺醒するや工場主等の如く急速ならず、是れ職工等が(一)工場主の如く早く其の必要を感じざる(二)缺點多からざるが故なり。而かも労働者の首領等のみは夙に之を悟れり。首領等の中には世界を周遊し、外國競争者の蔑視すべからざること、又苟も我國の職工にして其の聲譽を維持せむと欲せば須らく拮据勉勵せざるべからざることを知悉せり。予は復た前章に説述せし技藝學校に於ける夜學部生徒の間に覺醒奮起の精神横溢せるを認めたり。職工等は外國の競争を耳にする毎に其の或は工銀を低減せらるゝに至らざるやを怖るゝも、是れ全く杞憂に過ぎざるのみならず、却て愈々工銀を増給すべきものなり。又操業時間の如きは毫も之を延長するの必要なしと雖も、定規の時間だけは正直に勞作せざるべからず。錚々たる労働首領等と雖も近時大に悟る所あり、部下

の組合員に告げて云く、我等にも亦多少の缺點あり、又竭くすべきの義務あり。我等は單に無辜の犠牲者となりて空しく壓制者の脚下に蹂躪せらるゝものに非ずと。政府部内に於ても覺醒する所あり、今や各般の情報蒐集頒布しつゝあり。商務院は實業界の諸専門家を簡選して顧問と爲せり。獨り政府部内のみならず、一般社會に於ても亦覺醒の兆あり。教育に關する計畫問題の如きは其の一なり。有益なる業務を發展せしむる爲各種團體の勃興せしが如きは其の二なり。有力なる諸新聞が工業問題の消長に關し深く意を用ゆるに至りしは其の三なり、殊に注目すべきは貧民救済に對する一般の革命なりとす。曩に生活安樂主義一たび唱道せらるゝや、數百千萬の義務回避者及濫費者は續々として吾人に倚賴し來りしを以て、吾人は到底是等多數の窮民を賑恤すること能はざるに至れり。是を以て苟も此問題に關係せし者は皆被救済者の區別及差別的待遇の必要なることを感ぜざるは莫し。今や失業者（失業者發生の原因は國民の懶惰、人口増加に伴ふべき生産の不振等に在り）の壓力は却て慶賀すべき刺戟的影響を及ぼすに至れり、而して此影響は今後依然繼續すべし。失業者救済問題は結局國民をして遊民扶養の有害無益なることを悟らしめ、延て彼等被救済者をして健全なる獨立の思想を養成せしむべし。是れ予の翹望して止まざる所なり。

此外近時都市行政改革の聲漸く勢力を得るに至りしは吾人の深く懌ぶ所なり。一切の無能なる諸機關の中、議會其の物に對しても改革を斷行するに至らんとを冀望す。惟ふに現時我國の病弊は未だ身體器官の内部組織に達せるものに非ずして、過度の滋養豊滿のため官能上の紊亂を生ぜるものに過ぎず。予は敍上の理由に依り經濟的狀態て久恒重大の壓力に依り、此紊亂を釐正することを得べしと信ず。然るに若し予の説謬り、又經濟的壓力效果を奏せざる時は此病患は愈々昂進し、終には十萬の獨軍侵入の如き一大外科的手術を以てするにあらざれば此重患者を救治する能はざるに至るべし。予は叙し去り説き來て、覺えず數千萬言に及べり。而かも長談義は畢竟無益の業なり。然りと雖も本書若し幸にして虚心坦懷以て現行の『制度』及救済『問題』の

前途を憂惧する青年の誦讀首肯する所とならば著者の喜び蓋し之に過ぐるものなし。予は青年に告げて言はむ『吾子請ふ憂ふること勿れ。天下の積弊を刷新するは固より一人の克くする所にあらず。吾子は唯自己の本分を竭くせば則ち足れり。志を立て、丈夫兒と爲り、恒に不平を漏らさず、人の憐みを乞はず、又義務を回避すること勿れ。獨立自活の道を講じ、業を勵み。分を盡し、人に對して篤敬懇切を旨とし、一旦國難に際會せば欣然として身命を擲ち以て蹇々匪躬の節を致すべし』と。

若し國人皆此の如くならば『制度』の得失の如き毫も意に介するに足らざるべし、之に反して國民の多數若し之を行はざるときは縦合幾たび制度を更改するも毫も益する所なかるべし。

終に蒞み、工業能率及財政問題に付一言する所あるべし。予の見る所に據れば我工業界は今や將さに多年の迷夢を覺醒せんとするの秋なるが故に、此際保護政策を採り以て人爲的補助を工業界に供與せんとするは却て惡影響を及ぼすの虞あり。然りと雖

も近き將來のことは暫らく之を措き、遠き將來に於ては、予の從來我對手諸國の實力に徴し我國の製造業者は敵手側の市場閉鎖並に輸入自由の優勢控制（ヘンデイキャッツ）に對し、到底永久に之と頷頭すること能はざるべし。是れ予の深く信じて疑はざる所なり。予は獨逸を以て米國よりも迥に畏怖すべき強敵と思惟す。獨逸は米國よりも強大なる固著性を有す。獨逸人は佛、伊、米、英の四國人と異り、自國特有の妙技を有せずと雖も、四國の長所は學びて、之を會得し能はざるものなし。但獨逸人の企及し得ざる所は蓋し佛國人の美術趣味なるべし。獨逸人が他國の長所を會得するには遅々として歲月を要するも、一たび之に習熟せば彼等は一方に於ては英國品に劣らざるほどの堅牢にして永久使用に堪ゆべきものを製出すると同時に、又他方に於ては克く米國品と比肩することを得べき輕妙便利のものをも作製す。獨逸人は造船、造機並に及物製造に於ては其技術我英國人に對して毫も遜色なく、紡績に至ては寧ろ吾人を凌駕するものあり。彼等は復た米國人と同様に、電氣竝に輕便自働器械類をも製造することを得。而して將來發達

の見込ある科學應用に至ては、獨逸人は容易に兩國人を壓倒することを得べし。

終に菴み予は茲に一言せむと欲す。而して其の事たるや、工業問題には切實若は密接の關係を有せざるべし。是れ生活安樂主義の爲前代より吾人に傳來せし所の亡國的積弊にして、經濟的壓力若は其の他のもの、到底救治する能はざる所のものなり。積弊とは他なし、國民體力の減衰是なり。此問題は國運消長の由て以て岐る、所にして予の前述せし諸問題中最も重要なものなり。此問題は本にして他は末のみ。予は他日機を見て此問題に就き重ねて論述する所あらんと欲す。前段に轉載せし諸家の意見の如きは、未だ充分此問題の國家に重要な關係あることを認めず、且往々事實の真相を誤解せるの憾あり。世人概ね以爲らく、體力の減衰最も急速なるは貴族及富豪階級に在るべしと。然るに實際體力の急減せるは上流社會に在らずして純然たる工業社會並に職工の精華とも謂ふべき方面に在り。而して我國民をして漸次滅亡の悲運に沈淪せしむるものは救貧的設備に外ならず。予の見る所に據れば、此時弊に對する唯一の

救治策は田園生活に在り、而して予の謂ふ所の田園生活とは夫の花園を市内に作り、若は兒戲類の農事實験を營むが如きものを云ふものに非ずして、眞に數十萬の農民を養成するの謂ひなり。而して此目的を達成せんと欲せば、必ずや土地所有權若は少くとも數頃の耕地を彼等に給與せざるべからず。都會の人民を田園に誘致する唯一無二の好餌は地主となるの榮譽は勿論、少くとも土地を所有し且つ之を管理するの眞樂に在り。

歐米工業能率 終

農業工商部

大正八年三月廿九日印刷
大正八年三月卅一日發行

大正八年三月廿九日印刷
大正八年三月卅一日發行

定價金貳圓
郵稅拾貳錢

農商務省商工局

發行人 三田尾松太郎
 東京市四谷區北伊賀町廿九番地

印刷人 內藤小三郎
 東京市芝區愛宕町二番地

印刷所 東洋印刷株式會社
 東京市芝區愛宕町二番地



東京市四谷區北伊賀町廿九番地

發行所 國產時報社

振替東京三三二〇三番
電話番町三三六〇番

386
66

7

終